

平成29年度 スクーリングの手引（4月～7月）

東京スクーリング**5月期 第1期**

4月 29日(土)～5月 1日(月),

第2期

5月 2日(火)～4日(木)

6月期

6月 3日(土)・4日(日),

7月期

6月 10日(土)・11日(日)

7月 1日(土)・2日(日),

7月 8日(土)・9日(日)

通信教育部
1号館ほか**地方スクーリング****6月期**

6月 17日(土)～19日(月) 仙台・大阪

7月期

7月 15日(土)～17日(月) 札幌・名古屋・福岡

夜間スクーリング**春期**

5月 15日(月)～7月 7日(金) 通信教育部 1号館

スクーリング受講手続日程

	受講申込み開始日 (ポータルサイト)	*1 併用履修登録 締切日(必着)	履修登録締切日(必着) 併用リポート提出締切日(必着) 受講申込締切日(必着)	受講資格 審査結果 通知予定日	振込用紙 発送予定日	受講辞退 手續期限(必着)	受講料 振込期限	結果通知 予定期
東京スクーリング (5月期) 第1・2期	3/ 1(水)	2/28(火)【前期生】 ----- 3/15(水)【後期生】	3/15 (水)	4/12(水)	4/12(水)	4/19(水)	4/26(水)	6月上旬
夜間スクーリング (春期)	3/23(木)	4/ 5 (水)	4/ 5 (水)	4/21(金)	4/21(金)	4/28(金)	5/10(水)	8月中旬
東京スクーリング (6月期)	4/20(木)	5/ 2 (火)	5/ 2 (火)	5/17(水)	5/17(水)	5/24(水)	5/31(水)	7月中旬
地方スクーリング (6月期) 【仙台・大阪】	4/20(木)	5/ 2 (火)	5/ 2 (火)	5/29(月)	5/29(月)	6/ 5(月)	6/12(月)	7月中旬
東京スクーリング (7月期)	5/18(木)	5/31 (水)	5/31 (水)	6/14(水)	6/14(水)	6/21(水)	6/28(水)	8月中旬
地方スクーリング (7月期) 【札幌・名古屋・福岡】	5/18(木)	5/31 (水)	5/31 (水)	6/26(月)	6/26(月)	7/ 3(月)	7/10(月)	8月中旬
注意事項	ポータルサイト【24:00まで】			受講届提出者の み送付します	5日経過しても届 かない場合は会計 課までお問合せく ださい	窓口【事務取扱時 間内必着】 郵送【必着】	銀行窓口にて 【厳守】	ポータルサイト にも掲載します

※1 東京スクーリング(5月期)第1期・第2期は、併用履修登録締切日が前期生と後期生で異なります。併用方式での申込みをしない場合は、受講申込締切日までに履修登録を行ってください。

※2 平成29年度新入生(4月生)は、上記手続日程と異なる場合があります。

※3 申込期限直前は、ポータルサイトにアクセスが集中します。余裕をもって登録を行ってください。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は**、スクーリングで1回受講・合格しても1科目の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。

大部分の科目において『学修要覧』にある科目的所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を必ず確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- ① 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目的講座に振り分けることがあります。
- ② 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- ③ 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- ④ 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることができます。
- ⑤ 受講許可講座以外の講座の受講は認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目次

I 講座の選定

- 1 受講講座の選定 2
- 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について 3
- 3 「開講講座表」の見方 4

II 東京スクーリング

- 1 開講日程 6
- 2 実施会場 6
- 3 「体育実技」について
【東京スクーリング（6月期）開講】 6
- ◆開講講座表及び講座内容（シラバス）
 - ・5月期第1期 8
 - ・5月期第2期 28
 - ・6月期 44
 - ・7月期 60

III 地方スクーリング

- 1 開催地及び開講日程 74
- 2 実施会場 74
- ◆開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）
 - ・6月期 仙台 75
 - ・6月期 大阪 78
 - ・7月期 札幌 81
 - ・7月期 名古屋 84
 - ・7月期 福岡 87

IV 夜間スクーリング

- 1 開講日程 90
- 2 実施会場 90
- 3 開講講座 91
- ◆開講講座表及び講座内容（シラバス）
 - ・月曜日 92
 - ・火曜日 99
 - ・水曜日 105
 - ・木曜日 112
 - ・金曜日 120

V 講座の申込方法

- 1 受講手続の流れ 128
- 2 履修登録をする 129
- 3 講座を申し込む 133
- 4 受講講座の変更・追加
(用紙で変更を行う場合) 137

VI 申込講座の許可と不許可

- 1 受講資格審査結果通知を確認する 138
- 2 講座振り分け及び受講不許可について 139
- 3 許可講座を辞退する 140

VII 受講料の納入

- 1 受講料 142
- 2 振込用紙発送予定日 142
- 3 納入期限 142
- 4 納入方法 143

VIII 受講準備

- 1 使用教材の入手 144
- 2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行 146
- 3 通学定期券の購入手続 146
- 4 「学割証」の発行について
(長距離区間乗車時の学生割引制度) 147

IX 受講及び試験

- 1 講座の受講 150
- 2 試験の受験 150
- 3 スクーリング結果の確認 151

X 受講期間中の学生生活

- 1 受講にあたっての諸注意 152
- 2 スクーリング期間中の滞在先届 153
- 3 「千代田区生活環境条例」について 153
- 4 緊急時の避難行動の指示について 153

XI オープン受講

- 155

XII 各種用紙

- 「為替」送付時の注意事項 158
- 履修届 159
- <受講届>
 - 東京スクーリング（5月期）第1・2期 161
 - 東京スクーリング（6月期） 163
 - 東京スクーリング（7月期） 165
 - 地方スクーリング（6月期） 167
 - 地方スクーリング（7月期） 169
 - 夜間スクーリング（春期） 171
 - オープン受講届（在学生用） 173
 - オープン受講届（社会人等（卒業生用）） 175
 - スクーリング受講講座変更届 177
- <受講申込辞退願>
 - 東京スクーリング（5月期）第1・2期 179
 - 東京スクーリング（6月期） 181
 - 東京スクーリング（7月期） 183
 - 地方スクーリング（6月期） 185
 - 地方スクーリング（7月期） 187
 - 夜間スクーリング（春期） 189
 - 教材配本申請書 191
 - 教材購入用紙（丸沼書店用） 193
 - 教材購入願（通信教育教材用） 195
 - 通学定期乗車券発行控 197
 - 学割証交付願 199
 - 証明書交付願 201
 - 滞在先届 203
 - 休暇依頼状（勧奨状）申込書 205

付録

- 交通案内・校舎案内 207

I 講座の選定

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

東京・地方スクーリングともに各期から1講座、夜間スクーリングでは、月曜日から金曜日までの各曜日から1講座（最多5講座）を申込みできます。各自、入学時に配布された『学修要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学修計画を立てた上で受講申込みをしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるではありません。自分の学年・学科（専攻）及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできませんので注意してください。

(3) シラバスによる受講制限

シラバスに、過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合もしくは以下に該当する講座は、受講できません。

過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

- a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。
- b 担当講師が同一である。
- c 講義内容が全く同一である。

※講義内容を参照し、授業計画等が全く同一の場合は申込みできません。

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

*受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

③ 他のスクーリングとの日程重複や会場移動に伴う講座受講に関する注意点について

以下のいずれかに該当する場合、講座の受講に支障ができる場合がございますので、ご自身で確認の上、受講申込を行ってください。

ア 昼間・土曜スクーリング（前期）土曜日の授業と東京スクーリング（6月期）もしくは東京スクーリング（7月期）の授業を受講する場合

イ 夜間スクーリング（春期）金曜日の授業と、地方スクーリングの授業を受講する場合

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成 23 年度に下表の「教職に関する科目」4 科目については、科目名称が変更となり、平成 23 年度 1 学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道徳教育の研究	T21300	道徳教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生		入学年度	入学形態
		平成 23 年度	1 学年入学生
		平成 24 年度	1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 科目履修生
		平成 25 年度	1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 3 学年編入・再入学生 科目履修生
		平成 26 年度以降	全入学生

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。
5	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「 <u>×印</u> 」が記載されています。
7	制限・注意	配 当 学 年 ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件 その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オープン受講	オープン受講ができない講座には「 <u>×印</u> 」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。

MEMO

5月 東京 1期

5月 東京 2期

6月 東京 期

7月 東京 期

6月 仙台 期

6月 大阪 期

7月 札幌 期

7月 名古屋 期

7月 福岡 期

月夜曜日間

火夜曜日間

水夜曜日間

木夜曜日間

金夜曜日間

申込方法 講座の

許可と不許可 申込講座の

受講料納入 の

受講準備

試験及び

学生生活 愛講聞串の

受講オープン

各種用紙

付録

Ⅱ 東京スクーリング

1 開講日程

開講期		日程	授業時間	
5月期	第1期	4月 29日 (土)	9:30~18:30	
		30日 (日)	9:00~18:30	
		5月 1日 (月)	9:00~16:00 <試験も含む>	
	第2期	5月 2日 (火)	9:30~18:30	
		3日 (水)	9:00~18:30	
		4日 (木)	9:00~16:00 <試験も含む>	
6月期		6月 3日 (土)	13:00~18:30	
6月期		6月 4日 (日)	9:00~16:30	
6月期		6月 10日 (土)	13:00~18:30	
6月期		6月 11日 (日)	9:00~16:00 <試験も含む>	
7月期		7月 1日 (土)	13:00~18:30	
7月期		7月 2日 (日)	9:00~16:30	
7月期		7月 8日 (土)	13:00~18:30	
7月期		7月 9日 (日)	9:00~16:00 <試験も含む>	

※各期ごとに全日程の出席が必要です。

※授業時間内に休憩時間を設けます。

※各期から1講座のみ申込みできます。

※6月期「体育実技」は授業時間及び実施会場が異なるため、注意してください。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。ただし、「体育実技」は文理学部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区九段南4-8-28
交通案内	市ヶ谷駅から徒歩3分

※授業講堂は、ポータルサイトにて事前にお知らせします。

3 「体育実技」について【東京スクーリング（6月期）開講】

「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部総合体育館及び百周年記念館で受講します。以下の事項をよく確認してください。

a 開講日程【雨天決行】

日程	授業時間
6月 3日 (土)	18:00~21:30
6月 4日 (日)	9:00~17:00
6月 10日 (土)	18:00~21:30
6月 11日 (日)	9:00~17:00

※東京スクーリング（6月期）の他講座と授業時間及び会場が異なります。

b 実施会場

日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館（後掲「文理学部案内図」参照）

講座の選定
5月1期 東京
5月2期 東京
6月期 東京
7月期 東京
6仙台期 仙台
6大阪期 大阪
7札幌期 札幌
7名古屋期 名古屋
7福岡期 福岡
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法
許可と不許可
申込講座の受講料の納入
受講準備
受講及び試験
学生生活の愛護問題
オープン
各種用紙
付録

c 持参物

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- ・室内用運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・スクーリングの手引
- ・領収書

d 「体育実技」の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

f 注意事項

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、文理学部総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。
- ・4日及び11日の昼食は、周辺に飲食店が少ないため各自が持参することを強く勧めます。

〈文理学部案内図〉

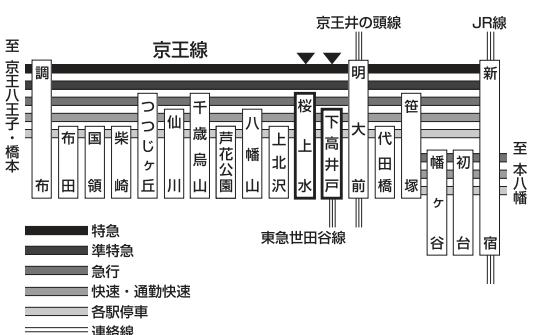
(住所)

東京都世田谷区桜上水3-25-40

(交通案内)

京王線下高井戸駅又は、桜上水駅下車

徒歩約10分



◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京
5月期
第1期

日 程		授 業 時 間	備 考
4月29日	土	9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
4月30日	日	9:00~18:30	
5月 1日	月	9:00~16:00 <試験も含む>	

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ープ 講ン		
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配当 学 年	受 講 条 件			
D8A1	総合科目 I ~ VI	根岸 良征	2	B101S0	総 合 科 目 I	×	1年	・ I ~ VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
				B102S0	総 合 科 目 II						
				B103S0	総 合 科 目 III						
				B104S0	総 合 科 目 IV						
				B105S0	総 合 科 目 V						
				B106S0	総 合 科 目 VI						
D8A2	英 語 A	天野 晓子	1	C10100	英 語 I	1年		・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英 語 II						
				C10300	英 語 III	2年					
				C10400	英 語 IV						
D8A3	英 語 B	上島 美佳	1	C10100	英 語 I	1年		・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英 語 II						
				C10300	英 語 III	2年					
				C10400	英 語 IV						
D8A4	民 法 II	山川 一陽	2	K30100	民 法 II		2年				
D8A5	民 事 訴 訟 法	小田 司	2	K31600	民 事 訴 訟 法		2年				
D8A6	法 哲 学	高須 則行	2	K318S0	法 哲 学	×	2年				
D8A7	国 語 学 講 義	加藤 陽子	2	M30400	国 語 学 講 義		2年				
D8A8	イギリス文学史 II	原 公章	2	N30100	イギリス文学史 II		2年				
D8A9	英 語 史	真野 一雄	2	N30300	英 語 史		2年				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単位 数講	充当科目		制限・注意			受オープン 講
				科目コード	科目名	併用	配当学年	受講条件	
D8AA	英語学演習 A	佐藤 健児	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
D8AB	英米文学演習 A	鈴木 ふさ子	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
D8AC	哲学概論	斎藤 隆	2	P30300	哲学概論		2年		
D8AD	史学概論	楠家 重敏	2	Q30100	史学概論		2年		
D8AE	金融論 A	谷川 孝美	2	R31800	金融論		2年		
D8AF	労働経済論	村上 英吾	2	R32200	労働経済論		2年		
D8AG	経営学	金崎 賢希	2	S20200	経営学	条件参照		・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	×
D8AH	商品学	鄭 舜玉	2	S30300	商品学		2年		
D8AJ	貿易論	松原 聖	2	S30400	貿易論		2年		×
D8AK	漢字書法	金子 鑑	2	T22400	漢字書法	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
D8AL	法学通論／法律学概論	遠藤 清臣	2	T22600	法学通論	2年		・哲学専攻・史学専攻のみ申込可。	
				T22700	法律学概論(国際法を含む)			・経済・商学部のみ申込可。	
D8AM	教育相談／教育カウンセリング論	植松 紀子	2	T30600	教育相談	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	×
				T30700	教育カウンセリング論				
D8AN	博物館教育論	岡部 幹彦	2	Y20900	博物館教育論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆初歩から始めるパソコン～メディア授業を受けるために～【総合科目 I～VI】

担当者：根岸 良征

◆学修到達目標 情報技術や情報セキュリティについて基礎的な知識を習得し、パソコンを有意義かつ安全に利用できるようになることを目標とする。講義を受講後、メディア授業を受講するためにはどのような機器を用意すればよいのかを自分自身で判断したり、インターネットを安全に利用できるようになってほしい。

◆授業方法 授業は適宜映像資料を用いながら、講義中心に行う。また、パソコンを操作してケーススタディも行う。毎回授業中に小課題を出題する。教科書は講義で利用するので必ず持参すること。

◆準備学修 日本語入力、マウス操作といった基本的なパソコン操作は少しはできることを前提に講義を進めるので、不安な学生は事前に練習をしておくこと。自宅のパソコンでインターネットを使えるのかを確認しておくこと。最近発生した情報セキュリティ事件について、新聞などで調べておくこと。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	<ul style="list-style-type: none">・パソコン開発史～最初のコンピュータから現代のパソコンまで～・データとはなにか、データの種類、情報技術とはなにか・パソコンのハードウェアの種類と役割・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割～Windowsが必要な理由～
2日目	<ul style="list-style-type: none">・パソコン基本操作～ファイル管理とバックアップの必要性～・コンピュータネットワークとインターネットのしくみ～インターネットを利用した情報検索～・メディア授業を受講するために準備すること・情報セキュリティ基礎知識①「様々な脅威」～ウイルス、ハッキング、サイバーウォー～
3日目	<ul style="list-style-type: none">・情報セキュリティ基礎知識②「セキュリティ対策」～ウイルス対策、ファイアウォール～・情報セキュリティ基礎知識③「スマートホンのセキュリティ」・スクーリング最終課題演習、課題提出

◆教科書 丸沼『情報セキュリティ読本「IT時代の危機管理入門」』四訂版 情報処理推進機構（IPA）著 実教出版（ISBN978-4-407-33076-2）540円（税込）（送料215円）

〔当日資料配付〕必要に応じて資料を配付する

◆参考書 特になし

◆成績評価基準 授業への参加度（学習意欲、毎回の課題の評価）による評価が50%、最終課題の内容による評価が50%。なお、最終課題を提出しない場合には評価をつけないので注意すること。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆音読で極める基礎英語 1

[英語 A]

担当者：天野 晓子

◆学修到達目標 「音読」を取り入れて、基礎的な語彙や文法の確認をします。「音読」はリスニングやスピーキングにも有効となり、また、「音読」から、練習問題の文法項目を復習し、リーディングやライティングの基礎力を定着させましょう。オフィスを舞台にしたビジネス英語の基礎も学び、受信とともに発信する英語力を高めることを目指します。

◆授業方法 ‘Warm-Up’は予習を前提とし、文法項目の確認をします。‘Let's Listen’の対話を聴き、大意理解問題や空欄補充問題を行い、ロールプレイで対話発表をします。‘Let's Read’でのグループワークや、各章毎の小テストも行います。音読発表など積極的に授業参加をしましょう。

◆準備学修 教科書前半部分の文法項目を中学・高校の参考書等で事前に復習しておいて下さい。各章の語彙は予習しておきます。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ガイダンス（進度は受講生の習熟度・要望により変更する場合があります） Unit 1 スモールトーク（現在形・過去形1）予定を尋ねる／別れ際の挨拶 Unit 2 海外出張1（現在形・過去形2）挨拶する／詳細を尋ねる、小テスト Unit 3 海外出張2（進行形・未来形）礼を述べる／予定を確認する 小テスト、発表（ペアまたはグループ）、Q&A
2日目	Unit 4 出張報告（現在完了形）経験を述べる、小テスト Unit 5 プレゼン準備 1（助動詞）依頼する／助言する Unit 6 電話応対（受動態）電話での応答／説明する、小テスト Unit 7 使用法説明（不定詞）意向を尋ねる／操作を説明する 小テスト、発表（ペアまたはグループ）、Q&A
3日目	Unit 8 オフィストーク（関係詞1）比較する／意味を確認する 最終発表活動（ペア、グループまたは個別） まとめ、Q&A 試験

◆教科書 丸沼『Let's Read Aloud More!』 角山照彦・Simon Capper著 成美堂
2,376円（税込）（送料300円）

◆参考書 中型英和辞書を必ず持参して下さい。電子辞書も可。授業中の電子機器等（スマホ、iPad、PC等）の使用は不可。その他は必要に応じて提示。

◆成績評価基準 発話活動・発表（30%） 平常点（小テスト等 20%） 試験（50%） 無遅刻・無欠席を前提として総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ *David Copperfield* を読む

〔英語 B〕

担当者：上島 美佳

◆学修到達目標 チャールズ・ディケンズの代表的作品 *David Copperfield* を読みます。原作は 800 ページ以上の大作なので、本授業では比較的優しい英語で書きなおされたテキストを使用します。確実に英文を理解する事、少しでも英語の文章を読めるようになる事を目標とします。

◆授業方法 · 演習形式で行います。該当箇所を音読し、和訳してもらいます。必要事項は逐次説明を加えていきます。
· また映像化された作品を鑑賞することによって、当時のイギリス社会及び文化を認識し、作品の理解を深めます。
· 受講者の様子を見ながら進行します。辞書とノートは必ず持参してください。

◆準備学修 事前に郵送されたプリントについては、できれば訳しておいてください。当日、作業時間は取りますが、単語だけでも調べておくようにしてください。(1日目に使いますので、持参してください。)
テキストはこちらで当日配布いたします。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	· ガイダンス · テキスト講読・発表 · DVD鑑賞
2日目	· テキスト講読・発表 · DVD鑑賞
3日目	· テキスト講読・発表 · 試験

◆教科書 **事前資料送付** 事前配布プリント有り
当日資料配付 当日テキスト配布

◆参考書 なし

◆成績評価基準 出席・発表・試験により、総合的に評価します。

◆現代資本主義の枠組みを構成する法

〔民法 II〕

担当者：山川 一陽

◆学修到達目標 物権法はいわば資本主義社会の法的枠組みとなる法である。いわゆる物権法定主義という基本原則の下に限られた種類の物権について共通する議論である物権総論を学び、さらに典型的な占有権、所有権等の物権各論に規定される類型の物権についての着実な理解ができる。

◆授業方法 もっぱら指定教科書に基づく講義方式による。

◆準備学修 少なくとも一通り教科書を読んでおくこと。授業時にあたっては六法を持参すること。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	1 物権とは何かを明らかにする 2 物権法定主義と物権の特色 3 物権変動とその基本的な構造 4 物権的請求権
2日目	1 不動産の物権変動 2 不動産物権変動と登記 3 対抗要件としての登記 4 登記制度概論
3日目	1 動産取引と占有 2 即時取得とその要件・効果など 3 占有权概論 4 所有权概論

◆教科書 **丸沼**『物権法講義』 山川一陽著 日本評論社 3,132円（税込）（送料 350円）

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 出席と論文試験の結果による

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆民事裁判はどのように行われるか

[民事訴訟法]

担当者：小田 司

◆学修到達目標 民事訴訟の全体像について把握した上で、民事訴訟の基本構造と基本理論について理解し、訴えの提起から口頭弁論を経て終局判決に至るまでの過程、勝訴した際の権利実現の方法（強制執行）などについて学ぶことにより、民事裁判及び権利実現方法の概要について知ることができます。

◆授業方法 講義形式で行います。講義においては、民事訴訟について具体的なイメージが描けるように、資金返還請求訴訟、売買代金返還請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟、土地・建物明渡請求訴訟など、日常生活と関係する紛争事例を用いて進めることにします。

◆準備学修 指定した教科書を、事前に熟読してください。講義の最後に次回に取り上げる内容を予告しますので、教科書の該当箇所を読み、各自予習して講義に出席してください。また、講義で取り上げた項目については、学習内容を振り返り、各自でその内容について整理しておくことが重要です。

◆履修条件 平成28年度東京スクーリング（5月期）第1期との積み重ね不可

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	民事紛争の解決方法、民事訴訟の流れと基本構造（資金返還請求訴訟などを例に）、裁判所（裁判所の構成、裁判管轄）、当事者（当事者能力、訴訟能力、当事者適格）、訴訟の開始（訴え、訴え提起の効果、訴えの適法性、訴えの利益など） ＊和解・調停・仲裁などの裁判以外の紛争解決方法、訴訟当事者に必要な能力、訴えの種類などについて学びます。
2日目	訴訟の審理（口頭弁論での当事者の訴訟行為、証拠調べと事実認定など）、当事者の行為による訴訟終了（訴訟上の和解など）、終局判決による訴訟終了、確定判決の効力（既判力の時的限界、既判力の客観的範囲及び主觀的範囲など） ＊口頭弁論における当事者の主張・立証の問題、確定判決の効力である既判力の問題などについて学びます。
3日目	多数当事者訴訟（共同訴訟、訴訟参加、訴訟承継など）、不服申立手続（控訴、上告、抗告、再審）、略式訴訟手続（少額訴訟手続など）、権利実現の方法（金銭執行、非金銭執行） ＊判決の内容に不服がある場合に、どのような方法で争うことができるのか、また判決で確定された権利を実現するための方法などについて学びます。

◆教科書 丸沼『民事訴訟法〔第2版〕』 小田司編 弘文堂 2,376円（税込）（送料300円）
『六法』（出版社は問いません）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 筆記試験（80%）、平常点（20%）。講義に毎回出席することを前提として評価します。

◆法的思考の基礎を学びましょう

[法哲学]

担当者：高須 則行

◆学修到達目標 ①法的責任と裁判制度を理解し、説明することができる。

②法的思考の構造を理解し、説明することができる。

③法的思考における法の種類を理解し、説明することができる。

④様々な法解釈の方法の特徴と機能を、およびその相互関係を理解し、説明することができる。

⑤法的決定を導くときの理由づけ（推論）の構造を理解し、説明することができる。

◆授業方法 講義形式で行いますが、その都度、受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っています。そのような双方向の授業を心掛けていきたいと思います。

受講者の人数にもよりますが、ゼミ形式で授業を進めるこも考えています。

◆準備学修 新聞等で社会的な問題を意識しておいてください。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	①法的世界像の概略 ②法的責任と裁判制度 ③裁判制度と法的思考：法的三段論法と法源論
2日目	①法解釈の技法（1）：言葉の成り立ちと法の解釈 ②法解釈の技法（2）：文理解釈 vs 拡張解釈／文理解釈 vs 縮小解釈 ③法解釈の技法（3）：類推適用 vs 反対解釈 ④法解釈の技法（4）：目的論的解釈（立法者意思説 vs 法律意思説）
3日目	①法解釈の要請（1）：法的安定性と具体的妥当性 ②法解釈の要請（2）：正義と衡平 ③裁判員裁判における法的思考

◆教科書 特になし。レジュメを配布する。

◆参考書 丸沼『法哲学』 平野仁彦・亀本洋・服部高宏 有斐閣アルマ 2002 2,376円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 ①試験結果（50%）②授業参加度（30%）③レポート（20%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代日本語文法を分析する

〔国語学講義〕

担当者：加藤 陽子

◆学修到達目標 現代日本語文法およびその関連領域の基礎的で重要な概念や話題を学ぶ。自身の言語直感や身近な言語資源を参照しながら日本語を分析的・客観的に捉えていく練習を行うことで、日本語を母語としない学習者に対して教える日本語の文法が理解できるようになる。また、国語教育で使用されている文法（いわゆる学校文法）の位置付けが理解できるようになる。

◆授業方法 講義が中心となります。討論や小発表なども行い、双方向のやりとりを重視します（ただし、受講生の人数により、講義と、討論や発表などの演習的要素との割合を適宜変更します）。教師の発問に対して自発的に回答や発言をすることを求めます。

◆準備学修 下記の「参考書」欄に記載されている本を入手し、一読しておくことをすすめます。また、読んで得た知識や気づきに基づき、日常的に使用している日本語とそれを支える規則について意識的に観察してみてください。

◆履修条件 平成25年度夜間スクーリング（春期）「国語学講義」との積み重ね不可

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 言語の単位と文法 2. 外国語としての日本語 3. 学校文法と日本語教育文法 4. 日本語学習者の誤用から見える日本語文法 5. 形態素、語構成、品詞、活用
2日目	1. 格、文の構造、文法カテゴリー、助詞 2. ヴォイス（自動詞・他動詞、受身態、使役態、授受表現など） 3. テンス（時制）、アスペクト 4. モダリティ
3日目	1. 複文（連体修飾節、連用修飾節、従属節の従属度など） 2. 文章・談話（結束性・一貫性、文章・談話の構造など） 3. 待遇表現（敬語など） 4. 講義のまとめ

◆教科書 指定しません。

〔当日資料配付〕授業用プリントを当日配付します。

◆参考書 丸沼『日本語教師を目指す人のための日本語学入門』近藤安月子 研究社 1,944円（税込）（送料300円）
丸沼『国語教師が知っておきたい日本語文法』山田敏弘 くろしお出版 1,728円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 小発表を含めた授業への積極的参加（25%）、試験（20%）スクーリング後提出のレポート（55%）
毎回出席すること、遅刻や早退をしないことを前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 期
7月 東京 期
6月 仙台 期
6月 大阪 期
7月 札幌 期
7月 名古屋 期
7月 福岡 期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座の選定
許可と不許可の講座の選定
受講料の納入
受講準備
受講試験及び
学生生活の愛護開拓
オープン受講
各種用紙付録

◆ 19世紀以降のイギリス文学の流れを知る

【イギリス文学史Ⅱ】

担当者：原 公章

◆学修到達目標 19世紀から20世紀に至るイギリス文学的主要作家を知り、同時にその代表作を実際に読む力を養う。作家・作品の暗記に終わらず、文学が与える力を感得することが目標。

◆授業方法 講師による時代・作家・作品の概説について、テキストに付せられた「アンソロジー」を読む。ロマン主義から20世紀への流れをたどる。

◆準備学修 教材をひと通り読み、同時にアンソロジーの部分より、自力で読めるところに目を通していくこと。市販の参考書はひとまず置き、教材中心に学修すること。

◆授業計画 【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	ロマン主義復興の意味、及びロマン派詩人の紹介。ワーズワース、コールリッジの『抒情民謡集』及び「ティンタン・寺院」と「老水夫の歌」を一部読む。つづいて、バイロン、シェリー、キーツを取り上げ、アンソロジーより代表作を実際に読む。
2日目	1837年以後のヴィクトリア朝時代を中心に、代表的思想家、代表的小説家、代表的詩人を紹介する。同時にアンソロジーより作品の抜粋を読む。なおスコットとオースティンはロマン主義の時代に所属するが、ヴィクトリア朝小説家と比較する。
3日目	ヴィクトリア朝のつづきと、20世紀の「世紀末から第一次大戦」と「第一次大戦から現代まで」について概説する。とりわけ19世紀との違いについて講義する。20世紀の代表的な小説家と詩人を紹介し、可能であれば代表作の一部を読む。最終試験は最後の時間を使う。

◆教科書 通材『イギリス文学史Ⅱ N30100』通信教育教材（教材コード000112）2,950円（送料込）

◆参考書 授業内で通時紹介する。あらかじめ購入する必要はない。

◆成績評価基準 最終日の記述式試験による。同時に、授業への参加度を見極める（アンソロジーの理解度、及び講義への反応など）

◆英語の発音はどのように成り立ったか？

【英語史】

担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を習得します。過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。

◆授業方法 テキストⅡ章「音韻論」を、『学習指導書』を併用しながら、読みます。テキストは私たちにとって必要な箇所を重点的に読みます。（下記に記すところ以外はざっと目を通す程度で結構です。）なお、テキスト第Ⅰ章を予備知識として必要としますので、そこを読んでおくか、あるいは参考図書を読んでおいてください。

◆準備学修 毎回、テキスト（英文）を読み、『学習指導書』の問題の解答を用意しておいてください。

◆授業計画 【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	インド・ヨーロッパ祖語のところを「アブラウト（母音交替）」を中心に読みます。（ただし、テキストp.34～p.38、9行は読まなくて構いません。） ゲルマン祖語のところを「グリムの法則」を中心に読みます。（テキストp.42、8行～21行、31行～p.43、10行、27行～p.44、16行は呼んでおくとよいでしょう。）
2日目	古英語のところを「ウムラウト（母音変異）」を中心に読みます。（テキストp.44～p.45、10行は呼んでおくとよいでしょう。） 中英語のところを概観します。
3日目	近代英語のところを「大母音推移」を中心に読みます。（テキストp.54、31行～p.56、14行は呼んでおくとよいでしょう。） 試験+質疑応答

◆教科書 通材『英語史 N30300』通信教育教材（教材コード000117）（※学習指導書付き）2,650円（送料込）

◆参考書 丸沼『英語の歴史—過去から未来への物語』寺澤盾著 中公新書 1971 842円（税込）（送料215円）

丸沼『英語の歴史』中尾俊夫著 講談社現代新書 958 799円（税込）（送料215円）

（※自学用で、授業中に参照することはありません。）

◆成績評価基準 試験（100%）で評価します。（試験は途中退出なしです）毎回出席することを前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の未来表現を洗い直す

〔英語学演習 A〕

オープン受講：不可 担当者：佐藤 健児

◆学修到達目標 G. N. Leech の *Meaning and the English Verb* の精読を通して、英語の未来表現の世界を探求します。

専門的な英文を読みこなす力を養成するとともに、個々の未来表現の微妙な意味の違いを理解し、説明できるようになること、それを本演習の目標とします。

◆授業方法 輪読形式で教科書を読み進めていきます。指名された学生には、教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。

◆準備学修 Chapter 4 “The Expression of Future Time” の §98 (p.61) から読み進めていきます。予習をする際には、辞書や教科書の「研究課題」、参考書に挙げた文献等を参照しながら、丁寧に（語彙や文法の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。なお、必ず「和訳」をしてから授業に臨むこと。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	テンス・アスペクト・モダリティについて学びます（プリント）。 §98から§101まで読み進めます。
2日目	§103から§107まで読み進めます（§102は扱いません）。
3日目	§108から時間の許す限り読み進めます（ただし、§110～111, 113は扱いません）。試験。

◆教科書 **丸沼**『Meaning and the English Verb [Third Edition]』 Geoffrey Leech 著 澤田治美注釈
ひつじ書房 2,592円（税込）（送料300円）

丸沼『英文法解説 一改訂三版一』 江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料350円）

◆参考書 **丸沼**『ことばの意味と使用 一日英語のダイナミズム』 澤田治美・高見健一編 鳳書房
3,024円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 予習状況・授業への取り組み（発表等）・試験等により総合的に評価します。予習をしていない場合は、大幅に減点します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆オスカー・ワイルドの芸術観を探る—短編小説「W.H氏の肖像」をめぐって【英米文学演習 A】

担当者：鈴木 ふさ子

◆**学修到達目標** イギリス 19世紀末を代表するオスカー・ワイルドの短編小説 “The Portrait of Mr. W. H.” を読み、作者の生涯及びこの時代の背景や芸術思潮に関する知識、関連する Shakespeare の Sonnets や Thomas Chatterton についての知識を習得することが目標です。さらに、作者ワイルドが追求した＜虚＞と＜実＞の問題が作品の中でどのように表れているのか、自分の意見を述べられる分析力・批評力を身につけることを目標とします。

◆**授業方法** オスカー・ワイルドの “The Portrait of Mr. W.H.” を原文で味わい、翻訳、作品解釈、発表と批評文のまとめをしていただきます。基本的には下記授業計画に沿ってテキストの和訳、音読、作品解釈を行います。その上で、事前に読んでいたプリントなどを踏まえ、グループ発表、フロアとの議論を展開します。なお、状況によって授業計画通りに進まないこともありますので、ご留意下さい。

◆**準備学修** 辞書および、注編や翻訳本（両方とも教科書の欄を参照のこと）にあたり、初回授業までに英文テキストを丹念に読んでおくようにして下さい。また、事前配布プリントも熟読しておくこと。受講者のみなさんには下記の授業計画に沿って分担で、和訳、音読、作品解釈をしていただきます。初回授業でグループ分けをし、グループごとに発表をしていただきます。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイダンス（授業の進め方・成績評価の方法の確認を行います。発表のためのグループ分けを行います。） ●イントロダクション（シェイクスピアの『ソネット集』の基本事項、モデルとなった Thomas Chatterton について、オスカー・ワイルドと 19世紀末、ワイルドの芸術観について映像やプリントを用いて解説します。） ● “The Portrait of Mr. W.H.” を読む（指名された方々に音読・翻訳・作品解釈をしていただきます。） ●グループ発表準備（グループごとに分かれ、作品について議論をし、発表の手順などの打ち合わせを行います。）
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ● “The Portrait of Mr. W.H.” を読む（指名された方々に音読・翻訳・作品解釈をしていただきます。） ●グループ発表準備（発表の準備を各グループごとに行う） ●グループ発表（グループごとに割り振られた担当箇所について発表をし、フロアと議論をしていただきます。）
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ発表（グループごとに割り振られた担当箇所について発表をし、フロアと議論をしていただきます。） ●授業のまとめ（これまで学んだことを総括的に復習し、整理します。） ●最終試験

◆**教科書** 『The Complete Short Stories』 Oscar Wilde Oxford World's Classic
<上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。>

事前資料送付

◆**参考書** 丸沼『オスカー・ワイルドの曖昧性』 鈴木ふさ子著 開文社 2,484円（税込）（送料350円）
丸沼『ソネット集』 川西進編 音羽書房鶴見書店 1,728円（税込）（送料215円）
丸沼『ソネット集』 高松雄一訳 岩波書店 777円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み・積極性・発言（40%）、筆記試験（60%）で評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ミュートスから哲学の世界へ

〔哲学概論〕

担当者：齋藤 隆

◆学修到達目標 ミュートスからロゴスへの移行を理解し、ロゴスの思考の二つの在り方、科学と哲学の始まり、その古代の展開と中世の展開を理解する。キリスト教についても理解を深める。

◆授業方法 テキストと印刷物を用いて、講義を中心に授業をすすめる。質問は隨時受けつけるので遠慮なく発言してもらいたい。

◆準備学修 テキストの古代・中世哲学の箇所を前もって読んでおくこと、分かっても分からなくてもよいからとにかく2~3回読んでおくこと。印刷物にも眼を通しておくこと。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	人類の歴史、革命史観、ミュートスからロゴスへの移行、日本神話、神話の三機能体系、哲学以前、前期自然哲学、エレア学派
2日目	後期自然哲学、ソフィストとソクラテス、プラトン、アリストテレス
3日目	ヘレニズム期の哲学、新プラトン主義、ユダヤ教とキリスト教、教父哲学、スコラ哲学

◆教科書 通材『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）（※学修指導書付き）3,350円（送料込）
事前資料送付 印刷物を事前に送付する。

◆参考書 授業時に紹介する。

◆成績評価基準 最終日に行う筆記試験の成績を中心に評価する。

◆「歴史とは何か」の歴史を知ろう

〔史学概論〕

担当者：楠家 重敏

◆学修到達目標 古今東西の「歴史とは何か」の議論を理解することで歴史的な見方を身につける。歴史は繰り返すのか、それともそうでないのか。前に進むとしても、それはプロセスがあるのか。そのプロセスは必然なのか偶然なのか。それは楽観的なものなのか、あるいは悲観的なものなのか。あるいは歴史は科学なのか芸術なのか。歴史の「事実」とは何であるか。これらの議論を振り返ってみることにしよう。

◆授業方法 基本的には教科書にそった内容を講義することになる。私から学生に語りかけ、昔からある上記の議論を論じあえることができれば幸いである。学生は私が板書したことだけでなく、口頭で語りかけた情報もノートにとってもらいたい。学生のアクティブな授業参加を望んでいる。

◆準備学修 下記の教科書、あるいは古今東西の「歴史とは何か」の本をあらかじめ読んでおいてもらいたい。歴史の研究にひつようなことは、「歴史を考え」、「歴史を調べ」、「歴史を書く」ことである。これは歴史理論、歴史方法論、歴史叙述とよばれるものである。従来の日本人は「歴史を調べる」ことは得意であるが、ほかの要素をあまり考えることはなかった。この三つの要素をバランスよく身につけてもらいたい。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	古代から19世紀までがこの日の講義の範囲である。「歴史とは何か」について古今東西の人々が回答している。歴史とヒストリアの語義を語り、まず日本と中国の場合を考える。史記、漢書、日本書紀、六国史などがキーワードとなる。つぎに日本と西欧の場合を見る。ヘロドトス、アウグスティヌス、ランケ、福沢諭吉、リースなどが登場する。
2日目	幕末・明治初期から1945年ころまでの日本人の歴史観の変遷を追ってゆく。治乱興亡史観から文明史観に変わり、清朝考証学の影響をうけてアカデミズム史学が誕生する。その後、歴史哲学論争があり、実証史学と歴史哲学が分岐する。西周、三宅米吉、ベルンハイム、内田銀蔵、坪井九馬三などの言葉に注意を向けておきたい。
3日目	1945年から現在までの歴史学の考え方の推移を追ってゆく。戦前の歴史学の反省から新しい動きがはじまる。歴史家と文学者のあいだで「昭和史」論争がおきる。やがてマルクス主義歴史学が全盛期をむかえ、いっぽうでアーネル学派の考え方も紹介される。近年では言語論的転回が唱えられ、歴史=物語り論も展開される。

◆教科書 丸沼『「歴史とは何か」の歴史』 楠家重敏著 晃洋書房 2,376円（税込）（送料300円）

◆参考書 授業中に適宜指示する。

◆成績評価基準 平常点（30%）試験（70%）毎回出席することを前提として評価する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆金融の基礎を学ぶ

【金融論 A】

担当者：谷川 孝美

◆**学修到達目標** この講義では、①オカネとは何か、また、そのオカネの貸し借りとは何かなど、金融に関する基本的な事柄。②銀行などの金融機関が果たしている役割。③日本の金融制度、仕組み。これらに関する基礎的知識・理論を学び、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆**授業方法** 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基本的な事柄を中心に、全体的かつ平易な解説をする予定です。講義の進行状況によっては授業計画が前後することもあります。なお、この講義では中央銀行、金融政策の詳細は取り扱いません。

◆**準備学修** 金融理論を理解するためには、経済学の基礎が重要になります。受講前準備として、マクロ経済学、ミクロ経済学の基本的な事柄を確認しておくこと。また、理解をより深めるために、授業計画にあるトピックスや専門用語などを参考書等で事前に調べること。

◆**履修条件** 平成29年度春夏・土曜スクーリング（前期）「金融論」との積み重ね不可。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	①貨幣とは何か、貨幣の定義、②さまざまな金利、③短期金利、長期金利 ※金融論の基礎として、貨幣の定義や金利の種類、また、金利がどのように決まっているのかなどを学びます。
2日目	①情報の非対称性問題、②金融機関の役割、③資金循環 ※情報の非対称性問題など金融理論を考える上での基礎などを学びます。
3日目	①日本の金融システムの歴史（金融の自由化、日本版ビッグバン）、②講義のまとめ。 ※わが国の金融システムの歴史的変遷などを学びます。

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリント配布

◆**参考書** 通材『金融論 R31800』 通信教育教材（教材コード 000540）金額未定

丸沼『ベーシックプラス 金融論』 家森信善 中央経済社 2,376円（税込）（送料300円）

丸沼『現代の金融入門【新版】』 池尾和人 筑摩書房 928円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆働き方、働くされ方について考える

〔労働経済論〕

担当者：村上 英吾

◆学修到達目標 本講義の目標は、雇用・失業、賃金、労働時間ならびに働き方・働くされ方に関する諸問題を経済学的に分析する視点を身につけることです。はじめに、応用ミクロ経済学としての労働経済学における基本的な理論を学び、それを批判的に検討した上で、現代日本の身近な労働問題について考えていきたいと思います。

◆授業方法 事前に講義スライドと関連資料をWebページから配付し、スライドに沿って講義を進めます。ただし、講義の内容や進度は、受講生の理解の程度、経済状況の変化や学生の要望等により変更することがあります。なお、講義時間内に簡単な小テストの実施を予定しています。

◆準備学修 講義スライドをWebページにアップしますので、事前にダウンロードし、大体の授業の流れを把握しておいてください。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	労働経済学の基本的な理論として、所得余暇選好モデルと限界生産力説に基づく労働市場のモデルを学びます。さらに、このモデルの問題点について検討します。この素朴な労働市場モデルのイメージは、現実の労働政策を検討する際にも一定の影響力を持っているので、この問題点を把握するのが1日目の課題です。
2日目	素朴な労働市場のモデルを相対化して、労働研究の焦点を労働過程に転換する労働者統制システムの理論を紹介し、労働市場の構造について理解し、賃金と雇用に関する代替的な理論を学びます。
3日目	2日間の学習を踏まえて、現代日本における「働き方改革」について考えます。長時間労働や正規・非正規間の労働条件格差の是正は、重要な政策課題となっています。この課題を解決するための政策について、理論を踏まえて検討します。

◆教科書 テキストは使用しません。

■事前資料送付 準備学修を参照してください。

◆参考書 丸沼『労働経済学』 小野旭 東洋経済新報社 2,808円（税込）（送料300円）

一般的な「労働経済学」のテキストです。

丸沼『入門 社会経済学』 宇仁・坂口・遠山・鍋島著 ナカニシヤ出版 3,240円（税込）（送料350円）

「社会経済学」の新しいテキストです。批判的な視点

通材『労働経済論 S32200』 通信教育教材（教材コード000500）3,300円（税込）（送料込）

労働政策の動向について参考になるテキストです。

〈この教材は市販の『よくわかる社会政策（第2版）』石畠・牧野編（ミネルヴァ書房）と同一です。〉

◆成績評価基準 基本的には最終日の筆記試験の結果により評価します。ただし、授業内に小テストを実施しますので、その結果を加点します（最大+10%程度で、減点はしません）。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆事業戦略の策定

〔経営学〕

オープン受講：不可 担当者：金崎 賢希

◆**学修到達目標** 船の航海に例えるなら、戦略とは目的に向かって航海を進めていくための羅針盤のようなものです。船（組織）を目的地（成功）に導くために欠かせないものです。講義では、とくに戦略に影響を与える2つの要因、組織の外部環境および内部環境について学び、簡単な事業戦略を策定することを目標とします。

◆**授業方法** 講義中は、講義資料を配りますので、講義の内容や自分の疑問・意見などを書き込んでください。新聞雑誌記事、DVDなども使用して講義をします。また、実際の事例を用いて、ディスカッションを行いたいと思います。

◆**準備学修** 事前に配布するリーディングス（事例・論文など）を読んでおいてください。また、社会人の方は、自分が勤務している（あるいは経営している）組織に関して、現在どのような問題を抱えているか、どのように売上げ・利益を出そうとしているかを考えておくとよいでしょう。

◆**履修条件** 平成27・28年度東京スクーリング（5月期）第1期「経営学」との積み重ね不可

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	①戦略とは、②初期の戦略論、③インダストリー・エフェクト（業界要因）について、④ファイブフォーシーズモデル（5つの競争要因）について、⑤ファーム・エフェクト（企業要因）について
2日目	⑥企業の目的・目標、⑦価値の創造、⑧顧客の分析、⑨競争相手の分析、⑩事業システムの構築、⑪資源と能力の分析、最後に次の日の課題とグループ分け
3日目	⑫～⑯グループワークによるケースディスカッションおよび発表

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にパワーポイント資料、リーディングスを配布します。

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** ①授業内の提出物、②授業内で行うケースディスカッションおよび発表をもとに評価します。
①を30%、②を70%とします。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商品の基本概念を学ぶ

[商品学]

担当者：鄭 舜玉

◆学修到達目標 「商品の洪水」の現代において、我々は毎日数多くの商品を選択し使用している。今日の商品は従来のように物理的特性を提供するだけではなく、イメージや感動も提供するようになっている。本講義では、このように我々の生活に密着している商品について、基礎概念やその役割を学び生産、流通、消費の段階にわたる商品の意義を知ることができます。前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学習効果を上げるために、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業方法 パワーポイントを用いた講義形式で、毎回スライド内容をプリントで配布する。プリントは重要箇所がブランクになっており、講義を聴きながら講義内容のメモとブランクを埋める形式とする。授業開始時の復習・授業中の質疑への積極的な発言は成績として反映される。

◆準備学修 指定参考書を授業計画に沿って事前に読んでおくことと、学習した講義内容は配布されたプリントをベースに必ず復習しておく。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	ガイダンス、商品学の領域、商品学の誕生、商品の概念、製品・商品の違い、商品の適性、製品および商品の構成要素、製品および商品の分類、商品分類の必要性および基準 ※商品学はどうやって誕生したのか、製品と商品の違いは何かを確認し、商品の概念を明らかにすると共に、その構成要素および分類など商品の最も基礎的な知識を学ぶ。
2日目	商品の品質、商品の表示、商品の検査、商品の評価、商品の標準化、ネットワーク外部性、商品の安全性、トレーサビリティ、PL法、総括 ※商品を評価する際の品質や評価基準、また商品供給の効率化を実現した商品の標準化により商品の価値がどのように変化するのかを学ぶ。さらに商品の安全性についてその関連知識を学ぶ。そして、1、2回目の講義全体を復習する。
3日目	商品のパッケージ、消費者の権利・責任、クーリング・オフ、筆記試験 ※商品パッケージの機能を確認した上で、授業全体の内容と結びつけながら我々消費者の権利および責任、クーリング・オフ制度について学ぶ。そして、講義全体の補足説明を行う。

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント配布

◆参考書 **通材**『商品学 S30300』 通信教育教材（教材コード 000401）（※予習時に使用）2,550円（送料込）
〈この教材は市販の『現代商品論（第2版）』見目洋子他著（白桃書房）と同一です〉
丸沼『商品学と商品戦略』（KGU叢書） 石持悦史著 白桃書房 3,672円（税込）（送料 350円）

◆成績評価基準 平常点（15%）、発表（15%）、筆記試験（70%）毎回出席することを前提として評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆モノ・カネ・ヒトの国際的な流れを知る

(貿易論)

オーブン受講:不可 担当者:松原 聖

◆学修到達目標 国際貿易、国際収支、外国為替に関する問題を中心とする日本経済・世界経済の諸問題について、履修者が基礎的な知識を得て、同時に分析能力を養うことを狙いとします。主なトピックは以下の通りです:(1)日本の対外取引の現状、(2)貿易の利益と国内問題、(3)貿易実務の基礎、(4)国際収支、(5)外国為替市場と為替レート、(6)海外直接投資と貿易構造。

◆授業方法 講義においては理論の説明だけでなく、統計データや日本経済新聞の記事などを元に、学習到達目標に挙げた諸問題を説明します。講義当日の日本経済新聞朝刊を持参すると良いでしょう。教科書と共に、配布資料を適宜使用します。時間が許せば各講義日の最後にその日の講義のまとめなどを行う予定です。

◆準備学修 新聞・雑誌やテレビ・インターネットの経済ニュースに目を通して、日本経済・世界経済に関する時事問題についての知識を深めておくと、講義の理解に役立ちます。講義で用いる経済学のツール(需要・供給分析)は講義でも説明しますが、あらかじめ経済学の入門テキスト(参考書参照)に目を通しておくと、講義を理解しやすくなります。

◆授業計画 [1日目:480分, 2日目:510分, 3日目:360分]

1日目	(1) イントロダクション(講義の概観) (2) データでみる日本の貿易 (3) 比較優位の原理Ⅰ:リカードの貿易理論 (4) 比較優位の原理Ⅱ:ヘクシャー・オリーンの貿易理論
2日目	(1) 自由貿易と保護主義 (2) 貿易の流れ(貿易実務入門) (3) 国際収支
3日目	(1) 国際取引と外国為替市場 (2) 海外直接投資と貿易構造 (3) 試験

◆教科書 『貿易論 S30400』 通信教育教材(教材コード 000439) 2,400円(送料込)

◆参考書 丸沼『マンキュー入門経済学(第2版)』 N.グレゴリー・マンキュー著 足立ほか訳 東洋経済新報社
2014年 3,456円(税込)(送料350円)

丸沼『徹底解説 国際金融~理論から実践まで』 清水順子・大野早苗・松原聖・川崎健太郎著 日本評論社
2016年 2,808円(税込)(送料350円)

◆成績評価基準 授業への取組(発言等)・試験により、総合的に評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆漢字の造形美と筆遣いを学ぶ

〔漢字書法〕

担当者：金子 馨

◆学修到達目標 中国・日本の各時代における漢字（書体）の変遷や歴史的な背景を理解するとともに、漢字や各書体の成り立ちについて説明できるようになる。また、その造形美（結構）を学び、各書体の筆遣い（筆法）を身に付けるとともに、臨書を通して実技の向上を目指す。

◆授業方法 まず、漢字や各書体の成り立ち、時代背景等について、下記の教科書や当日配布のプリント、投影するプロジェクターを通して解説します。その上で、歴史上著名な古典（名跡）を取り上げて、丹念な臨書を通して実技の向上を図ります。実技は個々のレベルに合わせて添削指導します。

◆準備学修 受講する際は、各自で筆（大筆3～4号程度、小筆）、墨（墨液も可、洗濯で落とせる墨はNG）、硯（墨液なら墨池等も可）、半紙、毛氈（書道用下敷き）、文鎮などの書道用具を持参しなければなりません。作品や反故紙などを挟む古新聞等も持参されるとよいでしょう。初日から道具を使用しますので必ず用意してください。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	●文房四宝（道具）の知識の修得と書道用具の取り扱い（用筆）について ●楷書の歴史的な概説と実技練習 ●古典の臨書（九成宮醴泉銘・孔子廟堂碑、唐の四大家・北魏）
2日目	●行書・草書の歴史的な概説と実技練習 ●古典の臨書（蘭亭序・集王聖教序・書譜、宋の四大家・三筆・三蹟）
3日目	●隸書・篆書・金文・甲骨文の歴史的な概説と実技練習 ●古典の臨書（曹全碑・泰山刻石など） ●古典を活かした創作（作品制作に挑戦する）

◆教科書 通材『漢字書法手本 T22400』通信教育教材（教材コード 000237）750円（送料込）

通材『漢字書法教本（学習指導書） T22400』通信教育教材（教材コード 000238）900円（送料込）

◆参考書 特に指定はありません、適宜ご案内します。

◆成績評価基準 授業内で制作した課題（60%）・授業参画度（20%）・平常点（20%）をもとに、総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 期
7月 東京 期
6月 仙台 期
6月 大阪 期
7月 札幌 期
7月 名古屋 期
7月 福岡 期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の説明
許可と不許可の説明
受講料の納入
受講準備
受講及び試験
学生生活の意識開拓
オープン受講
各種用紙付録

◆国際社会のなかの日本国憲法

(法学通論／法律学概論)

担当者：遠藤 清臣

◆学修到達目標 国際的に社会の価値観が激変するなか、少子高齢化の日本も他国の価値観との共存を迫られている。国内では憲法の解釈や改正の議論も盛んである。本講座は、社会の価値観と法との関係、法の理想と現実、法の解釈など、法に関する基礎知識を学んだうえで、各受講者に、日本国憲法のあり方についての考え方を再構築してもらうことを目標としている。

◆授業方法 科目の性質上、講師が一方的に講義する、いわゆる講義形式を探らざるを得ない。受講者の人数や、講義の進捗状況をみながら、可能な限り受講者を交えた意見交換や討論を行うつもりである。

◆準備学修 受講前の事前学習は特に必要としない。それよりも、授業当日の講義に集中し、その日のうちに復習して、常に講義内容に対する、自分なりの考え方や批判を構築していくことが重要である。

◆授業計画 (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	①法の本質と性格 ③日本の法の沿革 ⑤社会構造、社会意識の変化と法の変遷	②法の下の平等（平均的平等と配分的平等） ④日本国における近代憲法の成立
2日目	①成文法と不文法 ③国際法と国際私法 ⑤基本的人権の体系 ⑦社会権（特に教育基本権）	②日本の成文法と不文法の種類 ④権利の意義と制約 ⑥日本国民の意義と外国人の人権
3日目	①法の制定（立法と民主主義） ③事実の認定と法の解釈 ⑤試験	②法の実現（議院内閣制） ④裁判制度とその問題点

◆教科書 教科書は特に指定しない。

【当日資料配付】講義当日プリントを配布する【当日資料配布】

◆参考書 通材 『法学 B11500』 通信教育教材（教材コード 000515）3,100円（送料込）

丸沼『現代法学入門』 三浦隆・石川信編著 北樹出版 3,132円（税込）（送料 350円）

『ポケット六法』又は、その他の簡易な六法

（上記の各参考書は、いずれも学習の過程で必要に応じて参考すればよく、事前に準備、持参する必要はない。）

◆成績評価基準 筆記試験の成績による。講義中の課題、応答内容を加えて総合的に評価する。

◆カウンセリング・教育相談・学校教育相談 [教育相談／教育カウンセリング論]

オーブン受講：不可 担当者：植松 紀子

◆学修到達目標 カウンセリングの歴史、定義、理論を土台にして教育相談が作られ、その方法を用いて学校教育相談が学校現場で使用されるようになった。いじめや不登校など不適応問題（行動）が生じている児童生徒への相談を行って行くために必要な知識を獲得することが目的である。

◆授業方法 「教育相談／教育カウンセリング論」のテキストや配布資料を中心に授業を行い、学生への質疑応答や心理テストを行う。

◆準備学修 指定したテキスト「教育相談／教育カウンセリング論」を事前に熟読しておくこと

◆授業計画 (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	ガイダンス 『教育相談／教育カウンセリング論』の第1章：カウンセリングとは何か 第2章カウンセリングの理論と方法 第3章教育相談とは何か、について学修する
2日目	『教育相談／教育カウンセリング論』の第4章：学校教育相談の本質 第5章：学校教育相談の理論と実際 第6章：学校教育相談の方法 第7章：進路相談の意義と方法、すなわち学校教育相談について学修する。
3日目	『教育相談／教育カウンセリング論』の第8章：不適応問題（行動）と学校教育相談 第9章：特別支援教育に関する理解と学校教育相談 第10章：心理アセスメントについて学修する。 ★試験実施

◆教科書 【当日資料配付】当日資料配付

通材 『教育相談 T30600／教育カウンセリング論 T30700』 通信教育教材（教材コード 000498）1,650円（送料込）

◆参考書 丸沼『改訂 生徒指導・教育相談・進路指導』 仙崎武・野々村新編著 田研出版 2,592円（税込）（送料 300円）

◆成績評価基準 発表（20%）平常点（30%）試験（50%）毎時間出席することが前提

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆自由な学びをサポートする

〔博物館教育論〕

担当者：岡部 幹彦

◆**学修到達目標** 博物館教育について、その目的や特性を理解し、基礎となる理念と具体的な実践方法に関する知識を修得する。また、内外の優れた事例を通じて博物館での学びについて学習し、実践者・利用者としてミュージアム・リテラシーを高める方法を身につける。

◆**授業方法** 毎回の授業時に資料プリントを配布し、スライドを用いて講義形式で進行することを基本とする。積極的な学修姿勢と理解を促すため、適宜テーマを設けて意見を求める。また、実際に博物館などで作成・活用されている教育・学習ツールを用いて実践的に理解を深める。

◆**準備学修** 身近な博物館・美術館を訪れ、館案内リーフレット、事業案内などを入手し、施設・設備や展示の状況を理解するとともに、多くの博物館のウェブサイトを閲覧し、教育事業の多様性と実施状況を調べ理解しておくこと。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	《ガイダンス》授業の進め方と留意点 《博物館における学びの特性》をテーマに以下の項目を学びます。 博物館教育とは、博物館教育の目的、自由な学び、学びの契機と学びのサポート、モノから学ぶとは、観察と鑑賞、学びのサイクルの創出
2日目	《博物館教育の実際》をテーマに以下の項目を学びます。 事例に学ぶ—多様なプログラムとその手法、ワークショップの意味と手法、教育プログラム・ツールの開発と実践、ICTと博物館教育、教育プログラムの評価、博物館リテラシー、学芸員とコミュニケーション能力、博物館と学校教育、博学連携事業の進め方
3日目	《地域社会と博物館教育》をテーマに以下の項目を学びます。 生涯学習と博物館、学習成果の地域への還元、博物館人材育成、学びのサイクルの核としての博物館 《まとめ》博物館教育の可能性と学芸員の果たすべき役割 《試験》

◆**教科書** [当日資料配付] 資料プリントを当日配布

◆**参考書** [通材] 『博物館概論 Y20300』 通信教育教材（教材コード 000492）2,500円（送料込）
<この教材は市販の『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会編（芙蓉書房出版）と同一です>

◆**成績評価基準** 授業への取り組みと試験により総合的に評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京 5月期 第2期

日 程		授 業 時 間		備 考	
5月 2日	火	9:30 ~ 18:30		※時間内に昼休みを設けます。	
5月 3日	水	9:00 ~ 18:30			
5月 4日	木	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>			

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ープ 講ン		
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配当 学 年	受 講 条 件			
D8B1	哲 学	長谷川 武雄	2	B10700	哲 学		1年				
D8B2	英 語 C	今滝 暢子	1	C10100	英 語 I		1年	· I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英 語 II						
				C10300	英 語 III		2年				
				C10400	英 語 IV						
D8B3	英 語 D	桑山 啓子	1	C10100	英 語 I		1年	· I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×		
				C10200	英 語 II						
				C10300	英 語 III		2年				
				C10400	英 語 IV						
D8B4	民 法 IV	伊藤 文夫	2	K30300	民 法 IV		2年				
D8B5	国 際 法	渡部 茂己	2	K31100	国 際 法		2年				
D8B6	税 法	黒川 功	2	K31500	税 法		2年				
D8B7	外 交 史	佐渡友 哲	2	L30700	外 交 史		2年				
D8B8	国文学基礎講義	近藤 健史	2	M20100	国文学基礎講義	条 件 参 照		· 国文学専攻のみ 1学年以上申込可。 · 上記以外は 2学年以上申込可。			
D8B9	英米文学概説	佐藤 秀一	2	N20300	英米文学概説	条 件 参 照		· 英文学専攻のみ 1学年以上申込可。 · 上記以外は 2学年以上申込可。			
D8BA	アメリカ文学史	鈴木 孝	2	N30200	アメリカ文学史		2年				
D8BB	英語学概説 A	田中 竹史	2	N30700	英 語 学 概 説		2年				
D8BC	英語学特殊講義 A	山岡 洋	2	N311S0	英語学特殊講義	×	2年				
D8BD	哲 学 演 習 A	小山 英一	1	P401S0	哲 学 演 習 I		3年	· 哲学専攻のみ申込可。 · I, II のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				P402S0	哲 学 演 習 II						

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オーブ 講シ
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配当 学 年	受 講 条 件	
D8BE	考古学特講 I	野中 和夫	2	Q30600	考古学特講 I		2年		
D8BF	経済学原論／ 経済原論	関谷 喜三郎	2	L20200	経済学原論	条件参照	2年	・法律学科は2学年以上申込可。 ・政治経済学科は1学年以上申込可。	
				R20100	経済原論			・文理・商学部は2学年以上申込可。 ・経済学部は1学年以上申込可。	
D8BG	経済地理学／ 経済地理	田村 和彦	2	R32600	経済地理学	×	2年	・法・文理・経済学部のみ申込可。	×
				S32200	経済地理			・商学部のみ申込可。	
D8BH	国際金融論	谷川 孝美	2	S31200	国際金融論		2年		
D8BJ	観光事業論 A	服部 伊人	2	S32000	観光事業論		2年		
D8BK	教育の歴史	宇内 一文	2	T10400	教育の歴史	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
D8BL	特別活動論／ 特別活動の研究	関川 悅雄	2	T21500	特別活動論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
				T21600	特別活動の研究				
D8BM	生涯学習論	上原 義正	2	Y20100	生涯学習論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆「思考」と「ことば」の関係

[哲学]

担当者：長谷川 武雄

◆学修到達目標 今日「コミュニケーション（伝達）」の重要性、世界との関わりの需要性が叫ばれている。その手段の一つが「ことば（言語）」である。しかし、そもそも手段としての「ことば」の可能性・不可能性を問わずに、コミュニケーションの可能性が語られているように思われている。この講義では「ことば」の可能性・不可能性を中心に、「ことば」と「思考（認識や考察など）」を各自今一度再確認する意識を持つ事を目標とする。

◆授業方法 基本的に「講義」を中心とするが、「問う」という観点も加える。この点から講義の中では、様々な「問い合わせ」の組合せ（いわゆる「対話」）方法を通して、「聞く」に加え「疑問（問い合わせ）」に対する「答え」を導き出す手順・流れを追いながら（どのように「考えるべきか」）進める。同時に受講者にはその流れを「記述（論述）」することにより、整理してもらう。

◆準備学修 教科書「第1章 哲学の入り口 1 哲学の手前で」は事前に読んでおくこと。哲学に接するに当たって、それ以前の筆者の考え方、入り方が具体的に示されている。受講者の考え、立場、あるいは疑問等々を、ここで比較しながら整理しておくとよいであろう。不明・理解難な概念や表現は国語辞典・事典等でいつでも調べができるようにしておくこと。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	1 これからの講義について全体的説明／2 この授業における論述分の書き方の説明／3 第1章 言語は世界を切り分ける—その多様性（モノの名前、数の名前）／4 第一章の整理（まとめ・問題点）／5 第2章 言語が異なるれば、認識も異なるか（言語決定論、モノと物質、時間の認識、ウォーフ仮説）／6 第2章の整理（まとめ・問題点）
2日目	7 第3章 言語の普遍性を探る（言語の普遍性、モノ・色・動作の名前と普遍性、普遍性と多様性）／8 第3章の整理（まとめ・問題点）／9 第4章 子どもの思考はどう発達するか—ことばを学ぶなかで（言語がつくるカテゴリー、名前・数の認識、言語と認識）／10 第4章の整理（まとめ・問題点）
3日目	11 第5章 ことばは認識にどう影響するか（言語情報と記憶、言語を介さない認識は可能か）／12 第5章の整理（まとめ・問題点）／13 終章 言語と思考—その関わり方の解明へ（異なる言語の話者はわかりあえるのか、認識の違いを理解することの大事さ）／14 全体の整理（まとめ・問題点・批判的思考）

◆教科書 丸沼『ことばと思考』 今井むつみ 岩波書店（岩波新書 新赤 1278） 885円（税込）（送料215円）

◆参考書 教科書「参考文献」中に示されているので、適宜参考にしてもらいたい。
しかしまずは教科書をしっかり読みこなすこと。

◆成績評価基準 最終試験（60%）、授業時課題（主に論述）（30%）、授業時質疑応答・その他（10%）。最終的には、以上の全体を見わたし「総合的に評価」する。

◆英語の4技能を磨く

〔英語 C〕

担当者：今瀧 暢子

◆学修到達目標 英語の4技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）を総合的に強化することを目的とします。世界の人々の暮らしについて知見を深め（リスニング・リーディング），自らの考えを発信する（スピーキング，ライティング）力を養います。

◆授業方法 演習形式で進めます。教科書のユニットごとに語彙と文法事項を確認してから、リスニングや会話、短いライティング等を行います。受講者の様子を見て進め方を調整します。

◆準備学修 教科書 p10, 11 と p22, および p34, 35 のリーディングパートについて、英文を読み、設問を解いておいてください。（1日目に使用するので、ノートなどに書き、持参してください。）

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. ガイダンス 2. Unit 1～3 発表・解説・演習 一初対面の相手とのやり取り、1日の過ごし方、旅行 3. DVD教材を用いたリスニング ※授業の進度は受講者の様子を見て調整します。シラバスはあくまで目安と考えてください。
2日目	1. Unit 4～6 発表・解説・演習 一食事、スポーツ、過去に訪れたことのある場所 2. Unit 7～9 発表・解説・演習 一様々なコミュニケーション、未来の計画、衣服 3. DVD教材を用いたリスニング
3日目	1. Unit 10～12 発表・演習と解説 一健康と生活、これまでに達成したこと、お金と幸福 2. DVD教材を用いたリスニング 3. 試験

◆教科書 丸沼『World English Level 1: Real People, Real Places, Real Language』(Second edition)

Martin Milner著 Rob Jenkins編 センゲージラーニング 2,948円（税込）（送料300円）

※ Student Book のみを準備してください。類似のものがあるので、ISBN:9781285848693 を購入前に必ず確認してください。

〔当日資料配付〕当日プリント配布

◆参考書 英和・和英辞書（電子辞書可）を必ず持参してください。

◆成績評価基準 試験（60%）、授業に取り組む姿勢（40%）より評価します。

全日程への出席を前提として評価します。

◆英語の力を伸ばそう！

〔英語 D〕

オーブン受講：不可 担当者：桑山 啓子

◆学修到達目標 言語の4技能 (reading, listening, writing, speaking) は語学を学ぶ上で重要である。4技能のうち一つでもかけていると語学の上達は難しくなる。授業の中では reading, listening の力を伸ばすことを中心に、また簡単な writing の力も養成するのを目標とする。

◆授業方法 テキストは映像を見てニュースの内容を確認するパートと、リーディングのパートとに分かれている。最初のパートではニュースの映像を見て、リスニングを中心にスクリプトを見ながら内容を確認する。2つ目のリーディングのパートは一文ずつ和訳して内容を理解する。学生の人数と英語力に合わせて授業を進めるので授業の進め方を変える場合もある。

◆準備学修 時間の関係から授業で行わない部分もあるのでシラバスをよく見て予習をしておくこと。リスニングパートはテキストに付いている DVD の音声を聴いて、() に語を入れておくこと。わからない語を辞書で調べ、ニュースの内容を把握する。リーディングのパートは全文和訳をしておくこと。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	(午前) ガイダンス, Lesson 1: Listening 1～4 (pp.1～3) ニュースの内容を把握、重要な語句、文の解説など (午後) Lesson 1: Reading 本文の英文の和訳, Exercise 1～2 (pp.4～5) Lesson 2: Listening 1～4 (pp.7～9) —ニュースの内容を把握、重要な語句、文の解説など / Reading 本文の英文の和訳, Exercise 1～2 (pp.10～11)
2日目	(午前) ガイダンス, Lesson 3: Listening 1～4 (pp.13～15) —ニュースの内容を把握、重要な語句、文の解説など / Reading 本文の英文の和訳 (p.16) (午後) Lesson 3: Reading 部分の復習, Exercise 1～2 (pp.16～17) Lesson 4: Listening 1～4 (pp.19～21) —ニュースの内容を把握、重要な語句、文の解説など
3日目	(午前) Lesson 4: Reading 本文の英文の和訳, Exercise 1～2 (pp.10～11) (午後) Lesson 1～4 の復習 試験

◆教科書 丸沼『AFP World News Report 3』 宮戸・他2名共著 成美堂 2,700円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼『英文法解説』 江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料350円）

丸沼『総合英語 Forest』 石黒昭博監修 桐原書店 1,641円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 3日間出席することを前提に評価します。（評価内容：授業への取り組みや授業時に行う予習確認小テスト等30%, 授業時の発表状況20%, 試験50%）

◆不法行為法

〔民法IV〕

担当者：伊藤 文夫

◆学修到達目標 債権各論は契約・事務管理・不当利得・不法行為の債権発生原因など日常生活に密着する領域を守備範囲とするものであるが、今回のスクーリングにおける講義では契約と異なり意思に基づかない法定債権の中の「不法行為法」すなわち、自動車事故・医療事故・製造物事故・各種生活事故など、我々自身がいつ加害者・被害者になるかもしれない問題について法的検討を加え、不法行為法の基礎理論についての俯瞰図を得ることを目標とする。

◆授業方法 講義方式によるが、議論がかなり緻密かつ錯綜下展開を示すので、教科書ならびにレジュメ（事前配布予定）を読み込んでおくが不可欠である。

◆準備学修 上述のように、教科書、レジュメの予習は不可欠である

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	民法典における債権各論の位置づけ。損害賠償請求権の発生原因としての不法行為。不法行為法の俯瞰図（成立要件・帰責類型・損害・賠償額の調整・免責事由・正当防衛等・名誉毀損・時効等）。一般不法行為（民709）。一般不法行為の成立要件（故意・過失（過失概念の変遷）、責任能力の位置づけ、違法性概念、権利・法益侵害類型・因果関係）。
2日目	他人の行為についての責任=責任無能力者の監督義務者等（民712～714特に、最近の判例による補完）、使用者責任（民715）、危険物の占有者などの責任（民717・718）、複数行為者の加害行為と不法行為責任（民719）、名誉・プライバシー侵害と不法行為（表現の自由・原状回復・差止請求）。
3日目	権利の消滅（権利存続期間と判例法理の展開、消滅時効・除斥期間）。現代的型不法行為としての自動車事故民事責任と補償システム（自動車損害賠償保険法の概要・自動車保険の概要・判例法理の展開と現状）。

◆教科書 丸沼『債権各論講義（改訂版）』 山川一陽 立花書房 3,394円（税込）（送料350円）

◆参考書 丸沼『不法行為法』 窪田充見 有斐閣 3,672円（税込）（送料350円）

丸沼『民法判例百選⑩債権〔第7版〕』 有斐閣 2,376円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 筆記試験による

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国際社会の法秩序**(国際法)****担当者：渡部 茂己**

◆学修到達目標 「国際社会」を規律する法規範としての「国際法」は、具体的にはどのような形で存在しているのか、だれがどのようにして定立するのか、もし守らない場合にはどのような制裁を受けるのか、そして、国際法主体としての国家について、国際社会の裁判所について、などの基本的な事項について要点を説明できる。

◆授業方法 教科書や配布プリント、パワーポイントを用いた講義を中心に、課題についての小論作成、討議も併用する。視聴覚教材も用いることがある。

◆準備学修 教科書である通信教育教材の『国際法』を事前に読んでおくことが望ましい。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	■国際法の概要と諸分野、国際社会の特質、国際法の概念と基本原理 ■国際法の法源（形式的法源と実質的法源、条約と国際慣習法） ■国際法と国家（国家の成立、国家承認の理論と実際の事例、国家の国際交渉機関、国家の国際責任）
2日目	■国家の領域、海洋法、国際公域（南極、深海底、宇宙） ■視聴覚教材 ■国際法と個人、基本的人権の国際的保護（国際人権法）
3日目	■下記の国際法諸分野から受講生の関心に応じていくつか取り上げる。 国際法と地球環境（国際環境法）、国際法と国際経済（国際経済法）、国際法と国際機構（国際機構法と国際組織法）、条約の締結手続と効力（条約法）、国際紛争の平和的解決（国際裁判法）、国際安全保障、人間の安全保障、武力紛争と国際法（国際人道法）

◆教科書 通材『国際法 K31100』 通信教育教材（教材コード 000462）2,900円（送料込）

（昨年と同様です。市販の『国際法 第二版』渡部茂己・喜多義人（弘文堂）と同一です。）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 授業内で作成する課題についての小論文や質疑を含む平常点（50%）、論述試験（50%）

◆税法の基本原理 (Fundamental Theory of Tax Law)**(税法)****担当者：黒川 功**

◆学修到達目標 具体的な税金問題を交えながら、税法学の基礎理論を体得します。税法は現代法の中心領域でその理解は今の時代を生き抜く上で不可欠です。短期間で各人が自力で租税問題を法的に理解・判断できるようになるための基本的な視覚を得ることが目標です。

◆授業方法 講義は税に関する情報の整理から始め、問題への理解の深度と確実性を高めることを優先します。最初に要点を板書し、できるだけ事例紹介を折り込みながら説明します。短時間ですが、見て、聞いて、整理したものをノートに書き写し、確認しながら理解するという密度の濃い頭の使い方をします。

◆準備学修 参考書に掲げてある北野弘久『納税者の権利』岩波新書に一度目を通しておくと、理解の下地を作る上で有益です。それ以外の自己流の予習は却って有害となる場合があるので、特に必要としません。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	① 現代社会と税法 ② 税法学の特質（1） ③ 税法学の特質（2） 税法と財政学 ④ 税法学の特質（3） 税法と会計学 ⑤ 税法学の特質（4） 税法と行政法学
2日目	⑥ 租税の法的概念 ⑦ 税法の体系 ⑧ 租税法律主義（1） ⑨ 租税法律主義（2） ⑩ 租税法律主義（3）
3日目	⑪ 本来的租税条例主義 ⑫ 実質課税の原則（1） ⑬ 実質課税の原則（2） ⑭ 試験準備・試験

◆教科書 丸沼『税法学原論 第7版』 北野弘久著・黒川功補訂 勁草書房 4,320円（税込）（送料 350円）

◆参考書 丸沼『納税者の権利』 北野弘久 岩波新書 864円（税込）（送料 215円）

◆成績評価基準 最後に進行する論述式の試験の評価を基本とし、これに平常点を加味します。試験はテキスト持込許可ですので、暗記ではなく理解度が試されます。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆原典と映像で読み解く 20世紀の国際政治史

[外交史]

担当者：佐渡友 哲

- ◆学修到達目標 ① 歴史研究の方法と分析枠組みが理解されているか。
② 協定、条約、憲章、声明などの原典を読み取ることができるか。
③ 歴史的出来事を現代からの視点で主体的に評価できるか。

◆授業方法 歴史研究は「暗記するもの」ではなく、「過去と現代の対話」(E.H. カー)の中から真実を見出す作業である。したがって一方的な講義形式ではなく、あらかじめ資料を読み、事実を把握して討論・発表するアクティブ・ラーニング（能動的学修）という双方向授業を実施する。映像と原典の内容を各グループで検討・発表し、その時代の本質に迫る。受講生は主体的に授業に参加することが要求される。

◆準備学修 受講生は、授業で取り上げられる話題の内容について、資料プリント、教科書などをあらかじめ読んで、授業に備える必要がある。それらの内容については、授業で発言し、討論ができるようにしておくことが要求される。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	(1) ガイダンス：歴史をどう学ぶのか (2) 国際秩序としての国際システム (3) 概説：20世紀における世界秩序の形成 (4) 映像：「ヒトラーとムッソリーニ」 (5) 映像：「第二次大戦へ向かうヨーロッパ」
2日目	(6) ヴェルサイユ・システムの崩壊過程 (7) 映像：「第二次大戦の余波」 (8) 原典：「ヤルタ協定」の分析 (9) ヤルタ会談での3首脳の思惑と国益 (10) 討論：「ヤルタ会談」は世界の分割だったのか？
3日目	(11) 原典：「ソ連の対日参戦に関する協定」「ポツダム宣言」 (12) 映像：「東西冷戦の始まり」 (13) 冷戦時代の米ソ関係 (14) まとめ：「冷戦時代」とは何だったのか？ (15) 最終試験

◆教科書 通材『外交史 L30700』通信教育教材（教材コード 000085）2,000円（送料込）

【当日資料配付】当日配布資料プリント

◆参考書 当日配布資料プリントの中に「参考書リスト」がある

◆成績評価基準 発表、小テスト、リアクション・ペーパー、授業への取り組み（50%）、最終試験（50%）により総合評価する。
毎回出席することを前提とする。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆文学・文化・メディアを考える

〔国文学基礎講義〕

担当者：近藤 健史

◆学修到達目標 現代社会における文学・文化とメディアの関係について考える。

文学が日常生活に深く浸透しているメディアとどう関わるのかを過去・現在・未来について考える力を養うことを到達目標とする。

◆授業方法 テキストに基づいて講義するという形式を中心に、日常生活のメディアの具体例などについて調査、発表する方法もとる。

◆準備学修 メディアと文学関係について調べておいて欲しい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(1) 現代社会におけるメディアを学ぶ (2) 討論
2日目	(1) メディアと文学・文化を学ぶ (2) 討論
3日目	(1) 文学作品のメディア化を学ぶ (2) 討論 (3) まとめ

◆教科書 丸沼『メディア活用能力とコミュニケーション』 柴岡信一郎編 大学図書出版 2016年
3,888円(税込)(送料350円)

◆参考書 『書物の近代—メディアの文学史』 紅野謙介 ちくま学芸文庫 1999年
<上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい。>

◆成績評価基準 リポート80%、討論20%

◆米文学の自然主義からモダニズム文学

〔英米文学概説〕

担当者：佐藤 秀一

◆学修到達目標 19世紀の末、1890年頃から20世紀初頭、つまり第一次世界大戦の頃まではアメリカは社会・文化とも重大な転換期であったといえる。「金めっき時代」がもたらした。様々な問題の危機状況とその問題の解決への努力をめぐって人間とは何かといった原初的な問題に立ち返るがそのことを感知する。

◆授業方法 授業は、講義形態になる。時には実際に作品の一部に触れながら、その作風を含めて解説し、論じていく。

◆準備学修 予め授業スケジュールに取り上げられている作品に当たって調べ、読んでおくと理解もしやすいし、感興がわくと思う。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス、世紀末とアメリカの危機、自然主義の先駆者、自然主義文学について 自然主義文学の頂点に立ったシオドア・ドライサー 『シスター・キャリー』
2日目	『あるアメリカ的な悲劇』 シャーウッド・アンダーソン『オハイオ州ワインズバーグ』、『貧乏白人』と『黒い笑い』 シンクレア・ルイス『メイン・ストリート』、女性作家、モダニズム文学、詩的ルネッサンス、シカゴグループ
3日目	コズモポリタン詩人、ニュー・ドラマ ユージン・オニール、ロストジェネレーションの作家たち

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリントを配布します。

◆参考書 授業の中で適宜紹介します。

◆成績評価基準 授業への参加・取り組み・貢献(平常点) 30%、試験 70%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アメリカ文学をより楽しむための基礎知識

(アメリカ文学史)

担当者：鈴木 孝

◆学修到達目標 16世紀後半から20世紀初頭までのアメリカ文学の歴史を、アンソロジー形式でまとめられたテキストを利用しながら概観し、その流れを的確に把握していくこと、さらに、アメリカ文学の様々な作品を読む際に、ただ内容を楽しむだけでなく、歴史的な視点から解釈したり、批判的に読解できる力を養っていくことを目標とします。

◆授業方法 テキストで扱われているそれぞれの作家について、授業時に配付する資料も利用しながら、その生い立ちや作品の特徴、文学史的位置・意味などに関する講義を行います。その後、その理解度を確かめる小テストを随時行います。テキストのしっかりした予習だけでなく、その読解から生まれる旺盛な好奇心を期待します。

◆準備学修 講義中心の授業となりますので、事前に配付される資料、ならびにテキストに記載されている引用文については、必ず前もって目を通しておき、どのような不明点があるのかを明らかにしておいてください。可能であれば、テキスト巻末にある「例文の翻訳書」の中で入手しやすいものについては、それらを通読しておいて下さい。

◆履修条件 平成28年度東京スクーリング（5月期）第1期「アメリカ文学史」との積み重ね不可

◆授業計画 (1日目: 480分, 2日目: 510分, 3日目: 360分)

1日目	*植民地時代から Nationalism へ 2. [Captain] John Smith 3. W. Bradford 4. A. Bradstreet 5. J. Edwards 6. B. Franklin 7. C. B. Brown 8. W. Irving 9. J. F. Cooper 10. W. C. Bryant 11. E. A. Poe 12. R. W. Emerson 13. H. D. Thoreau
2日目	*Romanticism (American Renaissance) から Realism, Naturalism へ 13. H. D. Thoreau 14. N. Hawthorne 15. H. Melville 16. W. Whitman 17. E. Dickinson 18. M. Twain 19. H. James 20. S. Crane 21. T. Dreiser 23. S. Anderson
3日目	*Chicago Renaissance, Modernism, Lost Generation 他 23. S. Anderson 22. C. Sandburg 24. R. Frost 25. L. Hughes 26. W. C. Williams 27. F. S. Fitzgerald 28. E. Hemingway *試験

◆教科書 丸沼『An Outline of American Literature (アメリカ文学概観)』 井上謙治編著 南雲堂
1,296円(税込)(送料215円)

*『アメリカ文学史 N30200』通信教育教材とは別の教科書ですのでご注意下さい。

◆参考書 教科書47ページ参照。その他授業中に紹介します。

◆成績評価基準 平常点(50%)、試験(50%)の総合評価。但し欠席、遅刻のない学生のみを対象とします。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆探検！ことばの世界

〔英語学概説 A〕

担当者：田中 竹史

◆学修到達目標 地球上に存在すると推計されている874万種の生物種のうち、ヒト（ヒト科ヒト属）は唯一ことばを使用することが可能な生物種であり、ことばはヒトという存在を際立って特徴づけています。ヒト以外の動物は叫ぶことはできても言語を使い話すことはできませんし、文を作り考えたり意見を表明したりするということもできません。たとえ進化の隣人であるチンパンジー（ヒト科パン属）のように、学習能力が高く様々な点でヒトに比肩し得るのみならずある側面においては凌駕するような一認知能力を持つ生物種でも、音声言語であれ手話言語であれ言語の使用はかないません。また、どんなに優れた人工知能であっても自然言語を理解することはできません。

現代の言語学は認知科学あるいは生物学の一分野として、古くからの疑問である「なぜヒトのみがことばを持てるのか」という問い合わせに解答を与え、同時に人間の性質—「人間はどんな存在であるのか」—を真に理解することを目指しています。本講座ではそのような視点から、脳機能のひとつであり特殊な知識体系であることばに関わる基本的な性質を概観し、英語という個別言語を主な研究対象とする英語学の主要な分野（統語論、意味論、形態論、音韻論など）の前提となるような基礎知識を身に付けることを目標とします。なお、本講座では必要に応じて内容の調整を行う予定です。

◆授業方法 配布資料を基に講義形式で進めますが、質疑応答を通じて受講生の積極的な発言を求めます。

◆準備学修 事前に参考書として挙げられている大津（2004, 2008）に目を通しておくと、講義内容のより良い理解につながります。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	初回ガイダンス 母語と外国語 言語の研究 母語話者の言語知識（日本語・英語）
2日目	言語と心の働き 無意識の知識と心的文法 文法の組み立て 言語の発達(1) - (2)
3日目	言語の障害(1) - (2) 動物の「言語」(1) - (3)

◆教科書 **事前資料送付** プリント使用
当日資料配付 プリント使用

◆参考書 **丸沼**『探検！ことばの世界』 大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728円（税込）（送料300円）
丸沼『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728円（税込）（送料300円）
丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三著 ひつじ書房 1,512円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、授業に対する取り組みと講座終了後に提出のレポートにより総合的に評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆意味論の概要とその実用性

〔英語学特殊講義 A〕

担当者：山岡 洋

◆学修到達目標 英語学の動詞に関する意味論的概念を、具体的な言語現象を通して理解する。例えば、一見奇妙な受動態に見える Have you ever been had? はどのような意味になるのか。受動態にできる場合とできない場合はどのように分けられるのか。英語の微妙な感覚を養うには本質的な原理について学んでゆく。今回は、「時制(tense)」「態(voice)」などに焦点を当てて、第5章第1節を中心説明をしていく。

◆授業方法 原則として、教員側からの講義の形式で行っていく。但し、教員側からできるだけ頻繁に学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。予めテキストには目を通しておくこと。

◆準備学修 下記に挙げる教科書・参考書に目を通しておくこと。4日間の短期スクーリングであるために課題などはあまり出せない。そのため、事前に予備知識を身に付けておくことが求められる。参考書は、図書館などで閲覧すればよく、敢えて購入したり、授業に持参したりする必要はない。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	Course Introduction: What Is "Semantics"? 動詞とは? (What is a verb?) mood
2日目	tense and aspect
3日目	voice 最終試験・試験の解説

◆教科書 丸沼『新英文法概説』 山岡洋 開拓社 2014 3,780円（税込）（送料350円）
【当日資料配付】当日配付資料あり。

◆参考書 丸沼『現代英文法講義』 安藤貞雄 開拓社 2005 7,128円（税込）（送料460円）
丸沼『英文法解説』改訂三版 江川泰一郎 金子書房 1991 1,836円（税込）（送料350円）
丸沼『英文法総覧』改訂版 安井稔 開拓社 1996 2,674円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 授業参加度（20%）、最終試験（80%）

◆自分自身で考える人になろう（現象学の基本）

〔哲学演習 A〕

担当者：小山 英一

◆学修到達目標 この哲学演習の学習目標は、下記テキストのタイトル『これが現象学だ』にあるように、現代哲学の一つの大きな主潮である現象学の基本を身につけることである。皆さんと共にゆっくりと歩み（読み、意見交換し）ながら「自分自身で考える人」として哲学（現象学）していきましょう。

◆授業方法 授業は演習形式。演習参加者に下記テキストの一部をあらかじめ割り振り、担当者を決める。指定された箇所（重要な箇所）を読み、まとめ（レジュメ作成）と説明（発表）をおこなう。その後、担当者の司会で意見交換をしていく。（振込用紙を受け取ったら、下記のアドレスにアクセスしてください。担当箇所をお知らせします。また、このメールアドレスは担当箇所を決めるためだけに使用します。それ以外では使用しないでください。
なお、インターネットにアクセスできない人は直接、教務課に問い合わせてください。必ず何らかの方法をとって担当箇所を知り、学習しておいてください。担当箇所を指定されて発表しないと、単位は取得できません。）

◆準備学修 ·簡単なメモを取りながら、テキスト全体を必ず読んでおくこと。
·担当部分については、「必要な箇所の音読→レジュメによるまとめ（要旨と図解）→各段落の説明と自分の意見の発表→自分が司会となって全体での意見交換」の流れを想定して学習しておくこと。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	序章 あなたと私が現象学だ（8頁～24頁） 第一章 現象学の誕生（26頁～69頁）
2日目	第二章 現象学の学問論（72頁～126頁）
3日目	第三章 直接経験とは何か（128頁～179頁） 第四章 世界の発生と現象学（182頁～201頁） 試験

◆教科書 丸沼『これが現象学だ』 谷徹 講談社現代新書 163 2,864円（税込）（送料215円）

◆参考書 授業時に適宜指示する。

◆成績評価基準 試験（80%）、平常点（発表、レジュメ、20%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地震について史資料から考える

[考古学特講 I]

担当者：野中 和夫

◆学修到達目標 気象庁の発表によると、近い将来東海・東南海・南海が連動する南海トラフ上や首都圏直下で発生する大地震の確率は高いという。過去に発生したM6.0以上の大地震を概観するとともに、江戸城・宮城を定点として南関東で発生した大地震の被害と復旧について史資料から学ぶ。あわせて被害を大きくした要因について考える。

◆授業方法 講義形式による授業。

◆準備学修 教科書を熟読しておくこと。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	日本列島周辺で地震の多発する要因を理解した上で、古代から大正年間までの間に発生した大地震の概要を学ぶ。貞觀地震や慶長地震など大地震と津波との関係を、考古資料を用いて紹介する。その上で、江戸・東京での地震記録から、地震発生のピークと大地震発生の関連を考える。また、絵画資料等から民衆の地震に関する関心を紹介する。
2日目	相模トラフ上で発生した二つの巨大地震、元禄大地震と関東大震災。地震発生に伴う地形の変化と津波の発生。墓碑・供養碑・古文書・絵画・古記録等々の資史料を紹介しながら、被害と復旧を学び検証する。時間があれば江戸城を訪れ、被害の一端を説明する。
3日目	内陸直下型地震である安政江戸地震。多発する地震による不安と政治に対する民数の不満。地震被害と復旧・復興について多角的に考察する。

◆教科書 丸沼『江戸・東京の大地震』 野中和夫 同成社 4,104円（税込）（送料390円）

◆参考書 丸沼『地震の日本史』 寒川旭 中央新書 885円（税込）（送料260円）

丸沼『江戸の自然災害』 野中和夫編 同成社 3,024円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 平常点（20%）、試験（80%）

◆市場メカニズムを理解する

[経済学原論／経済原論]

担当者：関谷 喜三郎

◆学修到達目標 この講義では、ミクロ経済学を講義します。ミクロ経済学は家計と企業の活動を中心として、市場経済がどのようなメカニズムで働いているかを解明するものです。ここでは市場経済の基本的な仕組を学びます。

◆授業方法 講義は、下記のテキストにもとづいて、家計の消費行動および企業の生産活動を中心として、市場における需要と供給の関係を平易に解説していきます。

◆準備学修 テキストにそって説明していきますので、事前にテキストに目を通しておいて下さい。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	消費者行動理論：効用概念を明確にしたうえで、無差別曲線と予算線を用いて最適消費量の決定を説明します。ここでは消費者行動の分析を通じて需要曲線を導出します。
2日目	生産者行動理論：費用分析をもとにして、完全競争市場における企業の利潤最大化と生産量の決定を説明します。ここでは供給曲線を導出します。
3日目	市場の均衡：ここでは、市場における需要と供給の均衡とそこにおける価格の決定を説明します。さらに市場における資源配分の効率性についてみていきます。

◆教科書 丸沼『ミクロ経済学』 関谷喜三郎著 創成社 2,700円（税込）（送料350円）

◆参考書 使用しない

◆成績評価基準 出席を前提として、試験にて評価します。

◆少子高齢化、グローバル化における地域社会の展開【経済地理学／経済地理】

オープン受講：不可 担当者：田村 和彦

◆学修到達目標 現代社会について地域経済の視点から考察を進めていく。

◆授業方法 講義方式。ポイントは板書して講義を進める。重要なポイントは各章末の「研究課題」から指摘する。

◆準備学修 あらかじめテキストの予習をすること。経済雑誌・経済新聞等からも情報をえること。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	第1章 経済学の定義。経済地域の「普遍性」と「固有性」について。 第2章 成熟社会に関する定義。生活者の視点について。
2日目	第3章 経済のサービス化・情報化について。地域間格差について。
3日目	第3章の続き。経済のサービス化と情報化のもとで、どのように流通業が展開しているのかを検討する。そして、グローバル化についても言及してみたい。 午後は、試験を実施する。

◆教科書 通材『経済地理 S32200／経済地理学 R32600』 通信教育教材（教材コード 000233）
2,050円（送料込）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 100%試験。

◆国際金融の基礎理論を学ぶ—外国為替レートを中心に— 【国際金融論】

担当者：谷川 孝美

◆学修到達目標 我が国の国際収支や為替レートの変化が大きな話題になっています。この講義では、国際決済や外国為替市場などの基礎的概念、外国為替レートの決定理論や国際資本移動とマクロ経済の関係におけるマンデル・フレミング・モデルなどの基礎理論などを学び理解することを通じて、国際金融の諸問題を考える上での基礎を養うことを目的とします。

◆授業方法 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や理論について平易な解説をする予定です。講義の進行状況によっては授業計画が前後することもあります。また、国際金融の歴史や制度は取り扱いません。

◆準備学修 国際金融論では、金融論およびマクロ経済学の基礎的理解が前提となります。事前の準備としてこれらを確認しておくこと。また、講義の理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスや専門用語について、参考書などでも予習すること。外国為替レートなど海外市況や国際金融情勢などに、日頃から関心を持つことも大切です。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	①国際金融論の対象と課題、②外国為替と国際決済、③さまざまな外国為替レート。 ※国際金融を理解するための基本的な事柄について学びます。
2日目	①外国為替市場と先物と取引、②オプション、スワップ取引、③国際収支と外国為替相場、④一物一価の法則、⑤購買力平価。 ※国際金融の基礎理論として、物価に関連した為替レートの決定などを学びます。
3日目	①金利裁定取引、②金利平価、③フローアプローチ、④アセットアプローチ、⑤外国為替レートと開放マクロ経済政策、 ⑥講義のまとめ。 ※国際金融の基礎理論として、金利に関連した為替レートの決定、国際金融のトリレンマ問題について学びます。

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント配布。

◆参考書 通材『国際金融論 S31200』 通信教育教材（教材コード 000432）2,000円（送料込）

丸沼『国際金融のしくみ 第4版（有斐閣アルマ）』 秦忠夫・本田敬吉・西村陽造編 有斐閣
2,160円（税込）（送料 300円）

丸沼『国際金融論をつかむ』 橋本優子・小川英治・熊本方雄 有斐閣 2,268円（税込）（送料 300円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆観光と地域社会の活性化

【観光事業論 A】

担当者：服部 伊人

◆**学修到達目標** 地域の活性化策の一つとして観光振興が注目されている。観光によって交流人口を増やし雇用や経済の拡大などで地域に賑わいを創ることにある。しかし観光者の個人化、多様化した志向、流行の変化の激しさ、インターネットなど情報環境の変化に伴い情報伝達も多様化している状況下で適切な誘客戦略が求められる。観光者に訪れたい地域として選択されるには個性的な魅力を創ることが求められる。そのための観光戦略が考えられるようになることを目的とする。

◆**授業方法** この授業は講義形式で行います。観光事業は、人々の観光行動や社会の観光活動を支援し活発にするための種々の行為便益を組織的・継続的に提供するのが目的である。講義では観光の基礎知識や形態の変化、観光の人間や社会への効果や影響、国や自治体の観光政策の変遷について学ぶ。さらに観光立国を目指して、さらに2014年末からの地方創生への取り組みとして観光振興が展開されており、そうした地域の観光振興、インバウンド観光への取り組みなどについて考察をする。

◆**準備学修** 2004年の「観光立国宣言」のもとでの地方創生策に受けて、各地で観光による地域活性化を進めようとしている。しかし、観光振興も限られた予算、舵取りをする人材の不足、地域内のステークホルダーのバラバラな取り組みなどで厳しい状況にある。観光振興を進めるためには地域の自己分析、他地域との差別化などの誘客戦略にもとづいた客観的な対応が求められる。とくにこの地域おこしや観光まちづくりでは住民の主体的な取り組み（住民参画）が重視されている。ご自身の居住する地域の観光による地域おこしやまちづくりなどの資料を収集して現状と課題について整理しておいてください。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	観光とは、観光行為、観光の効果、観光のしくみ、観光資源と観光施設、観光政策と観光行政、観光の変遷 ※観光の語源や意味、観光者の動機と行動、観光が人間・地域・企業などにもたらす効果や影響、観光対象、観光政策の変化および観光行政の仕組み、観光の移り変わりについて学ぶ。
2日目	観光ビジネス（観光事業と観光産業）の意義と特性、各様な観光ビジネス、新しい観光・MICE事業、観光需要の平準化 ※観光ビジネス（観光事業や観光産業）の意味やその業種・分類及びサービス特性、観光者の関心から生じた新たな観光、行政が力点をおくイベント・コンベンションの意義や文化社会的、経済的效果について、また観光関連事業者や観光者にもたらす需要の平準化の効果を学ぶ。
3日目	インバウンドの展開、生活文化・文化財の保存と活用とデ・マーケティング、滞在型観光の展開 ※観光立国や地域創生に向けて外国人観光客の受け入れを積極的に展開しているその取組みや課題、各地で「地域発観光プログラム」ともいえる地域の伝統的文化である生活文化を活用した観光振興、また地域の有形・無形の文化遺産を活用する文化財観光について学ぶ。

◆**教科書** **【当日資料配付】** 当日プリント配布

◆**参考書** **通材**『観光事業論 S32000』 通信教育教材（教材コード 000417）2,050円（送料込）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み・テストなどにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆教育の歴史は未来の教育を語る

〔教育の歴史〕

担当者：宇内 一文

◆学修到達目標 近代の学校教育が西欧でどのように成立し展開してきたかを、制度史・思想史・理念史・社会史などの多様な観点から理解するとともに、西欧で誕生した近代教育がどのように日本に移入され展開してきたかという教育の歴史的展開を概観し、近代教育の理念並びに歴史と思想に関する基礎的理解を得るとともに、歴史的視点から今日の教育の特質と課題について説明できるようになる。

◆授業方法 パワーポイントによる講義形式で行います。併せて、授業で取り扱ったトピックについてグループでの話し合いやクラス全体でのディスカッションなどを行うことにより理解の定着と学びの深化を図っていきます。なお、授業展開や学生のニーズにより、授業計画の内容は多少変更することがあります。

◆準備学修 「どうして教育の歴史について学ばなければならないのか」という問いや、「日本の学校ってどうして今のようななかたちなのか」ということを考えることが「教育の歴史」の出発点となります。スクーリングのなかで一緒に考えていきます。そのための準備として、小熊英二『増補改訂 日本という国（よりみちパン！セ）』（イーストプレス、2011年）や、成田龍一『戦後日本史の考え方・学び方：歴史って何だろう？（14歳の世渡り術）』（河出書房新社、2013年）に目を通しておくことが望ましいです。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	(1) 教育の歴史を学ぶことの意味、(2) 学校のある社会、学校のない社会、(3) 中世ヨーロッパの教育、(4) 子どもの発見と近代家族、(5) 近代学校の誕生とその理念 * 1日目は、教育を構成する学校や子どもなどの概念について、歴史的に学んでいきます。
2日目	(6) 17世紀の教育と教授学の成立、(7) 18世紀の教育と近代教育思想の形成、(8) 19世紀の教育と近代教育思想の展開、(9) 20世紀の教育と新教育運動、(10) 近世社会の様子と寺子屋の教育 * 2日目は、ヨーロッパの近代教育思想の理念と歴史について学んでいきます。
3日目	(11) 明治期の公教育と教育勅語、(12) 大正期の教育と大正新教育、(13) 戦時下の教育と学校、(14) 戦後の教育改革と高度経済成長、(15) 現代日本の教育 * 3日目は、日本の近代学校制度の歩みを中心にして、日本の教育の歴史的展開について学んでいきます。

◆教科書 パワーポイントのスライドをハンドアウトしたものを授業レジュメとして配布します。

◆参考書 丸沼『教職のための教育原理』 内海崎貴子編 ハ千代出版 2,268円（税込）（送料300円）

丸沼『シティズンシップの教育思想』 小玉重夫 白澤社 1,944円（税込）（送料300円）

丸沼『教育思想のルーツを求めて—近代教育論の展開と課題』 北野秋男・関川悦雄 啓明出版

1,882円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 最終試験（70%）、授業参画度（30%）

【授業への取り組み、リアクション・ペーパーなどにより総合的に評価します。】

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆特別活動の意義と指導について考える [特別活動論／特別活動の研究]

担当者：関川 悅雄

◆学修到達目標 学校教育における教科外活動について、その教育課程上の位置づけや教育的意義を基本的に理解し、その上で現行の学習指導要領における特別活動、すなわち学級活動・生徒会活動・学校行事などの各目標・内容・指導法について体験的に理解できるようにすることを目標とする。

◆授業方法 おもにテキストを中心とした講義形式で進め、適宜にグループ別討議も行う。なお、少人数の受講者数であれば、ゼミ形式で行なうこともある。

◆準備学修 受講者が学校教育の中で教科学習以外に、どんな楽しい活動—学校行事・部活動などを体験したかを想起し、それが自分自身にとってどのような意味や人生上の潤いをもたらしたかを考えてみよう。この気持でテキストに一通り目を通しておいて下さい。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ガイダンス。課外活動の体験に関するアンケート調査とその集計分析。教育課程の意味と課外活動との関係。
2日目	課外活動における教育的価値の認められた実例①—ラグビー校の課外活動・遠足・運動会・学芸会。その実例②—相談会・課程外指導・修練課程など。課外活動の教育課程化とその条件。自由研究の新設とその後の特別活動の成立の歩み。途中で適宜にグループ別討議の手法を取る。
3日目	2008年の学習指導要領の改訂と施行。特別活動の改訂と目標。学級活動・生徒会活動・学校行事の各目標・内容・指導法など。まとめと試験。

◆教科書 通材 『特別活動論／特別活動の研究 T21500／T21600』 通信教育教材（教材コード 000443）
2,650円（送料込）

〈この教材は市販の『最新特別活動の研究』関川悦雄著 2010年（啓明出版）と同一です〉

◆参考書 授業時にあれば指示する。

◆成績評価基準 出席状況（20%）・授業内試験（70%）・その他（10%）などの総合的評価。

◆身近に学ぶ生涯学習論

[生涯学習論]

担当者：上原 義正

◆学修到達目標 本講座では、生涯学習に関する基礎知識を習得した上で、アクティブ・ラーニングを実施します。グループワークにおいては知識構成型ジグソー法を用いて、グループ間の情報交換を行い、最終的には、自らの意見を深い学習に基づいて提出してもらいます。

◆授業方法 授業方法に関しては、90分のうち、45分を知識の習得を行い、残りの45分では、最終日に行うグループ・プレゼンテーションの準備にあたります。飲食類の持ち込みは許可します。

◆準備学修 予習は必ず行うこと。3日間に、1日3つの予習で気づいたこと、わからなかつたことを記して提出してもらいます。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	午前：第1章～第4章 午後：国立近代美術館で学芸員の方からレクチャーを受けます。2000円ほど準備しておいてください。
2日目	第5章～第9章、生涯学習のプランニング
3日目	第9章～第12章、グループワークでの発表

◆教科書 丸沼『生涯学習論』 佐藤晴雄著 学陽書房 2,700円（税込）（送料300円）
教科書の概要を配布資料として配ります。

◆参考書 なし

◆成績評価基準 態度20%, プレゼン50%, 予習20%, レポート10%

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京
6月期

日 程		授 業 時 間		備 考	
6月 3日	土	13:00～18:30		※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。 ※「体育実技」は授 業時間及び会場が 異なります。本誌 6ページを参照し てください。	
6月 4日	日	9:00～16:30			
6月 10日	土	13:00～18:30			
6月 11日	日	9:00～16:00 <試験も含む>			

※以下の6月期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ープ 講ン		
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配当 学 年	受 講 条 件			
DB01	心 理 学	須永 範明	2	B12100	心 理 学		1年				
DB02	英 語 E	齊藤 雄介	1	C10100	英 語 I	1年		· I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英 語 II						
				C10300	英 語 III	2年					
				C10400	英 語 IV						
DB03	体 育 実 技	高橋 正則	1	J101S0	体 育 実 技 I	×	1年	· スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。			
DB04	国文学講義 VI (現代)	渡邊 重人	2	M31000	国文学講義 VI (現代)						
DB05	英 文 法 A	小澤 賢司	2	N20200	英 文 法	条件 参 照		· 英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 · 上記以外は2学年以上申込 可。			
DB06	英 米 事 情 I	石川 勝	2	N31500	英 米 事 情 I						
DB07	英米文学演習 B	北原 安治	1	N404S0	英米文学演習 I						
DB08	西洋思想史 I	関谷 雄磨	2	N405S0	英米文学演習 II	×	3年	· 英文学専攻のみ申込可 · I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。			
				N406S0	英米文学演習 III						
				P20200	西 洋 思 想 史 I						
DB09	日本史入門	鍋本 由徳	2	Q20100	日本史入門	条件 参 照		· 史学専攻のみ1学年以上申 込可。 · 上記以外は2学年以上申込 可。			
DB0A	東洋史入門	須江 隆	2	Q202S0	東洋史入門						
DB0B	経済開発論	田宮 憲	2	R31400	経済開発論	×	2年				
DB0C	租 税 論	鵜藤 俊英	2	R31700	租 税 論	×	2年				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単位開 数講	充当科目		制限・注意			受オーブ 講シ
				科目 コード	科目名	併用	配当 学年	受講条件	
DB0D	会 計 学	林 徳順	2	S32800	会 計 学		2年		
DB0E	国語科教育法 I	品川 利幸	2	T20300	国語科教育法 I	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	×
DB0F	英語科教育法 I	市川 泰弘	2	T20900	英語科教育法 I	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
DB0G	自然地理学概論	山添 謙	2	T22300	自然地理学概論		2年	・法学部・史学専攻・経済学 部のみ申込可。	×

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆心理学の見方・考え方について

〔心理学〕

担当者：須永 範明

◆学修到達目標 心理学は、人間のこころの働きを科学的に研究する学問です。この講義では、5つの領域（感覚・知覚、学習、記憶、思考、社会的行動）を取り上げます。学生の皆さんにはこれらの知識を学ぶことを通して、現代心理学の人間にに対する見方・考え方について学んでいただきます。到達目標は、5つの領域の基礎的知識をいくつか説明することができ、心理学の観点をおおまかに述べることができます。

◆授業方法 もっぱら講義の形式を取ります。ときおり簡単なデモンストレーションを交えて説明することができます。また、図や表を含んだ資料を適宜配布します。なお、パワーポイントやビデオを用いることもあります（使用可能な機器・設備の事情によってはできないこともあります）。

◆準備学修 心理学は科学の1つです。授業では専門的な概念や学術用語が数多く登場します。事前に、指定の教科書や参考書、あるいは市販の心理学の入門書を読み、授業内容や専門用語を調べておくことが望ましいです。

◆履修条件 平成27年度東京スクーリング（5月期）第3期「心理学」、平成28年度東京スクーリング（6月期）「心理学」との積み重ね不可

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	オリエンテーション、心理学の特徴、感覚と知覚 ※まず、この授業の内容・進め方を説明します。次に、科学である心理学の定義、特質、主たる研究領域を解説します。続いて、1つ目の主要な領域として感覚と知覚を取り上げます。感覚と知覚は「周囲の世界を知る」働きです。感覚・知覚の仕組みと特徴的な現象を学ぶことを通して、「周囲の世界を知る」とはどういうことを考えます。
2日目	記憶と学習の種類、機能、仕組み、日常における記憶と学習 ※記憶にはいくつかの種類があることと、それらは働きと仕組みが異なることを学びます。日常生活で経験する記憶に関する現象（のどまで出かかる現象、目撃の記憶、偽りの記憶）についても学びます。また、条件づけと社会的学習について学び、新たな行動をどのように獲得するのかを考えます。
3日目	思考、表象機能、概念、推理、創造的思考、思考の歪み ※問題解決的思考とはどういうものか、思考と言葉、概念とはどのように関わるのか、あらたなものを産み出す創造的思考とはどのようなものかを学びます。また、人間の持つ合理的でない思考について理解を深め、私たちの思考に潜む「落とし穴」のリスクとその回避策を考えます。
4日目	社会的行動、他者の存在の影響、対人認知 ※他者が存在する状況での人間の行動について学びます。私たちは他の人からどのような影響を受けているのか、また、他の人をどのように知覚し、推測しているのかについても理解してゆきます。これらの知覚・認知、影響について、他者との関わりの基礎となっているという視点から考えます。

◆教科書 丸沼『心理学への招待〔改訂版〕 こころの科学を知る』 梅本堯夫・大山正編著 サイエンス社
2,700円（税込）（送料300円）

◆参考書 指定しませんが、授業の中で適宜紹介します。

◆成績評価基準 平常点（50%）と試験（50%）に基づいて評価します。授業中に簡単な課題を課す予定ですが、その提出が平常点となります。なお、毎回出席することは、成績評価の前提となります。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆基礎的な英文法を学ぶ— TOEIC を題材として

〔英語 E〕

担当者：齊藤 雄介

◆学修到達目標 本科目では、TOEIC の Reading Part を題材として基本的な英文法を学ぶことを目標とします。基本的な英文法を理解することは、英語の技能を全体的に向上させることにつながります。

◆授業方法 受講者には一人一問ずつ問題に解答し、その英文の意味を考えてもらいます。ただし、受講者の力量に応じて授業方法を若干変更する可能性があります。

◆準備学修 可能ならばテキストを事前に購入し、問題の答え及び各英文の意味を自分なりに考えてみてください。

◆履修条件 平成 28 年度東京スクーリング（6月期）「英語 C」合格者は受講不可

◆授業計画〔1日目・3日目：300 分、2日目：390 分、4日目：360 分〕

1日目	ガイダンスの後、Unit 1 から授業に入ります。
2日目	前回の続き
3日目	前回の続き
4日目	前回の続き→自習時間→試験

◆教科書 丸沼『Basic Reading for the TOEIC test (SEIBIDO)』 972 円（税込）（送料 215 円）

◆参考書 英和辞典を毎回持参してください

◆成績評価基準 授業への取り組み及び試験の結果を総合的に評価します

◆運動・スポーツに親しむ

〔体育実技〕

担当者：高橋 正則

◆学修到達目標 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性はますます重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさや重要性を認識し、適度な運動習慣を日常生活習慣に取り込んでいくための基盤づくりをねらいとしています。

◆授業方法 原則として天候に左右されない体育館での授業とし、小グループで色々な運動やスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型競技を中心）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解します。また、体力測定を通して、体力の現状を自覚し、その維持増進についての認識を高めます。

◆準備学修 1 日 20 分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてください。

◆授業計画

1日目	ガイダンス（施設の使用方法および注意事項等）、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定（握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び等）、自己評価、体力の維持増進についての解説
2日目	班別スポーツ種目の展開（1）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 班別スポーツ種目の展開（2）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)
3日目	班別スポーツ種目の展開（3）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)
4日目	班別スポーツ種目の展開（4）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 班別対抗ソフトバレー大会 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)

◆教科書 使用しない

◆参考書 使用しない

◆成績評価基準 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆歴史小説の想像力に触れてみよう

〔国文学講義VI（現代）〕

担当者：渡邊 重人

◆学修到達目標 今回は、多様な現代文学の中から天誅組（1863年に大和で挙兵した尊王攘夷派）を題材とした歴史小説を扱います。具体的な学修目標は以下のとおりです。1. 現代文学における歴史小説の特性について学び、説明できるようになる。2. 現代文学における歴史小説の想像力について学び、説明できるようになる。

◆授業方法 小説の講読と分析・考察を中心とした講義形式で授業を行いますが、レスポンス・ペーパーによる能動的な学修を予定しています。

◆準備学修 図書館等で閲覧可能な文献については、予習として一読することを勧めます（なお、日程の都合上、授業で言及するのは全編ではなく、抽出した部分となります）。また、日本史（特に文久期 1861～1864）について年表等を参照し、天誅組を巡る時代状況を踏まえておくと分析・考察の参考になります。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	天誅組を巡る時代状況について理解を深める ※天誅組を題材とした現代文学を分析・考察する際に必要とされる時代状況（特に文久期 1861～1864 における尊王攘夷の動き）について学びます。また、歴史小説の特性について概観します。
2日目	大岡昇平『天誅組』を読む ※『天誅組』の分析を通して、歴史小説の試みについて考察します。また、大岡昇平『文学における虚と実』等も参照します。そこで得られた知見を基に、大岡昇平の歴史小説観について理解を深めます。
3日目	植松三十里『志士の峠』を読む ※『志士の峠』と『天誅組』の比較を通して、その内容と方法の相違点について考察します。そこで得られた知見を基に、歴史小説の特性とその想像力について理解を深めます。
4日目	荒山徹「ファイヴ・アーティクルズ」を読む ※「ファイヴ・アーティクルズ」の分析を通して、伝奇的想像力について考察します。そこで得られた知見を基に、歴史小説の想像力と伝奇的想像力の関係性について理解を深めます。

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリントを配布します。

◆参考書 授業時に適宜紹介します。

◆成績評価基準 試験（50%）、提出物（25%）、授業時の積極性（25%）。※4日目に試験を実施します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆指導者のための英文法 法助動詞編

[英文法 A]

担当者：小澤 賢司

◆学修到達目標 本授業では、英文法の中の「法助動詞」に焦点を絞り、その基礎知識とそれを指導する場合の応用知識を身に付けることを目標とします。本授業で扱うテキスト（プリント）は全て英語で書かれたものですので、普段から英語に読み慣れていないと難しいと感じるかもしれません。この点には十分留意して受講するようにしてください。

◆授業方法 輪読形式でテキスト（プリント）を読み進めていきます。受講者の方に（こちらが指名して）音読・和訳をしてもらいます。分量が多いため全ての箇所を輪読することはしませんが、テキスト（プリント）全体にはしっかりと目を通し、どこを指名されても音読・和訳ができるようにしておいてください。なお、受講者の様子（理解度）を見ながら授業を進めていきますので、以下の授業計画はあくまでの「目安」とお考えください。

◆準備学修 「'徹底した' 予習」と「'可能な限りの' 復習」をお願いします。

(a) 音読

本授業において、極めて重要な予習項目となります。既知の単語でも発音とアクセント（特にアクセント）はしっかりと調べ、発声できるようにしておいてください。

(b) 内容理解及び和訳

きれいな和訳にすることも重要ですが、それよりもそこに書かれている内容がしっかりと把握・理解できているかを重視してください。わからない箇所は何度も何度も読み返し、考えに考え抜いてください（「読書百遍意（義）自らから通す」）。

(c) 文法・文構造の理解

文法的、ないしは文構造的に不明な箇所はチェックしておいてください。

(d) 復習

復習を怠らないようにして下さい。テキスト（プリント）が難しいと感じる場合、殊更、復習が重要となります。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	Chapter 8 Modal Auxiliaries and Related Phrasal Forms を読む（全 24 ページ）
2日目	1日目の続き
3日目	2日目の続き
4日目	3日目の続き まとめ テスト

◆教科書 事前資料送付 下記の教材の一部分を扱います。購入するかどうかは各人に任せします。

『The Grammar Book (third edition)』 Larsen-Freeman, Diane and Marianne Celce-Murcia, Cengage, 2016. 8,985 円（税込）

〈上記の本は、丸沼書店で取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。〉

◆参考書 特に指定はしませんが、大学生・社会人向けの英和辞典は必ず持参してください。

◆成績評価基準 授業への取り組み及びテストにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆知られざるアメリカの歴史

〔英米事情Ⅰ〕

担当者：石川 勝

◆学修到達目標 中央銀行設立を巡るアメリカ政府と国際金融との100年に及ぶ争いの間化に本当のアメリカの姿を見ることができる。この広義ではその戦争が文学に与えた影響を学ぶ。

◆授業方法 講義形式の授業である。授業中はしっかりノートを取り、積極的に質問してほしい。

◆準備学修 翻訳でよいので文学作品を一冊以上読んでおくこと。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	独立戦争とフランス革命
2日目	19世紀
3日目	第一次大戦
4日目	第二次大戦

◆教科書 なし

◆参考書 なし

◆成績評価基準 皆出席を前提とし最終日に論述試験を行う。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 月期
7月 東京 月期
6月 仙台 月期
6月 阪大 月期
7月 札幌 月期
7月 名古屋 月期
7月 福岡 月期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座
許可と不許可の講座
受講料の納入
受講準備
試験及び
学生生活の愛講聞の
オープン受講
各種用紙付録

◆ 19世紀英文学古典『ジェイン・エア』の精読 【英米文学演習 B】

担当者：北原 安治

◆学修到達目標 卒論に役立つポイントを押さえながらフェミニズム小説の古典『ジェイン・エア』を読んでいきます。難しい英文を文法に基づき正確に読めるようになることを目的とします。文化的背景も学びます。

◆授業方法 19世紀英國の女流作家シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』の抜粋本の最初から一日4ページほど読んでいます。学生さんにひとりひとり当てていくので、かならずしも予定通りには進みません。辞書を引いて単語を一語一語調べる予習をしてもらいたいです。なお、卒論で悩んでいる学生さんにアドバイスを与えながら進めたいと思います。なお、1996年に映画化されていますので参考にして下さい。500円の名作DVDの『ジェイン・エア』(オーソン・ウェルズ主演、1944白黒版)もあるので、これも参考にするとよいでしょう。なお講義中にDVDを見せる場合があります。

◆準備学修 予習テストと予習ノート検査をする場合があります。本文をノートに3~5行おきに手書き（手書き以外は不可）で写して、単語を調べておくこと。講義で文法構造と和訳を言うので書く。ノート検査をする。辞書を必ず持ってくること。電子辞書でも良いが、タブレットPCなどインターネットにつながる可能性のある辞書は不可。最終日の試験は100分としてテスト用紙の表面は和訳、裏面すべてを論述（1,000字以上）に当てます。ジェインは誰からどの様な影響を受けて人間に成長していくか時系列に沿ってまとめて暗記しておくこと。試験は持ち込みなしです。通信OGの吉川はつよさんのHPも参照すること。「吉川はつよ」「ジェイン・エア」で検索。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	1日4ページ前後進むのが目安ですが、英文が大変難しいので、学生さんの予習いかんによって時間がかかり必ずしも読めないことがあります。DVDを見せる場合があります。
2日目	1日4ページ前後進むのが目安ですが、英文が大変難しいので、学生さんの予習いかんによって時間がかかり必ずしも読めないことがあります。DVDを見せる場合があります。
3日目	1日4ページ前後進むのが目安ですが、英文が大変難しいので、学生さんの予習いかんによって時間がかかり必ずしも読めないことがあります。DVDを見せる場合があります。
4日目	3ページ前後進むのが目安ですが、時間がかかり必ずしも読めないことがあります。限定した部分の和訳、そして全体的内容を書く論述を組み合わせたテスト。持ち込みなし

◆教科書 **事前資料送付** 前もって学生さんたちに『ジェイン・エア』の英文抜粋プリントを送付します。冒頭からゲイツヘッドの赤い部屋に閉じ込められる場面まで。

◆参考書 『ジェイン・エア』(小尾美佐訳、上・下二冊本) 光文社古典新訳文庫が良い。岩波文庫の『ジェイン・エア』(河島弘美訳、上・下二冊本) でも良い。読むところは物語の冒頭部分なので上巻を参考にすれば良い。
『ジェイン・エアを読む』 中岡洋著 開文社出版 (1995) 絶版なので図書館で借りる。
Jane Eyre (Norton Critical Editions) Deborah Lutz 解説 2016/6/27 この批評付き完全版洋書は『ジェイン・エア』で卒論を書く人が買えば良い。900円くらい。

◆成績評価基準 小テスト、試験などの総合評価。皆出席を望みます。ノートをしっかりと取りノートなきものは不合格。ノートは本文、文法構造、和訳をしっかりと書くこと。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆古代ギリシアの思想（古典期まで）

〔西洋思想史Ⅰ〕

担当者：関谷 雄磨

◆学修到達目標 西洋の学問の原点ともいえる古代ギリシアの思想を、「存在」の問題を軸に歴史的展開に沿って学びます。なお、単に思想史の知識を情報として得るだけでなく、受講生のみなさんが、過去の思想家が抱いた問題意識を共有できるように努めます。それによって、ますます価値観が多様化する時代を生きる上で知っておくべき、西洋の基礎的な古典的教養を身につけることを目標とします。

◆授業方法 授業は配布プリントに沿って講義形式で行います。本講座では、いわゆる古典期までのさまざまな思想家（さらには神々や英雄たち）が登場しますが、理論としての思想だけでなく、彼らのエピソードや人物像をできるかぎり紹介し、なるべくリアリティのある授業を行いたいと思います。

◆準備学修 特に必要ありませんが、お手元にある通信教育教材『西洋思想史Ⅰ P20200』の該当箇所を読んでおくとよいでしょう。

◆履修条件 同一内容の「西洋思想史Ⅰ」（平成27年度東京スクーリング（5月期）および平成28年度東京スクーリング（6月期）、関谷担当）との積み重ね不可

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	1) ガイダンスおよび古代ギリシアについての一般的説明、2) 古代ギリシア神話＜宇宙生成の物語（ヘシオドス『神統記』）、神々のプロフィール＞、3) 英雄たちの物語＜トロイア戦争の物語（ホメロス『イーリアス』など）＞
2日目	4) ミレトス学派＜万物の「アルケー」は何か＞、5) ピュタゴラスおよびピュタゴラス学団＜数と数の比例による世界＞、6) ヘラクレイトス＜「万物は流れる」＞、7) エレア学派＜生成消滅・運動はあり得ない＞
3日目	8) 多元論者とデモクリトス＜古代原子論へ＞、9) ソフィストたち＜「○○であると思われる」と「○○である」＞、10) ソクラテス＜無知の自覚と主知主義＞
4日目	11) プラトン＜永遠に変わらず、なくならない世界＞、12) アリストテレス＜四原因説と目的論的世界觀＞、13) 総まとめ（質問コーナー）、14) 試験

◆教科書 **【当日資料配付】** 当日プリント配布

◆参考書 **通材**『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）（※学修指導書付き）3,350円（送料込）
授業は配布プリントを用いて行いますが、上記の本は授業の理解を助けるものとして有益です。

◆成績評価基準 小テスト（3日目）および試験によって評価します。小テストについてはガイダンス時に説明します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本史研究へのアプローチ

〔日本史入門〕

担当者：鍋本 由徳

◆**学修到達目標** 本科目は、主に入学（編入）直後の学生を対象にした基礎科目です。ここでいう「入門」とは「平易である」ことを意味しません。日本史を学修するために必要な基礎知識・検索技能・学修態度の獲得、今後に活かすべき能力の向上を目指します。学修効果を高めるために後期の受講を推奨します。

◆**授業方法** プリントと教科書を併用した講義形式です。適宜、文献の調べ方や基礎的参考文献などを紹介します。教科書の目次通りには進みませんので、プリント、スクリーンなどを併用しながら要点を説明していきます。

◆**準備学修** 事前学修のシートと振り返りシートを用いて、事前に授業内容を把握します。簡単で構いませんので、必ず記入して講義に出席してください（提出不要）

◆**履修条件** 平成29年度履間・土曜スクーリング（前期）「日本史入門」との積み重ね不可

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	1. 日本史を学ぶための基礎道具 2. 日本史と時代区分 3. 日本史を知るための基礎知識（1）
2日目	4. 日本史を知るための基礎知識（2） 5. 文学・時代劇と歴史学との関係をさぐる 6. 近代都市の開発・形成と観光行政 7. 祭や祭礼からみる地域の歴史
3日目	8. 売買形態からみる「徳政」 9. 税の流れと村請制の成立 10. 何が「伝統」の根柢となり得るのか
4日目	11. 居住空間からみる日本の歴史 12. 鮫絵は私たちに何を語るのか 13. 音楽から日本史を考える 14. 日本史学修のおもしろさ

◆**教科書** **教材**『方法 教養の日本史 Q20100』通信教育教材（教材コード 000484）3,550円（送料込）

【当日資料配付】 当日参考プリントを1～2枚配布

◆**参考書** 『史料 教養の日本史』竹内誠他編 東京大学出版会 ※購入義務はありません

〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい。〉

◆**成績評価基準** 最終試験（70%）、授業内小テスト（30%）の総合評価 ※全回出席を前提とした評価です。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆中国史の時代区分論を再考しよう

〔東洋史入門〕

担当者：須江 隆

◆学修到達目標 どんな分野であれ、研究をするためには、自らの研究テーマに関連するこれまでの文献の研究史整理が不可欠となります。そこでこの授業では、中国史の時代区分論に関する研究文献を事例として取り上げ、研究文献の探索・収集の方法や読解・評価の仕方を学び、研究史整理の方法を会得することを目的とします。
また時代区分の諸説にふれたり考察したりすることにより、中国史の全体の流れや各時代の特質についても把握することができます。

◆授業方法 基本的に講義形式で、中国史に関する研究文献の探索・収集の方法や読解・評価の仕方、ならびに中国史上の時代区分の諸説を解説していきます。なお、DVDの視聴により、研究文献の著者に関する理解を深めたり、能動的学修を促すために、中国史の時代区分に関する著名な文献の読解や内容整理を実習したり、授業中に発言を求めたりすることもあります。

◆準備学修 中国史の全体像を把握するための準備学修として、『東洋史概説 0623』（通信教育教材）や高等学校で使用している教科書「世界史 B」の中国前近代史関連部分を熟読しておくと、授業の理解が深まります。
また授業中に実習するための研究文献（内藤湖南「概括的唐宋時代観」）を事前に配布するので、熟読しておく必要があります。

◆履修条件 平成 27 年度東京スクーリング（5月期）「東洋史入門」との積み重ね不可

◆授業計画 [1日目・3日目：300 分、2日目：390 分、4日目：360 分]

1日目	授業ガイダンスとアンケート、研究文献探索・収集法、研究文献読解・評価法、中国史の捉え方 I ※中国史の研究文献の探索・収集方法や、個々の研究文献の説解及び評価・整理の仕方について学びます。中国史の全体像把握に向けた様々な歴史の捉え方を紹介しながら、問題点を考察していきます。
2日目	中国史の捉え方 II、内藤湖南の唐宋変革論 I、内藤湖南の唐宋変革論 II、内藤湖南の唐宋変革論 III ※中国史の様々な時代区分論や論争の争点を学びます。内藤湖南の唐宋変革論の理解に向けて、その人物の生涯や歴史観を学んだり、研究文献「概括的唐宋時代観」を取り上げて読解・整理の実習を行ったりします。
3日目	内藤湖南の唐宋変革論 IV、内藤湖南の後世への影響 I、内藤湖南の後世への影響 II ※内藤湖南の唐宋変革論についての考察を促し、評価していきます。内藤湖南以後の研究者たちの中国史の時代区分に関する具体的な諸説を解説し、内藤湖南の所論が後世に与えた影響について検討します。
4日目	近年の中国史把握の動向 I、近年の中国史把握の動向 II、授業全体の総括、アンケート、筆記試験 ※中国史分野での時代区分論争が収束した後の近年の中国史把握の動向について学びます。授業の総括の後、最後に筆記試験を実施し、4日間の学習の成果を確認します。

◆教科書 **事前資料送付** 事前プリント配布（研究文献のコピー）

当日資料配付 当日プリント配付

◆参考書 **丸沼**『中国歴史研究入門』 磯波護・岸本美緒・杉山正明編 名古屋大学出版会

4,104 円（税込）（送料 350 円）

通材『東洋史概説 Q30300／東洋史概論 K32300』 通信教育教材（教材コード 000523）
(※学修指導書付き) 1,850 円（税込）

◆成績評価基準 筆記試験 (50%)、実習課題 (30%)、授業への参加・貢献（平常点）(20%) により総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆開発戦略の変遷を理解する

〔経済開発論〕

担当者：田宮 憲

◆学修到達目標 経済開発に関する歴史・理論・政策の基本を整理し、戦後の開発理論・開発戦略の変遷を理解することを学修目標とします。具体的には、本講義の受講によって、受講生は、(1)「開発」という概念の整理、(2)開発問題の歴史的展開、(3)開発理論の変遷、(4)実際の開発戦略の諸形態を理解し、説明できるようになります。

◆授業方法 授業計画に記されたトピックスについて、講義を中心に授業を構成します。各时限の最後に受講生自ら、リフレクション・ノートをまとめ、各回の学修の定着を図ります。そのまとめが記述式テストの準備になるように配慮します。ただし、受講人数により、授業構成、授業方法を変更することがあります。

◆準備学修 授業計画に記されたトピックスについて、準備学修を行ってください。「参考書」の項目にある『経済開発のエッセンス』の第1章から第7章、『経済開発論 R31400』の第1章から第5章を参考に準備学修を進めてください。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	「開発」とは何か。発展途上国との諸データから考えられる開発問題への多様なアプローチを整理します。「開発」とは、まさに多様な概念であり、研究者によって定義や対象が異なります。発展途上国が抱える数え切れない問題や矛盾の数だけ定義が存在するとも言えます。初日は、「開発」という簡単には定義できない概念ができるだけわかりやすく解説します。
2日目	戦後の開発問題の歴史的展開を整理します。1950年代から注目され始めたいわゆる「南北問題」や国連が発展途上国の開発に果たした役割（「国連開発の10年」、「UNCTAD」など）について、順次、紹介します。また1970年代以降の新興工業国群の登場、冷戦終結後の移行経済諸国群の市場経済化などについても整理します。
3日目	開発に関する理論的展開について解説します。初期の「経済発展段階説」、経済成長に関する「ハロッド＝ドーマー・モデル」からマルクス主義の影響を受けた諸理論、そして近年の新自由主義的アプローチまで、順次、説明し、考え方の変遷を整理します。
4日目	前日までの議論を振り返り、発展途上国における「開発戦略」としての貿易問題と対内直接投資の問題を考察します。最終授業で60分程度の記述式テストを実施します。

◆教科書 特に指定しません。

〔当日資料配付〕授業当日に資料・プリントを配布します。

◆参考書 丸沼『経済開発のエッセンス』 辻忠博 創成社 2,268円（税込）（送料300円）

〔通材〕『経済開発論 R31400』 通信教育教材（教材コード000350）1,750円（税込）

◆成績評価基準 (1) 授業への主体的参加（各授業におけるリフレクション・ノート等の提出） 30%
(2) 論述式テスト（経済開発における諸問題に関するテスト） 70%

成績評価規準・基準を記したルーブリックを配布します。また毎回出席することを単位取得の前提とします。

◆身近な税金から学ぶ

〔租税論〕

担当者：鵜藤 俊英

◆学修到達目標 身近にある実際の税金を学び、あるべき租税の制度について考えてみましょう。税金は、国民の会費とも言われています。将来の日本の姿を見つめながら、本当に必要な税金についての理解を深めます。

◆授業方法 原則として、教科書を中心に進めます。身近な話題として、時事を報道する新聞に掲載された問題にも言及します。必要に応じてプリントを配布します。

◆準備学修 納税は国民の義務ですが、日本という国（国民生活）の維持管理の財源です。自身の生涯設計にも不可欠な要素です。講義時間内は考えもらうことに主眼をおいているので、事前に教科書には目を通しておいてください。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	財政の現状から考える税金、租税基礎理論、公平・中立・簡素の原則
2日目	所得税総論、所得税各論
3日目	法人税、消費税、相続税
4日目	酒税、地方税、社会保障制度の概論

◆教科書 丸沼『よくわかる税法入門最新版』 三木義一編著 有斐閣 2,268円（税込）（送料300円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 最終日の試験、毎日行うリアクションペーパー（レポート）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆会計学の基礎知識が学修できる

[会計学]

担当者：林 徳順

◆学修到達目標 この授業の到達目標は、「初心者が会計学の基礎知識を学修できる」ことであります。すなわち、「株式会社の仕組み」及び「営利企業に係る財務会計、管理会計、税務会計及び監査の概要等」を学ぶことを通し、①「企業利益はどのように計算され、どのように利用され、その正確性はどんな方法で保証されているのか」が学修でき、②「製品などの原価はどのように決まるのか」が学修できます。

◆授業方法 授業計画に沿って、パワーポイント形式で授業を進めます。授業中、①授業内容に関する練習問題を解いたり、②授業内容と関連のある新聞記事などを取り上げ、授業内容についての理解を深めたりします。受講生の理解度を考慮しながら授業を進行しますので、授業計画よりも授業進行が遅れる場合があります。

◆準備学修 授業計画に沿って、テキストの内容を予習してくることを勧めます。特に、複式簿記の計算構造に関する部分（第2章～第4章）は、初心者にとって難解な部分であるため、充分に予習することが必要です。会計に関する辞書などを利用しながら、専門用語などを理解したうえで授業に臨むと、さらに学修効果が上がります。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	① 第1章 現代社会と会計の役割 ② 第2章 簿記・会計の基礎知識 ③ 第3章 複式簿記の基本的手續
2日目	① 第4章 財務諸表の作成—決算の手続— ② 第5章 株式会社のしくみ ③ 第6章 日本の企業会計制度 ④ 第7章 損益計算書のしくみ
3日目	① 第8章 貸借対照表のしくみ ② 第9章 財務会計の分析
4日目	① 第11章 会計の監査 ② 第12章 管理会計と原価計算 ③ 第13章 税務会計

◆教科書 丸沼『はじめての会計学〔最新版〕』 日本大学会計学研究室編 森山書店 2,592円（税込）（送料350円）

◆参考書 丸沼『基礎 財務会計〔最新版〕』 五十嵐邦正著 森山書店 3,456円（税込）（送料300円）

丸沼『財務会計講義〔最新版〕』 桜井久勝著 中央経済社 4,104円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 期末テスト100%。毎回出席することを前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆理論と実際**〔国語科教育法Ⅰ〕**

オープン受講：不可 担当者：品川 利幸

◆学修到達目標 「理論と実際」を骨子に据え、関係法規を照合しつつ『国語科教育法Ⅰ』に説かれる内容を講義する。理論面として教科書巻末の「学習指導要領」などから国語教育の実際にについて把握する。次にはその理論を『新編 国語総合』の教科書の上に確かめ、それらがどのように反映されているかを捉え、具体的な教材に即して国語教育の現場で求められる指導力とは何か、国語科指導の核となる、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの指導法を確認して行きたい。

◆授業方法 初日の理論を基に2日目から模擬授業を実施し、具体的な展開例から議論を重ね、指導法の適否について考察する。高校1年生を対象とする『国語総合』に於ける、各ジャンルの指導を現場に即応した内容を基軸に、具体的には、現代文・古文・漢文の模擬授業を演習形式で行い、その適否について質疑と討論を重ね考察を加える。模擬授業によって疑似トレーニングを積み、実践力をつけることにスクーリングならではの意味がある。また、教育実習を想定した取り組みについても取り上げたい。

◆準備学修 事前課題として『新編 国語総合』10頁～「頭の中の無限大」を2時間で配当する前提で、本時を第1時とする学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出しなさい。また、『新編 国語総合』から本シラバスに提示する現代文・古文・漢文の三分野9教材について、模擬授業を想定した時案を立ててみるなど、どの分野、教材にでも対応できるよう、展開例を準備しておきたい。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	(1) ガイダンス・グループ編成・模擬授業の分担 (2) 模擬授業展開上の留意点・質疑・指導案の作成・模擬授業展開例(DVD) (3) 国語科教育法Ⅰ講義・教育実習を想定して
2日目	(1) 現代文 小説『羅生門』(156頁～) (2) 古文 説話「児のそら寝」(236頁～) (3) 漢文 唐詩「香炉峰下～」(326頁～) (4) 現代文 詩「わたしが一番きれいだった～」(75頁)
3日目	(1) 古文 奥の細道「旅立ち」(276頁～) (2) 漢文 史伝「晏子の御者」(314頁～) (3) 現代文 評論「水の東西」(126頁～) (4) 事前課題「頭の中の無限大」の検討
4日目	(1) 古文 伊勢物語「芥川」(288頁～) (2) 漢文 漢詩「江雪・涼州詞」(321頁～) (3) ディベート・学習ゲーム(DVD)の紹介 (4) 試験

◆教科書 通材『国語科教育法Ⅰ T20300』 通信教育教材（教材コード 000469）2,650円（送料込）

〈この教材は市販の『新版 中学校・高等学校 国語科教育法』野地潤家・湊吉正（おうふう）と同一です〉

丸沼『新編 国語総合』 高校1年教科書 教育出版 17教出 国総 343 905円（税込）（送料300円）

◆参考書 国語・古語・漢和の各辞書はもとより、任意に、国語科基本用語辞典を備えたい。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提に、受講状況(30%)、提出物(20%)、試験(50%)により総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆新しい英語教員をめざして

【英語科教育法Ⅰ】

担当者：市川 泰弘

◆学修到達目標 本講義では英語を教える目的を見据え、日本の英語教育の現状を踏まえながらさまざまな角度から英語教育の目標と課題を学習していきます。

◆授業方法 グループディスカッションを中心にテーマごとにまとめてもらい発表してもらいます。したがって、事前に教科書を熟読して、積極的に講義に参加してもらいたいと思います。

◆準備学修 講義では事前に学習し、理解した内容に踏まえ、新たな資料等を用いて、テーマディスカッションをしてもらうことになります。従って、教科書は事前にそれぞれのテーマに関わる部分を読み、自分でまとめてみてください。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	オリエンテーション、英語教育の目的・練習方法／教材、教育機器 Listening : 聴くことの指導、Pronunciation : 発音の指導 テーマディスカッション レポート作成
2日目	Speaking : 話すことの指導、Communication について Reading : 読むことの指導、Paragraph Reading について テーマディスカッション レポート作成
3日目	Alphabet/spelling、Writing : 書くことの指導 Paragraph Writing について Grammar/Vocabulary : 文法／語彙をどう教えるか、テーマディスカッション レポート作成
4日目	Integration/Lesson Plan : スキルの統合／レッスンプラン作成 小学校～高等学校の英語教育・授業運営／教育実習に向けて テーマディスカッション レポート作成

◆教科書 **丸沼**『新しい時代の英語科教育の基礎と実践：成長する英語教師を目指して』 JACET 教育問題研究会編
三修社 2,808円（税込）（送料300円）
[当日資料配付]

◆参考書 **丸沼**『英語授業改善のための処方箋：マクロに考え方ミクロに対処する』 金谷憲著 大修館書店
1,944円（税込）（送料300円）

丸沼『Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (4th Edition)』
Brown, H.D. Longman 5,389円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 出席・発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。

◆人間にとての自然環境

【自然地理学概論】

オープン受講：不可 担当者：山添 謙

◆学修到達目標 「地理」の授業展開における「自然地理学」の知識や考え方の活用方法について考察することができる目標とする。具体的には、環境の成り立ちを理解した上で、人間にとての自然環境について考察する。

◆授業方法 教材を提示しながら、必要に応じ資料を活用して授業を展開する。また、地理情報を読み取るための地形図をはじめとする図表類の読み取りや、作成作業を通して理解を深める。「地理的技能」の実践を行います。

◆準備学修 太陽－地球との関係、地球の運動など、惑星としての地球に関する中学校理科の学習内容について、事前に復習をしておいてください。「太陽の日周運動」と「太陽の年周運動」について必須です。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	環境のとらえ方：環境とは何か、人間にとての環境について、人間と環境との相互作用。人間の生活空間としての地球：地球システムの構造、太陽・月・地球。気候システムとは何か地表面における太陽エネルギーの分布と変化。
2日目	大気大循環。 気候とは何か：気候要素の特徴（気温、降水量）、代表的な気候因子。 気候区分：世界の気候区。日本の気候。局地的な気候。
3日目	プレートテクトニクスと地形：プレートの成り立ちと運動。プレート境界の種類と活動。世界の地形。 世界の植生・土壤：植生・土壤の位置づけ、植生のとらえ方。
4日目	世界の植生分布。土壤のとらえ方。世界の土壤分布。気候・植生・土壤。生態システムとしての自然環境。 現代世界の諸課題と自然地理学：地球環境問題、自然災害。

◆教科書 [当日資料配付] 当日資料を配付します。
高等学校地理歴史科の地図帳（推奨 帝国書院『新詳高等地図』）（最近5年以内のもの、試験にも用います）。

◆参考書 **通材**『自然地理学概論 T22300』 通信教育教材（教材コード000236）2,350円（税込）
丸沼『自然地理学概論』 朝倉書店 3,564円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 毎回出席をすることを前提に評価する。評価は試験70%、提出物30%とする。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定

5月 東京
1期

5月 東京
2期

6月 東京
月期

7月 東京
月期

6月 仙台
月期

6月 大阪
月期

7月 札幌
月期

7月 名古屋
月期

7月 福岡
月期

月夜
曜日間

火夜
曜日間

水夜
曜日間

木夜
曜日間

金夜
曜日間

申込方法
講座の

許可と不許可
申込講座の

受講料の
納入

受講準備
試験及び

学生生活の
愛講聞串の

オープン
受講

各種用紙

付
録

MEMO

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京
7月期

日 程		授 業 時 間		備 考	
7月 1日	土	13:00~18:30		※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。	
7月 2日	日	9:00~16:30			
7月 8日	土	13:00~18:30			
7月 9日	日	9:00~16:00 <試験も含む>			

※以下の7月期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開講講座名	担当講師名	単 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 才 ト ー プ 講 ン		
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件			
DA01	美 術 史	森下 和貴子	2	B11400	美 術 史		1年				
DA02	英 語 F	アレックス ブラウン	1	C10100	英 語 I	1年		· I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英 語 II						
				C10300	英 語 III	2年					
				C10400	英 語 IV						
DA03	商 法 III	金澤 大祐	2	K30700	商 法 III		2年		×		
DA04	労 働 法	新谷 真人	2	K31300	労 働 法		2年				
DA05	地方自治論 A	山田 光矢	2	L30800	地 方 自 治 論		2年				
DA06	漢 文 学 I	青木 隆	2	M31500	漢 文 学 I		2年				
DA07	放 送 英 語	パトリック マッコイ	2	N31300	放 送 英 語	×	2年	· スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。			
DA08	新 聞 英 語	桑山 啓子	2	N31400	新 聞 英 語	×	2年	· スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	×		
DA09	英語学演習 B	青木 克憲	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	· 英文学専攻のみ申込可。 · I ~ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×		
				N402S0	英語学演習 II						
				N403S0	英語学演習 III						
DA0A	哲 学 基 礎 講 讀	中澤 瞳	2	P20100	哲 学 基 礎 講 讀		条件 参 照	· 哲学専攻のみ 1学年以上申込可。 · 上記以外は 2学年以上申込可。			
DA0B	考 古 学 入 門	西野 吉論	2	Q20400	考 古 学 入 門		条件 参 照	· 史学専攻のみ 1学年以上申込可。 · 上記以外は 2学年以上申込可。			
DA0C	貨 幣 経 済 論	藤本 訓利	2	R31900	貨 幣 経 済 論		2年		×		
DA0D	簿 記 論 I	遠藤 洋介	2	S20300	簿 記 論 I		条件 参 照	· 商学部のみ 1学年以上申込可。 · 上記以外は 2学年以上申込可。			

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単位開 数講	充當科目		制限・注意			受オープ 講シ
				科目 コード	科目名	併用	配当 学年	受講条件	
DA0E	英語科教育法Ⅱ	岡田 善明	2	T21000	英語科教育法Ⅱ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
DA0F	教育の方法・技術論	古賀 徹	2	T21700	教育の方法・技術論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆日本美術の基礎

〔美術史〕

担当者：森下 和貴子

◆学修到達目標 日本美術史の中でも主に飛鳥時代から鎌倉時代について学びます。各時代を代表するような彫刻や絵画の名品を取り上げ、作品の技法や様式、作品が生み出された時代背景などを学ぶことにより、日本美術史の流れを理解できるようになる事を目的とします。

◆授業方法 講義形式で行います。取り上げた作品が作られた時代の歴史を概説した上で、スクリーンに作品を映写しながら鑑賞のポイントを解説します。各自、作品を注意深く観察することにより、講義で指摘したポイントを自分の目で確認し理解することが重要です。

◆準備学修 飛鳥時代から鎌倉時代までの代表的な彫刻作品や絵画作品を、あらかじめ写真図版で確認しておくことを望みます。『美術史 B11400』（通信教育教材）に掲載されている図版はいずれも代表的作品です。よく観察しておいて下さい。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	オリエンテーション（時代区分、用語解説など） 仏像鑑賞のための基礎知識（インドにおける仏像の誕生について） 飛鳥時代の歴史と美術（法隆寺金堂釈迦三尊像、中宮寺天寿国縹帳、法隆寺夢殿救世觀音像、法隆寺金堂四天王像など）
2日目	白鳳時代の歴史と美術（野中寺弥勒菩薩像、興福寺仏頭、法隆寺橘夫人念持仏、高松塚古墳壁画など） 天平前期の歴史と美術（法隆寺五重塔塔本塑像、興福寺八部衆像など） 天平盛期の歴史と美術（東大寺法華堂不空羈索觀音像、東大寺戒壇院四天王像、正倉院宝物など） 天平後期の歴史と美術（唐招提寺鑑真和尚像、唐招提寺金堂盧舍那仏像、聖林寺十一面觀音像など）
3日目	平安前期の歴史と美術（神護寺薬師如来像、東寺講堂梵天像、仁和寺阿弥陀三尊像など） 平安後期の歴史と彫刻作品（同聚院不動明王像、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像、平等院鳳凰堂雲中供養菩薩像など） 平安後期の絵画作品（源氏物語絵巻、信貴山縁起絵巻、伴大納言絵巻、鳥獸戲画など）
4日目	鎌倉時代の歴史と彫刻作品（興福寺北円堂無著・世親像、金剛峰寺八大童子像、西大寺觀音像など） 鎌倉時代の絵画作品（一遍聖絵、建長寺蘭溪道隆像、神護寺伝源頼朝像、高山寺明惠上人像など） 南北朝時代以降の日本美術史の流れ

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 当日プリント配布

◆参考書 **通材**『美術史 B11400』 通信教育教材（教材コード 000310）（※学修指導書付き）2,600円（送料込）

◆成績評価基準 4日間を通じて出席することを前提とし、平常点と筆記試験により総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ English Communication Skills

〔英語 F〕

担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 In this course we will study, comprehend and use natural English dialogue from scenes of a popular movie; Rush, starring chris Hemsworth and Daniel Bruhl.

◆授業方法 We will use the scenes from the movie for listening comprehension, vocabulary usage and expansion with further practice of idioms and expressions used in the dialogue of the movie.

◆準備学修 Prepare to discuss comprehension questions provided by the teacher in a group format.

◆授業計画〔1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分〕

1日目	Introduction, Movie viewing Scene 1 vocabulary study Scenes 1 & 2 comprehension questions and role play Scenes 3 & 4 vocabulary study Scenes 3 & 4 comprehension questions and role play
2日目	Movie viewing Scenes 5 & 6 vocabulary study Comprehension questions and role play Vocabulary quiz Scenes 7 & 8 vocab, comprehension questions and role play
3日目	7 & 8 Continued Scenes 9 & 10 vocab, comprehension questions and role play 9 & 10 Continued
4日目	9 & 10 Continued Vocabulary quiz #2 Review for Final Final Test

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts.

◆参考書 None.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test.
Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆企業取引の多様な決済手段

〔商法Ⅲ〕

オープン受講：不可 担当者：金澤 大祐

◆学修到達目標 本講義では多様な決済手段に関する法知識、具体的には、手形・小切手のみならず、電子マネー、電子記録債権等新しい決済手段についての知識の習得を目的とする。また、多様な決済手段について、具体的なケースに即して、説明することができる目的とする。

◆授業方法 本講義は、講義形式で行う。本講義においては、現金、約束手形等従来から利用されている決済手段のみならず、電子マネー、電子記録債権等の最新の法制度まで幅広く取り扱うこととする。その理解のためには、出席が必要不可欠である。また、漫然と講義に出席しているだけでは知識が身につかないため、講義時に適宜質疑応答を行い、毎回、論述式の小テストを行い、受講生の理解度を高める。

◆準備学修 指定したテキストの該当部分につき、一読し、関連する条文を確認しておくこと。

◆履修条件 民法を履修していることが望ましい。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	決済システムの全体像と決済システムの必要性について学ぶ。 電子マネー、クレジットカードの意義と仕組みについて学ぶ。 約束手形の意義と基本的な仕組みについて学ぶ。
2日目	約束手形の振出、裏書、請求及び受け取った手形の割引等、約束手形の振出から支払いまでの一連の過程について学ぶ。 約束手形の流通を支えるシステムのうち、約束手形における担保責任と遡求、手形行為独立の原則を学ぶ。
3日目	約束手形の流通を支えるシステムのうち、善意取得、人的抗弁の切断及び公示催告と除権決定等を学ぶ。 手形貸付、融通手形や白地手形等約束手形によるファイナンスについて学ぶ。
4日目	電子記録債権の基本的な仕組みについて学ぶ。 銀行振込の意義と問題点について学ぶ。 相殺と交互計算及びネットティングの意義について学ぶ。

◆教科書 丸沼『支払決済の法としくみ』 根田正樹・大久保拓也編 学陽書房 3,420円（税込）（送料300円）
『六法』（最新版（平成29年度版）が望ましい）

【当日資料配付】 当日プリント配布

◆参考書 丸沼『手形・小切手判例百選（第7版）』 神田秀樹・神作裕之編 有斐閣 2,376円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 小テスト（40%）、試験（60%）

◆働き方のルールを学ぶ

〔労働法〕

担当者：新谷 真人

◆学修到達目標 労働法は、生まれながらにして労働者保護を目的とした法律である。しかし、現実の労使関係においては、賃金未払い、長時間労働、不当な解雇などのトラブルが絶えない。本講義では、労働法の基礎を学ぶことによって、労使双方が守るべき労働法のルールを理解することを目標とする。

◆授業方法 労働基準法を中心とする個別の労働法と、労働組合法を主体とした集団的労働法の両分野を教科書に沿って講義をする。新聞記事等の資料とDVD等の映像を活用して理解の手助けとする。

◆準備学修 下記の授業計画を参考に、教科書の該当箇所を一読してほしい。六法は小型でよいが、2012年に労働契約法や高年法が、また2015年には労働者派遣法が改正されており、新しいものを用意するのが望ましい。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	①第1章労働法の原理、②第2章労働基準法の理念と労働契約、③第3章就業規則と労働契約
2日目	④第4章配転・出向・転籍、⑤第5章賃金の保護、⑥第6章労働時間、⑦第7章休憩、休日、年次有給休暇
3日目	⑧第8章労働災害の予防と災害補償、⑨第9章女性・非正規労働者と労働法、⑩第10章雇用の終了
4日目	⑪第11章団結権保障と労働組合法、⑫第12章不当労働行為制度、⑬第13章団体交渉と労働協約、⑭試験

◆教科書 丸沼『労働法』 新谷真人編 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼『労働判例百選第9版』 ジュリスト増刊 有斐閣 2,592円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 最終試験（論述式）によって評価する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地方自治制度の実態と改革の方向性を探る

[地方自治論 A]

担当者：山田 光矢

◆学修到達目標 日本の地方自治制度が現在どのような方向に向かっていこうとしているのかを、21世紀の日本の地方自治制度改革の流れ、特に平成の大合併と定住自立圏構想や地域自治組織の設定、小泉政権の三位一体の改革と道州制導入計画、民主党政権の地域主権改革、大阪維新の会の大都市構想、安倍政権の地方創生などから分析し、今後の日本の地方自治制度のあるべき姿に対する受講生がそれぞれの考えを確立する。

◆授業方法 講義形式で行います。受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めていくので、こちらからの質問にはきちんと答えてください。また質問などがある場合には積極的に発言してください。可能な限り相互の意見交換の中で受講生の知識を高めるとともに、受講生の理解を深めていくことを目的に講義を進めていきます。そのためにも、積極的な講義への参加を求めながら講義を進めていきます。

◆準備学修 日本の地方自治制度改革の必要性とそのあるべき方向性に関する受講生の考えを確立してもらうことを目的にしています。特にこのスクーリングでは、現在行われていつ地方自治制度改革すなわち「地方創生」を中心に講義を進めていますので、マスコミの地方行政に関する記事に目を通して、今行われている地方自治制度改革の実態や現状に関する知識をきちんと身に着けてきてください。

◆履修条件 やる気さえあればその他の条件は特にありません。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	日本国憲法と地方自治法の規定する地方自治制度 日本国憲法と地方自治制度 地方自治法と地方公共団体の種類と権能 昭和の大合併、全国総合開発計画
2日目	地方分権一括法と自治分権改革 地方自治法の改正と新しい地方自治制度 小泉政権と三位一体の改革と道州制 民主党政権と地域主権改革
3日目	第二次安倍内閣と地方創生 地方創生政策誕生の背景 地方創生の概要 地方創生の対象（範囲）と政策の特徴
4日目	地方創生と地方公共団体 各省庁の地方創生策の特徴 地方公共団体の地方創生策の特徴 試験

◆教科書 **丸沼『地方自治論』** 山田光矢・代田剛彦編 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）
[当日資料配付]

◆参考書 **丸沼『政治学』** 山田光矢 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 試験を60%程度、小テストやリアクションペーパー等を20%程度、出席や受講姿勢等を20%程度として、総合的に判断して評価します。自主的にレポートを提出した場合には内容に応じて加点します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆三国志演義の名場面（曹操特集）

〔漢文学Ⅰ〕

担当者：青木 隆

◆学修到達目標 1. 漢文を読むための漢和辞典の特徴を学び、使い方を習得する。

2. 小説『三国志演義』の本文を楽しみながら漢文訓読法の基礎を習得する。

3. 現代中国に通じる近世中国人々のものの考え方、感じ方に触れる。

◆授業方法 1. 『三国志演義』を楽しむ上で必須の基礎知識を概説し、次に漢文訓読を学ぶのにふさわしい漢和辞典の使い方を紹介する。

2. 『三国志演義』の本文に取り組み、教室で実際に漢和辞典を駆使しながら漢文訓読法により読み下し文を作成する。一文ずつ、出席者に発表を求めつつ、漢文の意味用法について解説する。

3. 歴代の版画挿絵、現代中国のテレビドラマを用いて、『三国志演義』の魅力を解説する。

◆準備学修 特に必要ありませんが、岩波文庫版『完訳三国志』（全八巻）、平凡社版『三国志演義』（上・下）、講談社学術文庫版『三国志演義』（全四巻）のいずれかを読んでおいてくださいと助かります。授業では講談社学術文庫版を用いる予定です。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	『三国志演義』の基礎知識、漢和辞典および漢文訓読法について 『三国志演義』の名場面—曹操特集①（第1回）呂伯奢一家皆殺し
2日目	『三国志演義』の名場面—曹操特集②許田の巻狩り（第20回）、『三国志演義』の名場面—曹操特集③劉備と英雄談義（第21回）、『三国志演義』の名場面—曹操特集④関羽との別れ（第27回）
3日目	『三国志演義』の名場面—曹操特集⑤官渡の戦い（第30回）、『三国志演義』の名場面—曹操特集⑥赤壁の戦い（第49回）
4日目	『三国志演義』の名場面—曹操特集⑦華容道にて関羽に命乞い（第50回）、『三国志演義』の名場面—曹操特集⑧伏皇后撲殺（第66回）。最終回でレポート提出。

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント配布。

◆参考書 教室に必ず漢和辞典をお持ちになってください。授業では『漢辞海（第四版）』（三省堂）を用います。参考書としてこれを推薦しますが、ふだんお使いの漢和辞典があれば、それを教室にお持ちください。

◆成績評価基準 Aコース（総振り仮名・総送り仮名・返り点・句読点つき）からGコース（句読点のみ）まで難易度の異なる7段階のコースを用意しました。漢文読み下しは全く初めてという方にも、かなり自信のある方にも、ご自分にあったコースをお選びいただくことができると思います。どのコースをどれだけ学習したことと最終日に作成するレポートとによって成績を評価します。

◆ Broadcast

〔放送英語〕

担当者：パトリック マッコイ

◆学修到達目標 Students will improve listening and speaking skills by watching short news reports and discussing the content and issue of the news reports.

◆授業方法 Students will develop listening skills by listening to news reports from ABC World News 18. Students will also learn vocabulary and expressions related to the news topics and discuss and give their opinions about topics.

◆準備学修 なし

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	Orientation, Unit 1: Royal Visit: Prince William in Japan, Unit 2: Free-Range Parenting, Unit 3: Security Breach: Drone Crashes on White House Lawn
2日目	Vocabulary Quiz 1 (Units 1-3), Unit 4: Animal Love: Zoos Play Matchmaker, Unit 5: Operation Pizza, Unit 6: Big Powerball Jackpot Growing, Unit 7: Obama in India
3日目	Vocabulary Quiz 2 (Units 4-7), Unit 8: Real Money Investigation: Theives Holding Your Money Hostage, Unit 9: Burger Wars: Billion Dollar Burger? Unit 10: The Perfect Apple? Unit 11: Winter Blast
4日目	Vocabulary Quiz 3 (Units 8-11), Unit 12: Russian Spies? Three Suspects Charged, Unit 13: Measles on the Move, Unit 14: School Bus Safety: Should School Buses Have Seat Belts? Final Test

◆教科書 [丸沼]『ABC World News 18』 Shigeru Yamane and Kathleen Yamane Kinseido ISBN978-4-7647-4014-3 2,484円（税込）（送料300円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 Class participation: 30% Vocabulary quizzes: 30% Final test: 40%

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 期
7月 東京 期
6月 仙台 期
6月 大阪 期
7月 札幌 期
7月 名古屋 期
7月 福岡 期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座
許可と不許可の講座
受講料の納入
受講準備
試験及び
学生生活の愛蔵開催
オープン受講
各種用紙付録

◆新聞記事を英語で読む

[新聞英語]

オープン受講：不可 担当者：桑山 啓子

◆学修到達目標 英字新聞の記事の構造を理解して、英字新聞の英語の特徴を学び、英字新聞の記事を読むことに慣れるのを第一の目的とする。それが達成できた後で記事の内容を把握し、自分の意見を言えるようにするのが第二の目的である。

◆授業方法 テキストは Chapter 1 ~ 3, 6, 8, 10 を読んでいく。本文は最初に新聞記事の内容の概略をつかみ、段落ごとに重要な語句、英文を確認する。段落の中で難しい英文や、重要な英文は和訳する。Chapter によって内容に関して自分の意見をまとめる。詳しいことは最初の時間で説明する。学生の人数やレベルに合わせて授業を進めるので、授業の進め方や内容は変わる場合がある。

◆準備学修 時間の都合で授業で読んでいく chapter が順番通りでないのと Exercise も一部しかできないのでシラバスをよく見て予習をしてほしい。シラバスの範囲をすべて予習しておくこと。わからない語（句）は辞書で十分調べて、英文を一文ずつ和訳しておくこと。その上で記事全体の内容を要約しておくこと。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	ガイダンス、英字新聞の構造や新聞英語の特徴についての説明。 Chapter 1 ~ 2: 本文の内容の確認、段落ごとの要約、重要な語句、文の確認、Contents Check, True or False, Question-Answer の答え合わせ
2日目	(午前) Chapter 2: 本文の復習、Contents Check, True or False, Question-Answer の答え合わせ / Chapter 3: 本文の内容の確認、段落ごとの要約、重要な語句、文の確認。 (午後) Chapter 3: 本文の復習、Contents Check, True or False, Question-Answer の答え合わせ / Chapter 6: 本文の内容の確認、段落ごとの要約、重要な語句、文の確認、Contents Check, True or False, Question-Answer の答え合わせ
3日目	Chapter 8: 本文の内容の確認、段落ごとの要約、重要な語句、文の確認、Contents Check, True or False, Question-Answer の答え合わせ / Chapter 10: 本文の内容の確認、段落ごとの要約、重要な語句、文の確認、
4日目	Chapter 10: 本文の復習、Contents Check, True or False, Question-Answer の答え合わせ / テキストの復習・試験

◆教科書 五沼『News Gallery 2017』 木下・江口・Hailes 共著 開文社出版 2,052円（税込）（送料 300円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 4日間出席することを前提として以下の様に評価します。

授業への取り組み、授業内に行う小テストなど 30%、授業時の発表状況 20%、試験 50%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆言語における諸問題を検討

[英語学演習 B]

オープン受講：不可 担当者：青木 克憲

◆学修到達目標 言語の発達、幼児の言語習得、男性と女性の話し方など言語における諸問題を取り上げて、言語に対する理解を深めます。

◆授業方法 受講生に発表してもらう形で授業を行なう。本文の英文は1行（短い場合は2行）ずつ和訳してもらいその後で説明・補足などを加えて内容を検討する。
練習問題は解答を答えてもらう。

◆準備学修 シラバスを参照して、次回に行なう箇所を辞書を引き、内容をまとめておくこと。
問題は自分の解答を用意しておくこと。

◆履修条件 平成27年度昼間・土曜スクーリング（前期）「英語学演習」との積み重ね不可

◆授業計画 [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	1. The Dawn of Language 2. Do Animals Have Language? 3. The Rosetta Stone 4. Chomsky and Universal Grammar.
2日目	5. Younger Is Better 6. Misunderstanding about Bilingualism 7. Are Men's and Women's Speech Really Different? 8. Politeness
3日目	9. PC (Politically-Correct) Speech 10. What Makes a Good Language Learner? 11. Individual and Societal Multilingualism 12. The Role of Teaching Methods in Language Learning
4日目	13. Ways of organizing Languages 14. What's the Difference between a Language and a Dialect? まとめ及び試験

◆教科書 丸沼『Language and Our World』三修社 1,944円（税込）（送料300円）

◆参考書 授業中に必要に応じて紹介します。

◆成績評価基準 授業への取り組み（予習状況、練習問題）（30%）試験（70%）で評価します。

◆『第二の性』序文、第1部第1章を読む

[哲学基礎講読]

担当者：中澤 瞳

◆学修到達目標 本講義の目標は、講読の基礎、要約の基礎を習得するとともに、『第二の性』序文、第1部第1章の内容を理解することである。

◆授業方法 参加者全員、順番にテクストを読み、内容の要約を発表し、テクストの理解に努める。

◆準備学修 事前に『第二の性』第1部第1章を送付するので目を通す。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	テクストの読み方、要約の方法 『第二の性』序文、第1部第1章を読む <u>授業内レポート実施</u>
2日目	『第二の性』序文、第1部第1章を読む <u>授業内レポート実施</u>
3日目	『第二の性』序文、第1部第1章を読む <u>授業内レポート実施</u>
4日目	『第二の性』序文、第1部第1章を読む <u>授業内レポート実施</u>

◆教科書 事前資料送付 ボーヴォワール『第二の性』序文、第1部第1章を送付する。

◆参考書 『第二の性』シモーヌ・ド・ボーヴォワール 新潮文庫 2001
(上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい。)

◆成績評価基準 授業への参加、貢献（50%）、各日の最後の時間に実施する授業内レポート（50%）により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆考古資料を知ろう

[考古学入門]

担当者：西野 吉論

◆学修到達目標 考古学とはどのような学問なのかについて、研究対象である考古資料（遺跡・遺構・遺物）を中心に学びます。考古資料の種類や分析方法を理解していく。

◆授業方法 講義形式で行います。考古資料は写真や実測図を用いて説明します。

◆準備学修 インターネットや一般向けの本で、遺跡・遺構・遺物について具体例を見ておくようにしましょう。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	考古学とはどのような学問か ～時代区分と時期区分、研究対象、研究方法について学んでいきます。
2日目	考古学の研究方法について ～発掘調査と整理作業について学び、研究方法とのかかわりを知っていきます。
3日目	型式学について ～考古資料を分類し、そこから歴史を構築する方法論である型式学とその研究史について学びます。
4日目	考古学と自然科学 ～考古資料を分析する様々な自然科学的手法と、それによって何が分かるのかを学びます。

◆教科書 通材 『考古学入門 Q20400』 通信教育教材（教材コード 000509）（※学修指導書付き）
2,900円（送料込）

◆参考書 丸沼『縄文の豊かさと限界』 今村啓爾 日本史リブレット 山川出版社 864円（税込）（送料 215円）

◆成績評価基準 試験 100%（全日出席していることが前提）

◆貨幣とマクロ経済の関係を学びましょう

[貨幣経済論]

オープン受講：不可 担当者：藤本 訓利

◆学修到達目標 貨幣はどのように定義すれば良いのか、また貨幣（あるいは貨幣供給量・通貨供給量）がマクロ経済とどのような関係にあるのかについて知り、現実の経済の動きを貨幣面（貨幣経済論的な視点）から捉えることができるようになります。

◆授業方法 基本的には、テキストに沿って、統計資料等を配付しながら、板書で講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めるようにします。

◆準備学修 必ず予習をし、分からぬ経済用語については事前に調べておきましょう。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	貨幣の循環と金融、貨幣の本質と貨幣経済の特徴（1） ※まず財の種類について復習し、財・サービスと貨幣の流通（循環）について学びます。次に、貨幣の諸機能について説明し、貨幣がどのように定義されるか学びます。
2日目	貨幣の本質と貨幣経済の特徴（2）、貨幣の供給（1） ※貨幣の歴史、貨幣経済の特徴を学びます。また、現実に流通している貨幣量（マネーサプライ／通貨供給量）とマクロ経済の関係について学びます。
3日目	貨幣の供給（2）， ※「マネーサプライとマクロ経済の関係」についての理論面（古典的貨幣数量説やフリードマンの新貨幣数量説など）を中心に学びます。
4日目	金融政策とマネーサプライ、筆記試験 ※「マネーサプライとマクロ経済の関係」に関連して、金融政策の目的や手段等について学びます。 最後の 60 分で筆記試験を行います。

◆教科書 丸沼『マクロ経済学と貨幣』 藤本訓利・関谷喜三郎 八千代出版 1,944円（税込）（送料 300円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 平常点（練習問題等 35%）と筆記試験（65%）で総合的に評価します。毎回出席することを前提として評価します。詳細は、最初の講義時間に説明します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆簿記の基本を学びましょう

【簿記論Ⅰ】

担当者：遠藤 洋介

◆学修到達目標 初めて簿記を勉強する方を対象に、簿記の一連の流れ（会社の成績表ができるまでの流れ）を学んで頂きます。『帳簿をつける』ということや『決算』というものはどういうものなのかを理解して頂き、会社の成績表をつくれるようになることを目標にしています。

◆授業方法 まず、黒板を使って、テキストに書いている内容を簡単にまとめて解説します。

テキストには例題もありますので、黒板で解き方を解説し、イメージをもって頂きます。

その後、テキストやワークブックにある練習問題を各自で解いて頂き、解説や補足説明等を行います。

◆準備学修 授業内容は毎回つながっていますので、復習が大変重要になります。

各回の授業で勉強したことは、次回の授業までにもう一度復習するようにして下さい。

また、授業では電卓が必要となります（最初の授業の際に説明します）。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	簿記の意義としくみ 仕訳と転記 決算（精算表）
2日目	現金と預金（小口現金を除く） 商品売買（商品有高帳を除く）、売掛金と買掛金 その他債権と債務（商品券・他店商品券を除く） 受取手形と支払手形、有価証券
3日目	固定資産（資本的支出・修繕費を除く） 資本金と引出金、貸倒損失と貸倒引当金 伝票、収益と費用（消耗品費の処理を除く）
4日目	財務諸表（精算表） 財務諸表（精算表） 続き 試験対策 試験

◆教科書 丸沼『検定簿記講義 3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子 中央経済社
756円（税込）（送料300円）

※テキスト・ワークブックは、初回の授業から使いますので、用意をして下さい。

◆参考書 丸沼『検定簿記ワークブック 3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子 中央経済社
756円（税込）（送料300円）

※テキスト・ワークブックは、初回の授業から使いますので、用意をして下さい。

◆成績評価基準 試験の結果により評価をします。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆オーラル・メソッドの研究と実践

〔英語科教育法Ⅱ〕

担当者：岡田 善明

◆学修到達目標 高等学校改訂新学習指導要領では基本的に英語で授業をおこなうことを明確化している。本講座は、パーマーの古典的論文を読みオーラル・メソッドで授業を行うための方法を習得する。

◆授業方法 英語による授業を行うためのパーマーの古典的英語論文（*The Problem of English-teaching in The Light of a New Theory*）を読み、それに基づいて内容を英語により討論することで教育技術を養いながら、オーラル・メソッドでの英語による授業の実践能力を養成する。更に模擬授業を通して実践的な指導力を身につける。授業は原則的に英語で行う。

◆準備学修 テキスト『英語教育の精神と実践』（春風社）と事前に配布するパーマーの英語論文（*The Problem of English-teaching in The Light of a New Theory*）を読み、ワークシートを完成しておく。たった3日間のスケーリングなので準備学習が大切である。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	オリエンテーション「英語教育論とオーラルメソッド『英語教育の精神と実践』」 討論1 (Introduction, Speech and language, Primary speech and secondary speech) 討論2 (The six primary speech habits, How to acquire the primary speech habits)
2日目	討論3 (The secondary speech circuits, How to acquire the six writing-reading habits) 討論4 (Speech habits No.13,14,15, Speech Language Exercise)
3日目	討論5 (Designing of the course, consideration 1～8) ビデオによる授業鑑賞、模擬授業準備
4日目	模擬授業 試験

◆教科書 丸沼『英語教育の精神と実践』 岡田善明 春風社 1,944円（税込）（送料300円）

事前資料送付 *The Problem of English-teaching in The Light of a New Theory* のコピーと討論用ワークシート

◆参考書 スクーリングで紹介

◆成績評価基準 模擬授業の実習と試験で評価。試験は英語で討論した内容を英語で書く問題が2問、日本語で書く問題が2問ある。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆授業デザイン力をつける

〔教育の方法・技術論〕

担当者：古賀 啓

◆学修到達目標 この授業は、「教員としての授業実践力」を修得することを目的としています。そのために次のような順序で学びます。①「授業が成り立つ条件」を理解する。②様々な授業形態を歴史的に、あるいは諸外国と比較することでより深く理解する。③カリキュラム構成方法を修得することで、学習指導計画を組み立てられるようにする。④実際に作業することで教育方法のコツを修得する。①～④によって、授業づくりと実践力とをつけて（増して）いきましょう。

◆授業方法 講義形式のみではなく、ワークショップ形式、グループワーク、ロールプレイなどアクティブラーニング型の方式をとりいれる。

◆準備学修 方法論の理論やその種類・系統を理解するだけではなく、さらにその理解したことを実際に活用すること、生徒の理解を前提とする授業を構成することができるようになることが大事です。
他の各教科の指導法（教科教育法）の授業やテキストの記述からも（実施する）「授業」に関するイメージを具体的にあらわせるように学んでおくことをおすすめします。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	①ガイダンス：「教える」と「学ぶ」こと ②教育方法学の歴史（西洋教育方法史） ③教育方法学の歴史（日本の教育内容の変遷）
2日目	①「学習」概念（ヴィゴツキーの活動理論） ②授業形態の多様化（バズ学習、T.T等） ③問題解決学習と系統学習 ④「はなす」「かく」
3日目	①「はなす」「さく」「かく」「まとめる」 ②カリキュラム構成の方法 ③カリキュラム作成の実習
4日目	①授業の構成法—「生きる力」「言語活動」のある指導計画づくり ②教育評価の方法（ループリック） ③「教える」—デザインの力

◆教科書 資料・レジュメを配布する。

◆参考書 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。

◆成績評価基準 この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。
出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行なわない。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定

5月 東京
1期

5月 東京
2期

6月 東京
期

7月 東京
月期

6月 仙台
期

6月 大阪
期

7月 札幌
月期

7月 名古屋
月期

7月 福岡
月期

月夜
曜日間

火夜
曜日間

水夜
曜日間

木夜
曜日間

金夜
曜日間

申込方法
講座の

許可と不許可
申込講座の

受講料の
納入

受講準備
試験及び

学生生活の
愛講聞串の

オープン
受講

各種用紙

付録

MEMO

III 地方スクーリング

1 開催地及び開講日程

開講期	開催地	日程	授業時間
6月期	仙 台 大 阪	17日（土）	9:30～18:30
		18日（日）	9:00～18:30
		19日（月）	9:00～16:00 <試験も含む>
7月期	札 幌 名古屋 福 岡	15日（土）	9:30～18:30
		16日（日）	9:00～18:30
		17日（月）	9:00～16:00 <試験も含む>

※いずれの日程も授業時間内に休憩時間を設けます。

※各期から1開催地1講座のみの申込みです。

2 実施会場

開催地別の会場は下表のとおりです。

会場における具体的な授業講堂は、受講生あてに通知にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に会場にて掲示します。

なお、各会場の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

【注意事項】

- ・自家用車・バイクの通学を禁止します。
- ・指定された場所以外での喫煙を禁止します。
- ・各自、ゴミは持ち帰ってください。

その他、会場の使用上の注意を守ってください。

開講期	開催地	会 場	会場案内
6月期	仙 台	ショーケー株式会社（本館ビル）	75 ページ
	大 阪	近畿大学東大阪キャンパス	78 ページ
7月期	札 幌	NTT 北海道セミナーセンタ	81 ページ
	名古屋	中産連ビルディング株式会社	84 ページ
	福 岡	博多バスターミナル（貸ホール）	87 ページ

※「会場」は後掲の「開講講座表、会場及び講座内容（シラバス）」に開催地別に掲載。

講座の
選定の
5月1期 東京
5月2期 東京
6月期 東京
7月期 東京
6仙期 仙台
6大月期 阪
7札月期 品川
7名古屋期
7月期 岡
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の
講座の
許可と不許可の
申込講座の
受講料の
納入の
受講準備の
受講及び
試験の
学生生活の
オーブン
各種用紙の
付録

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 6月期 仙 台

日 程		授 業 時 間		備 考	
6月17日	土	9:30 ~ 18:30		※時間内に昼休みを設けます。	
6月18日	日	9:00 ~ 18:30			
6月19日	月	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>			

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

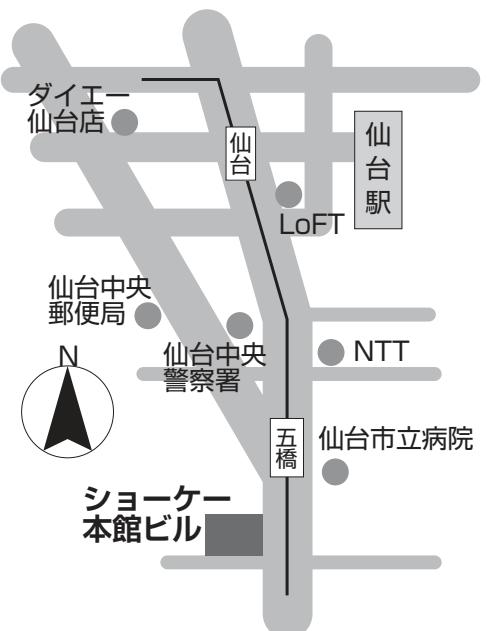
講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単位 開 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オープ 講			
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件				
F8A1	英 語 G	一條 祐哉	1	C10100	英 語 I	1年	I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。	×				
				C10200	英 語 II							
				C10300	英 語 III	2年						
				C10400	英 語 IV							
F8A2	商 法 II	松嶋 康尚	2	K30600	商 法 II		2年					
F8A3	英米文学特殊講義	高橋 利明	2	N31200	英米文学特殊講義		2年		×			

仙台

ショーケー株式会社
(本館ビル)

仙台市青葉区五橋2-11-1

- ・地下鉄五橋駅から徒歩1分
- ・JR 仙台駅から徒歩15分



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆論理的に英語を読むための基礎力養成

〔英語 G〕

オープン受講：不可 担当者：一條 祐哉

◆学修到達目標 英語の文章構造や論理展開のパターンを学び、予測しながら文章を読み、要点をつかむことができるようになることを目標とします。（易しめの教科書なので、ある程度英語の力がある方や、読み応えのあるものを読みたい方は他のクラスの受講をお勧めします。）

◆授業方法 パラグラフごとに和訳、内容確認の質疑応答をします。その後、練習問題や要約などのアクティビティを行う予定です。（下の授業計画通りに進まないこともあるのでご了承下さい。）

◆準備学修 各チャプターの Vocabulary で単語を確認し、Reading Analysis セクションの問題を解きながら本文を読んでおいて下さい。分からぬ単語や文法事項があれば、辞書や文法書等で調べておいて下さい。それでも分からぬ場合は具体的にどのように分からぬのか、メモをして授業時の質問に備えて下さい。余裕があればノートに本文の和訳を書いておくといいでしょう。

◆履修条件 平成 27 年度地方スクーリング（7 月期・名古屋）「英語 I～IV」との積み重ね不可

◆授業計画〔1日目：480 分、2日目：510 分、3日目：360 分〕

1日目	・ガイダンス ・Chapter 1 Learning a Second Language ・Chapter 4 The McCaugheys: An Unusual Family
2日目	・Chapter 5 The Importance of Exercise for Children ・Chapter 7 Margaret Mead: The World Was Her Home ・Chapter 9 The Origin of the Moon
3日目	・Chapter 11 Clues and Criminal Investigation ・(予備) Chapter 6 The New York City Marathon: A World Race ・筆記試験

◆教科書 丸沼『Reading Base—Skills for Academic Success（読解入門のためのリーディングスキル）』
山科美和子・横山三鶴・沖野泰子編 センゲージ・ラーニング 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 英和辞書を必ず持参して下さい。電子辞書も可。ただし、携帯電話、スマートフォン、PC、タブレット等の使用不可。

◆成績評価基準 授業参画度（30%）、筆記試験（70%）

◆会社法の基本を学ぶ

〔商法 II〕

担当者：松嶋 康尚

◆学修到達目標 会社法に関する基本的な法知識の習得を目的とする。

税との関わりなど実務に関連する部分も、適宜取り上げていきたい。

◆授業方法 授業は講義形式で行っていく。

条文の確認は適宜行いたいので、六法は必ず持ってくること。

出席は毎回取る。

◆準備学修 本授業の対象となる会社とはどういうものか、自分なりに知識・イメージを持っておくことにより、学習の理解がより進むであろう。新聞等で会社をとりまく経済記事をチェックすることも有用であるが、経済小説・企業小説を読んで会社に対するイメージをある程度持つておくと学習に入りやすいであろう。

◆授業計画〔1日目：480 分、2日目：510 分、3日目：360 分〕

1日目	①ガイダンス、②会社制度の存在意義、③株式会社における株主の地位、株式に関する諸問題
2日目	④株主総会、⑥取締役・取締役会、⑦役員報酬規制、⑧監査役・監査役会、⑨会計参与・会計監査人 ⑩委員会設置会社、⑪役員の責任と責任追及
3日目	⑫小規模会社における会社債権者保護、⑬設立手続、⑭定款、⑮持分会社、⑯組織再編、⑰試験

◆教科書 丸沼『会社法講義 30 講』 松嶋隆弘編著 中央経済社 3,780 円（税込）（送料 350 円）
最新版（2017（平成 29）年版）の六法（出版社は特に指定しない）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 ①平常点（10%）、及び、②試験の採点結果（90%）を総合して評価をする。
なお、毎回出席することを前提とする。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆『緋文字』と「処刑台」というロマンスの磁場 【英米文学特殊講義】

オープン受講：不可 担当者：高橋 利明

◆学修到達目標 ナサニエル・ホーリー（1804 – 64）の代表的傑作『緋文字』（1850）を三つの「処刑台」のシーンを中心に分析・考察することによって、学生はこの作品の本質的な重要性を理解し、それぞれの感性に基づく持論を自分の言葉で小論文にまとめる力を涵養することができる。

◆授業方法 講義科目ではあるが、作品の理解を深めるために輪読による読解を中心に授業を進め、各自の精読に基づいて提起された問題点などを議論したい。また、適宜、ビデオ鑑賞等によってさらなる解釈の深化を目指す。（なお、授業進度は予定である。）

◆準備学修 指定したテクストを、事前に辞書を丹念に引きながら精読しておくこと！

◆授業計画【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	第一の「処刑台」のシーンである Ch.1 "The Prison-Door," Ch.2, "The Market-Place," Ch.3 "The Recognition" (p. 45-p. 67) を読解する。 予習箇所 : pp.45-46; p.51 I.13-p.52 I.7; p.54 I.7-I.16; p.65 I.15-I.30
2日目	第二の「処刑台」のシーンである Ch.12 "The Minister's Vigil" (p. 146-p.157) を読解する。 予習箇所 : p.152-p.154 I.30
3日目	第三の「処刑台」のシーンである Ch.23 "The Revelation of The Scarlet Letter" (p.248-p.257) を読解する。 予習箇所 : p.252 I.18-p.253 I.17; p.255 I.28- p.257 授業内試験（英文解釈と小論文 [2,000字程度]）

◆教科書 『The Scarlet Letter』 Nathaniel Hawthorne Cambridge: The Belknap Press of Harvard UP, 2009 ISBN: 978-0-674-03574-4 (pbk.) Amazon 等で入手可能。

◆参考書 使用しない。

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表など）と最終日の試験により総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 6月期 大阪

日 程	授 業 時 間	備 考
6月17日 土	9:30~18:30	
6月18日 日	9:00~18:30	
6月19日 月	9:00~16:00 <試験も含む>	※時間内に昼休みを設けます。

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
F8B1	国 文 学 概 論	近藤 健史	2	M20200	国 文 学 概 論		条件 参照	・国文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
F8B2	英語学概説 B	真野 一雄	2	N30700	英 語 学 概 説		2年		
F8B3	倫 理 学 概 論	江川 晃	2	P30500	倫 理 学 概 論		2年		
F8B4	金 融 論 B	谷川 孝美	2	R31800	金 融 論		2年		

大阪

近畿大学東大阪キャンパス

東大阪小若江3-4-1

- JR・近鉄大阪線「長瀬」駅から徒歩約10分
- 近鉄奈良線「八戸ノ里」駅から徒歩約20分

近鉄大阪線・長瀬駅からの経路



近鉄奈良線・八戸ノ里駅からの経路



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講定の
5月 東京
5月 東京
6月 東京
7月 東京
6月 仙台
6月 大阪
7月 札幌
7月 名古屋
7月 福岡
月夜間
火夜間
水夜間
木夜間
金夜間
申込方法の
許可と不許可の
受講料の
受講準備の
受講及び
学生生活の
オープン
各種用紙
付録

講座内容（シラバス）

◆難波万葉を学ぶ

〔国文学概論〕

担当者：近藤 健史

◆**学修到達目標** 難波における万葉歌やその背景となる難波の歴史を学ぶ。実際に難波宮跡や発掘した木簡などを見ることで、文学とその周辺の学問との関係を考える力を養うことを到達目標とする。

◆**授業方法** 難波万葉歌や難波の歴史について講義する形式をとる。また理解を深めるため、校外学修として難波宮跡、歴史博物館、住吉大社を見学する。

◆**準備学修** 難波の歴史について学んでおいて欲しい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	難波宮の歴史を学ぶ (1) 日本書紀、続日本紀の時代 (2) 万葉集の時代
2日目	難波万葉の歌を学ぶ (1) 難波の歌、住吉の歌 (2) 校外学修（難波宮跡、大阪歴史博物館、住吉大社）
3日目	難波万葉を学ぶ (1) 校外学修の報告、討論 (2) まとめ

◆**教科書** 全歌が収められている万葉集ならどこの出版社でも可。

◆**参考書**『難波宮と難波津の研究』直木孝次郎 吉川弘文館 2009年
 『万葉の歌一人と風土 5. 大阪』井村哲夫 保育社 1986年
 (両書とも古本、低価格です)

◆**成績評価基準** リポート80%，討論20%

◆英語学の基本を学ぶ

〔英語学概説 B〕

担当者：真野 一雄

◆**学修到達目標** 英文学専攻の学生として必要な英語学の知識を修得します。

◆**授業方法** テキスト本文の解説、補足説明を行います。必要に応じて担当講師が用意する練習問題を行います。

◆**準備学修** 毎回、テキストを読み、理解できるところ、できないところを自覚しておいてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	第7章 意味論
2日目	第8章 語用論
3日目	第9章 情報構造 試験+その解説

◆**教科書** **通材**『英語学概説 N30700』通信教育教材（教材コード 000400）3,100円（送料込）
 (この本は市販の安藤貞雄・澤田治美編『英語学入門』開拓社と同じです)

◆**参考書**他の英語学入門書、概説書なら何でも結構です。

◆**成績評価基準** 試験（100%）で評価します。（試験は途中退出なしです）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆生命・脳・技術の倫理学

〔倫理学概論〕

担当者：江川 晃

◆学修到達目標 私たちの生活に応用されている科学・技術と人間社会との間に生じた摩擦が、新たな倫理的問題を惹き起こしている。そこで、現代の応用倫理である生命倫理・再生医療・脳倫理・トランプサイエンスの具体的問題について考え、「技術と社会の関係」を深く洞察する批判的能力を養うことを目標とする。

◆授業方法 毎回、皆さんの質問・感想・意見等を書いていただきます。次の授業で、それについてコメントし、討論をしましょう。

◆準備学修 教科書の該当個所を、授業前によく読んでおいてください。皆さんの意見も時々聞いて、対話型の授業にしようと思います。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 アリストテレスの倫理学 2 カントとベンサムの倫理学 3 現代の倫理思想（リバタリアニズム） 4 生命倫理の問題（1）ヒトゲノムの倫理的問題
2日目	(2) 人工授精とデザインナベビー (3) 代理母出産 (4) 出生前診断と選択的中絶 (5) 脳死・臓器移植 (6) 安樂死と緩和医療 (7) ヒト・クローン・ES細胞・iPS細胞の倫理
3日目	5 脳倫理 (1) 脳科学と生命倫理 (2) 脳に自由意思はあるか 6 トランプ・サイエンスとは何か (7) 資本主義に徳はあるか 8 試験

◆教科書 丸沼『生命倫理について考える』 江川晃・嘉吉純夫・葭田光三著 文眞堂 1,782円（税込）（送料300円）
【当日資料配付】プリントを配布します。

◆参考書 授業で紹介します。

◆成績評価基準 試験（50%）、授業状況（50%）

◆中央銀行の機能と役割を学ぶ

〔金融論 B〕

担当者：谷川 孝美

◆学修到達目標 最近、日本銀行が実施した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」など、非伝統的金融政策が話題になっています。この講義では、わが国の中央銀行である日本銀行の機能や役割に関する、物価の安定のために実施される金融政策について、その基礎的知識や理論を学び、理解することを通じて、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆授業方法 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。講義の進行状況によっては授業計画が前後することもあります。なお、貨幣の定義や金利、金融制度などの詳細については取り扱いません。

◆準備学修 金融政策を理解するためには、経済学の基礎が重要になります。受講前準備として、マクロ経済学の基礎、および貨幣の定義や金利、金融制度なども確認すること。なお、理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックス、専門用語などを参考書等で事前に調べておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	①貨幣の定義、②長短金利の決定、③銀行など金融仲介機関と信用創造。 ※金融政策などを理解するための前提として、貨幣の定義や金利の決定の概略など、金融論における基礎的な事柄を確認します。
2日目	①日本銀行の機能、②伝統的な金融政策（オペレーション、基準割引率および基準貸付利率の変更、預金準備率操作）、③金融政策決定会合と金融調節、④最後の貸し手。 ※日本銀行は、物価の安定と金融システムの安定を目的としています。その目的を果たすための役割、機能について学びます。
3日目	①ゼロ金融政策、②量的緩和政策、③異次元の金融緩和政策、④貨幣数量説、IS-LM分析、⑨講義のまとめ。 ※近年の非伝統的金融政策および金融政策に関する基礎理論について学びます。

◆教科書 【当日資料配付】当日プリント配布。

◆参考書 通材『金融論 R31800』 通信教育教材（教材コード 000540）金額未定

丸沼『ベーシックプラス 金融論』 家森信善 中央経済社 2,376円（税込）（送料300円）

丸沼『日本銀行の機能と業務』 日本銀行金融研究所編 有斐閣 2,592円（税込）（送料350円）

（日本銀行ホームページ <http://www.imes.boj.or.jp/japanese/pf.html> に同じものがあります）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定の
5月1期 東京
5月2期 東京
6月期 東京
7月期 東京
6仙月期 台
6大月期 阪
7札月期 岐
7名古屋月
7福月期 岡
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の
講座の
許と不許の
申込講座の
受講料の
納入の
受講準備の
受講及び
試験の
学生生活の
オーブン
各種用紙の
付録

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 7月期 札幌

日 程		授 業 時 間		備 考	
7月15日	土	9:30 ~ 18:30		※時間内に昼休みを設けます。	
7月16日	日	9:00 ~ 18:30			
7月17日	月	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>			

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単位 数講 科 目 コード	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オープ 講
				科 目 名	配 当 学 年	受 講 条 件			
F9A1	憲 法	名雪 健二	2	K20100	憲 法	条件参照	・法学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。		×
F9A2	英語学特殊講義 B	吉良 文孝	2	N311S0	英語学特殊講義	×	2年		
F9A3	観光事業論 B	服部 伊人	2	S32000	観光事業論		2年		

札幌

NTT 北海道セミナーセンタ
札幌市中央区南 22 条西 7 丁目

札幌市電 「幌南小学校前」徒歩3分
地下鉄南北線「幌平橋駅」徒歩15分
タクシー 札幌駅から約20分



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆憲法を考える

【憲法】

オーブン受講：不可 担当者：名雪 健二

◆学修到達目標 憲法は、国家の在り方を規定した基本法である。したがって、われわれが国家生活をしていく上で、憲法をすることは極めて重要である。

憲法を学ぶことで、憲法とは何かを知ることができ、また、憲法の規範論理的構造を理解することで、現代の複雑な憲法現象を統一的に、かつ、原理的にとらえることができる。

◆授業方法 憲法の解釈論が中心となる。また、生きた憲法を理解するために、判例を取り上げる。そのための資料として、授業に関連する判例を配布する。

◆準備学修 3日間の授業計画が記載されているので、授業を理解する前提として、教科書をよく読んでおくこと。授業範囲内における専門用語については、法学（法律学）辞典を引き、その意味を正確に理解しておくこと。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	憲法の学び方、憲法の概念、憲法の分類、日本国憲法制定の法理、日本国憲法の構造、日本国憲法の基本原理、天皇、基本的人権—人権総論
2日目	基本的人権（精神的自由権）、国会の憲法上の地位、衆議院の解散、議院の権能（自律権、国政調査権）、内閣総理大臣の憲法上の地位・権能、違憲審査権
3日目	基本的人権（経済的自由、人身の自由）、社会権、国会の権能（憲法改正）、内閣の総辞職、総括

◆教科書 丸沼『日本国憲法』 名雪健二 有信堂 3,780円（税込）（送料350円）

◆参考書 『三訂日本国憲法要論』 廣田健次 南窓社

〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい。〉

丸沼『憲法第6版』 芦部信喜・高橋和之補訂 岩波書店 3,348円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 授業態度・小テスト（1回）・スクーリングの最終試験により総合的に判断する。

◆テンス、アスペクト、モダリティを知る

【英語学特殊講義 B】

担当者：吉良 文孝

◆学修到達目標 次の2つを本講座の学修到達目標とします。①「時制」（Tense）、「相」（Aspect）、「モダリティ」（Modality）についての基本的な概念を理解すること。上記3領域の概念理解を通して、②ことばの世界に存在する大原則である「意味とかたちに見られる一対一の対応関係」、すなわち、「かたちが違えば意味が違う、意味が違えば必ずかたちが異なる」という原則を実感すること。

◆授業方法 配付資料による講義形式。（配付資料内にある文献を適宜読むことによって一部演習形式も取り入れます。）

◆準備学修 特にはりませんが、上記3領域に関する概論書を予め読んでおくと、講義内容に対するより早くてより深い理解がえられると思います。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	「時制」（Tense）と「時」（Time）の異同、関係性」、「F.R. Palmerによる動詞句の連鎖表」、「Quirk et al. (1985) の当該箇所輪読」、「モダリティの立場から見た（単純）現在時制の表わす意味」などについて論じます。
2日目	「相」（Aspect）の1つである「進行相」（Progressive Aspect）について論じます。 具体的には、Z. Vendler (1967) に基づく動詞の（語彙アスペクト）分類、進行形で用いられる場合の状態動詞と動作動詞の振る舞いの違い、知覚動詞構文などについて論じます。
3日目	「相」（Aspect）の1つである「完了相」（Perfective Aspect）について論じます。 具体的には、「現在との関わり（current relevance）」から見た現在完了形、「完了形と過去時制の違い」、「完了形（存在用法）に見られる主語制約」、そして「Before 節における過去完了形の意味」などについて論じます。

◆教科書 丸沼『英文法解説（改訂三版）』 江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料350円）

◆参考書 授業中に適宜紹介します。

◆成績評価基準 授業への取り組み・最終日試験により総合的に判断します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月東京1期
5月東京2期
6月東京期
7月東京期
6月仙台期
6月大阪期
7月札幌期
7月名古屋期
7月福岡期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の許可と不許可
申込講座の受講料の納入
受講準備の試験及び
学生生活の愛講聞問のオープン
各種用紙付録

◆観光と地域社会の活性化

【観光事業論 B】

担当者：服部 伊人

◆**学修到達目標** 地域の活性化策の一つとして観光振興が注目されている。観光によって交流人口を増やし雇用や経済の拡大などで地域に賑わいを創ることにある。しかし観光者の個人化、多様化した志向、流行の変化の激しさ、インターネットなど情報環境の変化に伴い情報伝達も多様化している状況下で適切な誘客戦略が求められる。観光者に訪れたい地域として選択されるには個性的な魅力を創ることが求められる。そのための観光戦略が考えられるようになることを目的とする。

◆**授業方法** この授業は講義形式で行います。観光事業は、人々の観光行動や社会の観光活動を支援し活発にするための種々の行為便益を組織的・継続的に提供するのが目的である。講義では観光の基礎知識や形態の変化、観光の人間や社会への効果や影響、国や自治体の観光政策の変遷について学ぶ。さらに観光立国を目指して、さらに2014年末からの地方創生への取り組みとして観光振興が展開されており、そうした地域の観光振興、インバウンド観光への取り組みなどについて考察をする。

◆**準備学修** 2004年の「観光立国宣言」のもとでの地方創生策に受けて、各地で観光による地域活性化を進めようとしている。しかし、観光振興も限られた予算、舵取りをする人材の不足、地域内のステークホルダーのバラバラな取り組みなどで厳しい状況にある。観光振興を進めるためには地域の自己分析、他地域との差別化などの誘客戦略にもとづいた客観的な対応が求められる。とくにこの地域おこしや観光まちづくりでは住民の主体的な取り組み（住民参画）が重視されている。ご自身の居住する地域の観光による地域創生やまちづくりの資料を収集して現状と課題について整理しておいて下さい。なお、後期スクーリングから受講する方は参考書の第2・3章を事前学習しておいて下さい。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	観光の効果、観光ビジネス（観光事業と観光産業）の意義と特性、新たな観光、MICE事業、観光需要の平準化 ※観光ビジネス（観光事業や観光産業）の意味やその業種・分類及びサービス特性、また観光者の関心から生まれた新しい観光、近年、行政が力点を置くイベント・コンベンションの意義や文化社会的、経済的效果について学ぶ。
2日目	観光と地域創生—地域の現状把握と観光振興計画の策定、生活文化や文化財の保存と活用、デ・マーケティング インバウンドの展開、広域型観光の展開 ※地域創生に向けて既存の観光地だけでなく、観光に消極的であった地域も積極的に観光へ取り組みをする動きが顕著になっている。観光で地域の活性化を進めるための方法、観光資源のない地域でも観光に取り組める生活文化観光、インバウンド観光と日本文化・文化財の保存と活用について学ぶ。
3日目	観光と地域創生—滞在型観光の展開、地域ブランドへの取組み、観光振興展開の人材・組織 ※観光立国、地域創生にむけて既存の観光地だけでなく、観光に消極的であった地域も積極的に観光の展開を進めている。国が進める滞在型観光への地域の取組み、ブランド化による観光促進、観光振興のための組織や人材の育成について学ぶ。

◆**教科書** **【当日資料配付】** 当日プリント配布

◆**参考書** **通材『観光事業論 S32000』** 通信教育教材（教材コード 000417）2,050円（送料込）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み・テストなどにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

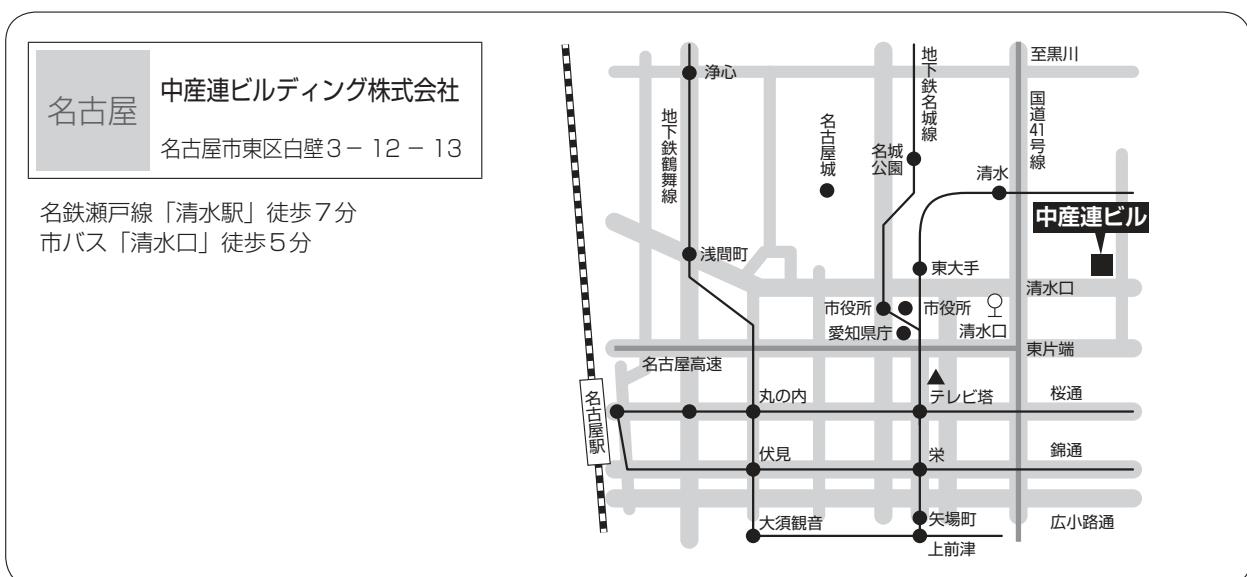
地方 7月期 名古屋

日 程	授 業 時 間	備 考
7月15日 土	9:30~18:30	
7月16日 日	9:00~18:30	
7月17日 月	9:00~16:00 <試験も含む>	※時間内に昼休みを設けます。

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
F9B1	経 済 学	大塚 友美	2	B11800	経 済 学		1年		
F9B2	英語学演習 C	秋葉 倫史	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
F9B3	日本史概論／ 日本史概説	鍋本 由徳	2	K32200	日本史概論		2年	<ul style="list-style-type: none"> ・法学部のみ申込可。 ・文理・経済・商学部のみ申込可。 	
				Q30200	日本史概説				



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 期
7月 東京 期
6月 仙台 期
6月 大阪 期
7月 札幌 期
7月 名古屋 期
7月 福岡 期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込講座の方法
許可と不許可
受講料の納入
受講準備
受講及び試験
学生生活の愛護問題
オーブン
各種用紙付録

講座内容（シラバス）

◆経済学の基本的潮流を理解する

【経済学】

担当者：大塚 友美

◆学修到達目標 経済理論（ミクロ理論とマクロ理論）を体系的に把握することにより、①今日の日本経済が置かれている状況を冷静に分析して、②我が国の経済が克服すべき課題を明らかにし、③その将来の動向を考察するための能力を獲得することを目的とする。

◆授業方法 授業は、基本的に講義形式で行うが、質疑応答を中心に進める。また、様々な資料やシミュレーション結果などを、配布資料やスライドなどを通じて紹介する。これらにより、日本経済が直面している問題などを自らの力で考えるための手掛けり得られるはずである。

◆準備学修 「経済学」と「世界史」に関する教科書等を通読しておくことが望ましい。

◆授業計画 【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	経済学は、ミクロ経済学とマクロ経済学から成る。本講義においては、まず、ミクロ経済学の基本について講義を行い、経済を構成している市場・家計・企業（独占企業も含む）について理論的考察する。
2日目	本講義では、次に、マクロ経済学の基本について講義を行う。ここでは、ケインズの「有効需要の原理」、景気変動、経済成長、サプライサイド・エコノミクス（供給重視の経済学）といったテーマを扱う。
3日目	上記の講義を踏まえた上で、今日の日本が直面している「経済の成長・発展と少子高齢化」といった経済問題を考察する。機材などの条件が整うならば、シミュレーション結果をも紹介したい。

◆教科書 通材『経済学 B11800』通信教育教材（教材コード 000450）1,950円（送料込）

◆参考書 丸沼『実験で学ぶ経済学』大塚友美 創成社 2005年 2,808円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表や提出物など）とテストを基に、総合的に判定する。

◆言語変化のメカニズムを学習する

【英語学演習 C】

担当者：秋葉 倫史

◆学修到達目標 多種多様なことばに触れる機会がある現代において、ことばの変化を実感したことがある人も少なくないと思います。それでは、ことばはどういう変化していくのでしょうか。本授業では、Hopper and Traugott (2003) *Grammaticalization* を中心に、言語の変化を説明する学問領域である「文法化」について学習します。文法化の基本的知識と変化の方向性を確認し、その考えを基に、実際の英語の通時的变化について説明できるようになることを目標とします。

◆授業方法 基本的に演習形式で授業を進めます。文献を読む際は、受講生を指名し、日本語訳や要約を発表してもらい、その後解説を加える形をとります。並行して、古い英語と現代英語を比較し、実際の文法事項の変化を観察することも取り入れます。適宜、ペアワーク・グループワーク等で考察、議論を行う予定です。なお、必要に応じて、内容・進度は調整することもあります。

◆準備学修 本授業では英語史にかかわる内容を扱うため、英語史の知識があるとより理解が深まります。下記に示す参考書等を基に、英語史に関する、また同様に文法化に関する基礎知識を確認しておくことが求められます。なお、事前に配布された資料は目を通し、内容を確認しておくようにしてください。

◆授業計画 【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	1. ガイダンス 2. 文法化のメカニズム（1） — Ch. 1 Some preliminaries を読む
2日目	1. 文法化のメカニズム（2） — Ch. 3 Mechanisms: reanalysis and analogy を読む
3日目	1. 英語の文法変化を学習する — 一個別の文法項目（冠詞・助動詞・非人称構文・語順等）の変化について考察する 2. 試験

◆教科書 事前資料送付 事前に授業プリントを配布します。

◆参考書 丸沼『英語史入門』橋本功著 慶應義塾大学出版会 2,592円（税込）（送料300円）

丸沼『文法化する英語』保坂道雄著 開拓社 1,944円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 試験（50%）、授業内の取り組み（50%）を総合的に評価します。ただし、全出席を前提とします。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆天下餅と中京の歴史

(日本史概論／日本史概説)

担当者：鍋本 由徳

◆**学修到達目標** 専攻分野として日本史を考えている人、教壇に立って日本史を教える人を対象に、歴史の着眼点、研究視角などを紹介します。本講義では、中世後期から近現代までの日本の歩みを学ぶとともに、会場である名古屋の歴史を織り交ぜながら、日本史・地域理解能力の向上を目指します。

◆**授業方法** 原則として講義形式です。全日通して、テキスト・プリントを使って講義します。受講生数により、近隣施設の巡見を実施することがあります（実費負担あり）。巡見実施の場合、最終試験の他、巡見レポートを課します。

◆**準備学修** 高校日本史のレベルは最低限学修しておいてください。キーワードは歴史事典などで調べてください（受験用語集は不可）。集中スクーリングですので、準備のみならず、復習を念入りにおこなってください。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	○天下一統をめざす大名と江戸時代 戦国時代～江戸時代までを集中的に学びます。 【主要キーワード】 三河と尾張、天下餅、天下一統、織豊政権、尾張宗春
2日目	○幕末維新の動乱から大正デモクラシー 主に政治史を中心に学びます。午後は名古屋市内の施設見学を予定。 ※史跡巡見学修を実施しない場合は、明治時代の外交を扱います。 【主要キーワード】 足助騒動、自由民権運動、大正デモクラシー、米騒動
3日目	大正～昭和時代 対外戦争の国民生活への影響を中心に学びます。 【主要キーワード】 大戦景気、添田唾然坊、軍国紙芝居

◆**教科書** 通材『日本史概論／日本史概説 Q30200』 通信教育教材（教材コード 000382）2,550円（送料込）
〈この教材は市販の『概論 日本歴史』佐々木潤之介著（吉川弘文館）と同一です〉
[当日資料配付] 参考プリントを初日に配布します

◆**参考書** 丸沼『愛知県の歴史』 三鬼清一郎他 山川出版社 2,592円（税込）（送料 350円）
※購入義務はありません

◆**成績評価基準** 最終試験（100%）（巡見実施の場合は、試験 70%+リポート 30%） 全日出席で 100% の評価対象となります。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定の
5月1期 東京
5月2期 東京
6月期 東京
7月期 東京
6仙期 仙台
6大月期 大阪
7札月期 札幌
7名月期 名古屋
7福月期 福岡
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法
講座の
許可と不許可
申込講座の
受講料の
納入
受講準備
受講及び
試験
学生生活の
受講
オーブン
各種用紙
付録

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

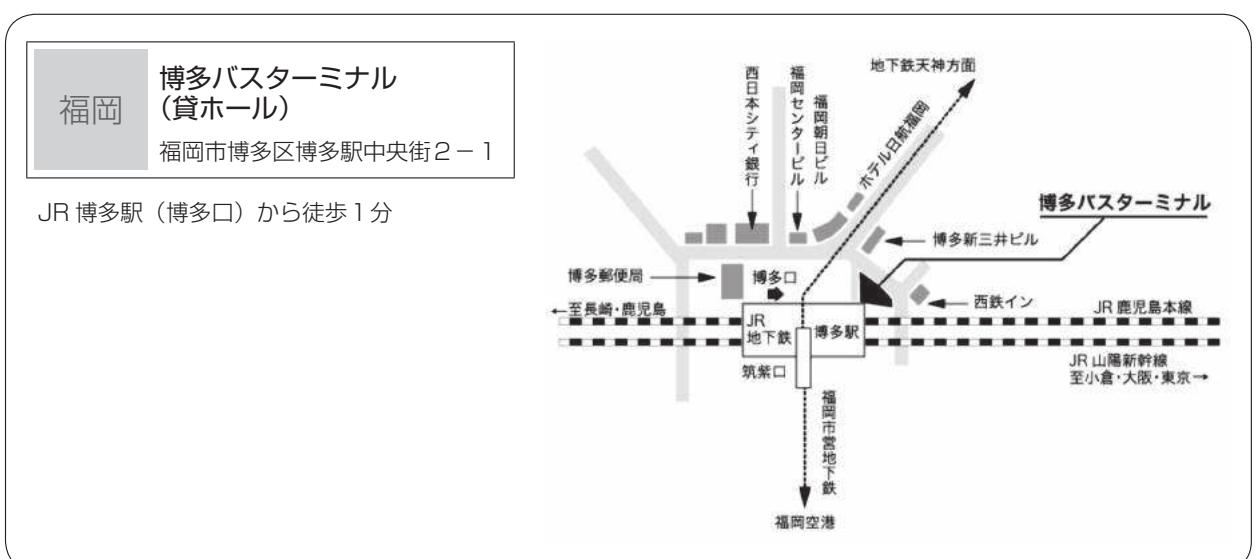
地方 7月期 福岡

日 程		授 業 時 間		備 考	
7月15日	土	9:30 ~ 18:30		※時間内に昼休みを設けます。	
7月16日	日	9:00 ~ 18:30			
7月17日	月	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>			

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単位開 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オー プ 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
F9C1	文 学	近藤 健史	2	B11300	文 学		1年		
F9C2	スピーチコミュニケーションⅠ	リチャードキャラカー	1	N30900	スピーチコミュニケーションⅠ		2年		
F9C3	日本経済論	飯島 正義	2	R31000	日本経済論		2年		



注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆現地で遣新羅使歌を学ぶ

〔文学〕

担当者：近藤 健史

◆学修到達目標 万葉集に収められている天平8年（736）新羅に遣わされた使人たちの筑紫での歌を学ぶ。8世紀の万葉びとは、筑紫をどう見ていたのかなどを考える力を養うことを到達目標とする。

◆授業方法 万葉集巻15にある145首の遣新羅使歌を読む。また関連する万葉歌碑や福岡市博物館の見学を校外学修として予定している。なお校外学修後に報告会をする。

◆準備学修 筑紫国の歴史を学んでおいて欲しい。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	1. 遣新羅使について学ぶ 2. 遣新羅使歌を読む
2日目	1. 遣新羅使歌と筑紫 2. 校外学修
3日目	1. 遣新羅使関連の歌碑 2. 報告会, 討論 3. まとめ

◆教科書 『万葉集』巻15の遣新羅使歌が収められているもの。

◆参考書 『エリア別全域ガイド 福岡市歴史散策』 海鳥社 2007年
(上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい。)

◆成績評価基準 リポート80%, 報告・討論20%

◆ Conversational and Interactional Skills (スピーチコミュニケーションI)

担当者：リチャード キャラカー

◆学修到達目標 Students will learn effective methods of conversation and interaction necessary for successful communication. The course is designed to focus students' attention on the skills of listening and the strategies and skills of speaking. Fluency, accuracy, conversational, and pronunciation skills will be emphasized, as well as the importance of non-verbal communication.

◆授業方法 Lectures will include warm up discussions and conversations, and a focus on listening, especially on how English is actually spoken with an emphasis on features of natural pronunciation. Students will practice short dialogs to develop their short-term memory. Then students' attention will be drawn to speaking strategies, which will help students overcome the communication difficulties that Japanese learners face. Finally, students will be exposed to new vocabulary and consolidation activities

◆準備学修 Prepare to interact with the teacher and classmates in English.

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	1. Course introduction/Self Introductions: Asking for repetition and clarification 2. Describing where you are from: Locations, sightseeing spots, climate, the economy, using repetition to check what the speaker is saying. 3. Small talk: occupations, hometowns, recent activities, family, using guessing strategies to understand what people are saying, commenting on what people are saying.
2日目	1. Telling a story about a trip: good things and bad things that happen on a trip, things you can do while on vacation, using small comments/sounds to stay involved in a conversation. 2. Describing objects: listening for disappearing sounds and weak vowels, using compensating strategies in a conversation 3. Talking about past experiences, listening for linking sounds, and using paraphrasing strategies to improve conversation
3日目	1. Talking about the immediate future, listening to casual English, using elaboration to stay involved in a conversation 2. Asking for information, guessing meaning of listening passages, and asking Wh and yes/no question as a conversational strategy 3. Test

◆教科書 丸沼『Communication Spotlight Pre Intermediate Speaking Strategies and Listening Skills Split Version B』 2,484円(税込)(送料300円)

◆参考書 なし

◆成績評価基準 Role plays and a short written test

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本経済と地域再生

(日本経済論)

担当者：飯島 正義

◆**学修到達目標** 地域再生の取組みは、高度経済成長期の時代から繰り返し実施されてきたが、第2次安倍政権発足後、新たに「地方創生」が掲げられ、その取組みが始まっている。地方経済の現状がどのようにになっているのか、これまで展開してきた地域政策と「地方創生」政策の違いは何か等、地域が抱える問題について理解を深めることができます。

◆**授業方法** 講義形式。授業は、当日配布するプリントを中心に進めていくが、授業時における理解を確認するために確認プリント等を授業中に行う予定です。

◆**準備学修** 通信教材で関係する部分を予め読んでおくと理解がさらに深まると思われます。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	地域経済の現状 ・地域経済の現状について ・地方自治体の財政の現状
2日目	これまでの地域再生（振興）政策 ・地域間格差と全国総合開発計画 ・地域分散政策から集積政策への転換
3日目	アベノミクスの「3本の矢」と地方創生 ・地方創生策の特徴と課題 ・まとめと筆記試験

◆**教科書** [当日資料配付] 教科書は使用しません。当日授業資料を配布します。

◆**参考書** 通材『日本経済論 R31000』 通信教育教材（教材コード 000499）3,000円（送料込）
(この教材は市販の『日本経済読本（第19版）』金森久雄・大守隆著（東洋経済新報社）と同一です)

◆**成績評価基準** 平常点（取組み・確認プリント等）：40%，筆記試験：60%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

IV 夜間スクーリング

1 開講日程

開講期間	5月15日(月)～7月7日(金)					
授業時間	18:30～21:25					
受講形態	月曜日から金曜日までの各曜日に開講される講座から1講座を選び、同じ曜日の8回の授業を経て、最終日に試験を受けます。 また、すべての講義に出席が求められます。					
授業日程	月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
①：1回目	5月	① 15	① 16	① 17	① 18	① 19
②：2回目		② 22	② 23	② 24	② 25	② 26
③：3回目	6月	③ 5月29	③ 5月30	③ 5月31	③ 1	③ 2
④：4回目		④ 5	④ 6	④ 7	④ 8	④ 9
⑤：5回目		⑤ 12	⑤ 13	⑤ 14	⑤ 15	⑤ 16
⑥：6回目		⑥ 19	⑥ 20	⑥ 21	⑥ 22	⑥ 23
⑦：7回目		⑦ 26	⑦ 27	⑦ 28	⑦ 29	⑦ 30
⑧：8回目		⑧ 3	⑧ 4	⑧ 5	⑧ 6	⑧ 7

※各曜日から1講座のみの申込みで、最多合計5講座まで受講できます。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1号館
所 在 地	東京都千代田区九段南4-8-28
交 通 案 内	市ヶ谷駅から徒歩3分

※授業講堂は、ポータルサイトにて事前にお知らせします。

3 開講講座

月

火

水

木

金

講座名	担当講師名
行政法 I	長谷川 福造
英語学演習 D	真野 一雄
英米文学演習 C	岩城 久哲
哲学演習 B	中澤 瞳
工業経済論	小林 世治
教育原論／教育の思想	宮島 健次
博物館資料論	大塚 英明

講座名	担当講師名
英語 H	ダレル ハーディ
民法 III	根本 晋一
国文法	鈴木 浩
英作文 I	パトリック マッコイ
宗教学基礎講読	興津 香織
経済史総論	飯島 正義

講座名	担当講師名
法学	高澤 弘明
英語 J	石川 勝
英語 V	小田井 勝彦
商法 I	高岸 直樹
地方自治論 B	山田 光矢
国文学講義 III(中世)	鹿野 しのぶ
証券市場論	高嶋 勝平

講座名	担当講師名
政治学	関根 二三夫
英語 K	北原 安治
英語 L	谷村 航
知的財産権法	三村 淳一
イギリス文学史 I	常名 朗央
現代教職論	古賀 徹
博物館展示論	岡部 幹彦

講座名	担当講師名
英語 M	賀美 真之介
英文法 B	小澤 賢司
西洋史概説／西洋史概論	荒木 洋育
社会政策論／社会政策	齋藤 有里
交通通論	針谷 莊司
教育制度論	安藤 忠
博物館概論	中野 照男

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間
月曜日

授業日	時間	18:30 ~ 21:25							
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3

※以下の月曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ 講 ン
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
B1A1	行政法 I	長谷川 福造	2	K30900	行政法 I		2年		×
B1A2	英語学演習 D	真野 一雄	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
B1A3	英米文学演習 C	岩城 久哲	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
B1A4	哲学演習 B	中澤 瞳	1	P401S0	哲学演習 I	×	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・哲学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 	
				P402S0	哲学演習 II				
B1A5	工業経済論	小林 世治	2	R30900	工業経済論		2年		
B1A6	教育原論／ 教育の思想	宮島 健次	2	T10200	教育原論	×	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 	
				T10300	教育の思想				
B1A7	博物館資料論	大塚 英明	2	Y20600	博物館資料論	×	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の選定
5月東京1期
5月東京2期
6月東京期
7月東京期
6月仙台期
6月大阪期
7月札幌期
7月名古屋期
7月福岡期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座の許可と不許可の受講料の受講準備の試験及び学生生活の愛講聞のオープン各種用紙付録

講座内容（シラバス）

◆行政法の仕組みと行政の諸活動

〔行政法Ⅰ〕

月曜日

オープン受講：不可 担当者：長谷川 福造

◆学修到達目標 本講義は、行政法体系の概要、特にその制度と理論を把握できるようになることを目標としている。行政法Ⅰでは、主に「法律による行政の原理」や行政組織・行政活動を中心に、行政法理論をできる限り平易に説明する。その過程で、行政と行政法に対する関心を深め、行政の仕組みを理解することを目標とする。

◆授業方法 主として講義が中心となります。指定教科書を素材に、関連領域を含めて説明します。基本的に指定教科書『行政法Ⅰ』を最初から順番に進めていく予定です。プロジェクトの使用も予定しています。

◆準備学修 指定教科書『行政法Ⅰ』の該当箇所を読んでください。教科書と六法（小型のもので構いません。最新版を使用してください。三省堂『ディリ一六法（平成29年版）』を推薦します。）を必ず毎回持参してください。授業中に予習・復習に関する指示があった場合は、それに従って準備してください。

◆授業計画〔各170分〕

1日目	(1)ガイダンス (2)行政・行政法とは何か、行政上の法律関係
2日目	(1)公法と私法、行政法の特質 (2)行政法の法源、効力、公法関係の特色
3日目	(1)行政の組織①（行政主体） (2)行政の組織②（行政機関）
4日目	(1)行政の物的手段（公物、當造物、公の施設、公企業） (2)経済的手段。中間テスト
5日目	(1)行政立法（国の行政立法、地方公共団体の自治立法、法律と条例） (2)行政計画と行政処分総論
6日目	(1)行政処分各論①（羈束処分と裁量処分、法律行為と準法律行為等） (2)行政処分各論②（適法な処分と瑕疵ある処分等）
7日目	(1)行政処分各論③（効力の発生と消滅等） (2)行政契約、事実行為、行政調査
8日目	(1)行政指導 (2)最終試験の実施

◆教科書 **通材**『行政法Ⅰ K30900』 通信教育教材（教材コード000051）2,650円（送料込）

通材『行政法Ⅱ K31000』 通信教育教材（教材コード000262）2,150円（送料込）

◆参考書 **因沼**『行政法 第3版（Next教科書シリーズ）』 池村正道編 弘文堂 3,024円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提にします。講義の際に実施する中間テスト（40%）及び最終試験（60%）で総合的に判断します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語学を基礎から学びましょう

〔英語学演習 D〕

月曜日

担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英語という言語がどういう仕組みになっているのか、音、語、文それぞれのレベルで、英文学専攻の学生として必要な知識を修得し、説明できるようになります。

◆授業方法 テキストの解説、補足説明を行い、用例を正しく認識し、理解を深めていきます。必要に応じて担当講師が用意する練習問題を行います。

◆準備学修 重要語、用例については特に注意して、テキストを読み、理解できるところ、できないところを自覚してください。

◆履修条件 平成29年度昼間・土曜スクーリング（前期）との積み重ね不可

◆授業計画〔各170分〕

1日目	第1章 音韻論 1. 母音と母音体系～
2日目	同 4. 音節とモーラ～
3日目	第2章 形態論 1. 形態論とは～
4日目	同 3. 派生形態論のその他の仕組み～
5日目	第3章 統語論 生成文法 1. 句構造
6日目	同 2. 名詞句
7日目	同 3. 移動
8日目	同 4. 生成文法の企て 試験+その解説

◆教科書 丸沼『日英対照 英語学の基礎』 くろしお出版 1,944円（税込）（送料300円）

◆参考書 通材『英語学概説 N30700』 通信教育教材（教材コード000400）3,100円（送料込）
他の英語学入門書、概説書など

◆成績評価基準 受講状況（10%）、試験（90%）で評価の予定。3回以上の欠席者は受験資格を失います。（試験は途中退出なしです）

◆イギリス近現代文学8作品を読み理解する。

〔英米文学演習 C〕

月曜日

担当者：岩城 久哲

◆学修到達目標 辞書を使用しながらも、イギリス近現代文学を読み理解できる。さらに、その内容に関して、自分の考えをプレゼンできる。

◆授業方法 演習形式で授業を進行することを基本とする。名簿順にリーディング、日本語での表現、内容に関してプレゼンを求める。1回に1作品を読む。

◆準備学修 予め教材をわたすので、十分読みこなしてくる。初回の教材に関しては、教務課から送付してもらう。

◆授業計画〔各170分〕

1日目	ディキンズの作品を読む。『大なる遺産』 Chapter I (My father's family name being Pirrip, and ~)
2日目	ハーディーの作品を読む。『幻を追う女』 (When William Marchmill had finished his inquiries for ~)
3日目	コンラッドの作品を読む。『シャドウ・ライン』 Chapter I (Only the young have such moments. I don't ~)
4日目	H. ジェームズの作品を読む。『ワシントン広場』 Chapter I (During a portion of the first half of ~)
5日目	T. S. エリオットの作品を読む。『四つの四重奏』 Burnt Norton (Time present and time past / Are both ~)
6日目	J. ジョイスの作品を読む。『ダブリナーズ』 The Sisters (There was no hope for him this time ~)
7日目	D. H. ローレンスの作品を読む。『狐』 (The two girls were usually known by their sur-names ~)
8日目	G. オーウェルの作品を読む。『はらんを窓辺にかざれ』 (The clock struck half past two. In the ~)

◆教科書 教材プリントなど。それとは別に、各自ペーパー・バックなどを準備しておくのが望ましい。

◆参考書 前もって、近現代イギリス文学の流れを理解しておく。

◆成績評価基準 教務課が定める出席条件を満たすことを前提とするが、毎時間の授業への積極的な参加度（50%）、コメントシート・小テスト・レポート（50%）とする。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆論文を書く準備**〔哲学演習 B〕**

月曜日

担当者：中澤 瞳

◆学修到達目標 本演習は、論文を執筆するために必要と考えられる基本的知識を実践を通して習得することを目標とする。

◆授業方法 講義と演習を組み合わせて行う。場合によっては、小グループを組んで作業を行う。口頭発表、および参加者同士による相互評価を行う。なお、進行具合によっては、授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は、随時授業中に指示する。

◆準備学修 卒業論文で自分が扱う予定の主題を念頭において、授業準備、授業参加をすること。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	ガイダンス・論文の特徴を理解する
2日目	論文の構成を理解する・体裁の整え方を理解する
3日目	主題を形作り、先行研究調査を行う1
4日目	主題を形作り、先行研究調査を行う2
5日目	主題を形作り、先行研究調査を行う3・発表と相互評価
6日目	アウトラインを考える1
7日目	アウトラインを考える2
8日目	アウトラインを考える3・発表と相互評価

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 資料プリントは授業ごとに配布。

◆参考書 なし

◆成績評価基準 授業、グループワークへの参加度、発表（70%）、発表の講評（30%）により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆機械工業の世界

(工業経済論)

月曜日

担当者：小林 世治

◆学修到達目標 工業経済の基礎にある、今日の大量生産システムと「規模の経済性」について、歴史的・理論的に理解することをはじめとして、現在それが市場の変化と対応する技術の発展によって、どのように変化しているか考えます。さらに、大企業優位の「産業体制」にあって、機械工業に特徴的なサプライヤーとして、多くの中小企業がいかに存立しうるか、もみていきます。産業組織論を基軸としながら、より広く各種産業経済について比較検討できる、応用力を身につけることを目標にします。ミクロ経済学の知識をもとに、現実の「市場」を分析することも可能となるでしょう。

◆授業方法 パワーポイントを使い概説します。配布資料はノート形式なので、適宜それにメモをとり、理解を深めてください。毎回レスポンスカードに質問・感想を記入・提出してもらい、次回それに答えます。

◆準備学修 初回に配布する講義レジュメに沿って、専門用語などを調べ、わからないところや疑問点を明らかにしておくこと。

◆履修条件 経済学概論／経済原論／価格理論のいずれかを履修していることが望ましい

◆授業計画 [各 170 分]

1日目	産業構造と産業分類の基本的考え方を学び、「工業」が今日の産業経済の基軸となっていることを理解します。
2日目	産業革命を経て今日の「大量生産」に至る歴史的展開を、技術と「産業体制」の双方からみていきます。
3日目	工業の中でも特に「機械工業」が、現在の大量消費社会を支える産業の中心にあります。その経済性の基礎である「規模の経済」が、いわゆる「装置型」産業で典型的に成立し、機械工業ではより複雑な展開を遂げることを学びます。
4日目	寡占市場においては、市場の飽和に対応すべく「多品種化」が進められ、それを可能にする「範囲の経済」が重要となっています。米自動車工業史において有名なフォード対GMの競争戦略をはじめとして、多品種化の発展を考えます。
5日目	今日、電子制御によるフレキシブルな生産技術と、情報通信技術の飛躍的拡大が結合し、社会構造そのものを転換するME=IC革命が進行中です。それを支える電子機器工業に特徴的な、各種の経済性をみていきます。
6日目	電子デバイス・製品の分野では、急速な技術革新・陳腐化と、激しい市場変化への対応を迫られています。そして、部品の共通化・オープン化や製品設計のモジュール化が進み、今日、国際競争の構図は大きく変わりました。
7日目	機械工業に必要な部品供給を担うサプライヤーの多くは中小企業です。機械工業における社会的垂直分業の全体構造を確認した上で、その日本のシステムとして「下請制度」を取り上げます。系列と下請けの違いにも触れます。
8日目	下請けはアウトソーシングの一種と考えられますが、そこには産業組織論だけでは捉えられない、支配=従属の関係が埋め込まれています。「独占資本主義」論によるアプローチを紹介します。

◆教科書 [当日資料配付] パワーポイント資料を配布します

◆参考書 [丸沼]『産業経済論』 安喜博彦著 新泉社 3,780円(税込)(送料350円)

◆成績評価基準 平常点(発言・課題など) 40%, 最終日試験 60%。毎回の出席を前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆教育思想の源流から21世紀の教育の課題を知ろう【教育原論／教育の思想】

月曜日

担当者：宮島 健次

◆**学修到達目標** 現代の教育、学校制度が西欧キリスト教思想を源流とすることを理解すると同時に、それらがどのような矛盾をはらんでいたのかを理解します。さらに、21世紀を迎えた今、その矛盾が様々な教育問題を引き起こしていることを理解します。この思想的経緯を踏まえ、これから教職を目指す人はどのような資質・能力を身につけなければいけないのかを説明できるようにします。

◆**授業方法** 授業は第1部、第2部の二部構成とします。第1部では、基本的にテキストやサブノートを活用した講義形式で授業を進めていきます。第2部は、受講生を中心としたディスカッションやグループ発表形式で授業を進めていくつもりです。ただし、受講人数によっては、多少の変更があります。それぞれ、ひとまとめの内容を終えた後には、内容理解を深めるために簡単なまとめレポートを課します。

◆**準備学修** テキストを事前に丁寧に読み、専門用語等を理解しておくことが大切です。また現代の様々な教育問題について意識し、情報を収集し、自分なりの分析をしておくことで、講義をさらに深く理解することができると思います。

◆授業計画【各170分】

1日目	ガイダンス 第1部 21世紀の教育・学校・社会の課題（講義1）
2日目	第1部 21世紀の教育・学校・社会の課題（講義2）
3日目	第1部 21世紀の教育・学校・社会の課題（講義3） 第1部のまとめ
4日目	第2部 これまでの教育とこれからの教育（講義）
5日目	第2部 これまでの教育とこれからの教育（ディスカッション1）
6日目	第2部 これまでの教育とこれからの教育（ディスカッション2）
7日目	第2部 これまでの教育とこれからの教育（グループ発表1）
8日目	第2部 これまでの教育とこれからの教育（グループ発表2） 第2部のまとめ

◆**教科書** 丸沼『教育思想のルーツを求めて—近代教育論の展開と課題』 関川悦雄・北野秋男 啓明出版
1,882円（税込）（送料300円）

〔当日資料配付〕 当日プリント配布

◆**参考書** 授業内で紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表等）、まとめレポートにより総合的に評価します。レポートの形式については、授業開始後、改めて受講生に伝えます。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆博物館資料が語るもの

〔博物館資料論〕

月曜日

担当者：大塚 英明

◆**学修到達目標** テーマを「博物館資料が語るもの」と設定し、多様化する博物館資料の保存と活用の在り方について検討するとともに、これを取り巻く今日的な課題を探り、基礎的な能力を構築する。併せて世界遺産の現状と、博物館資料の関係についても言及する。

◆**授業方法** 上記の「目標」を視野に入れて、以下の項目を基軸に講義を基調として、必要に応じて質疑応答を行ない理解の進化を図る。①博物館資料の概念を理解する。②博物館資料の調査・研究を考える。③博物館資料の保存と活用の在り方を考える。

◆**準備学修** わが国の国公私立の博物館・美術館などの公開施設の内、1館を選定して当該館の所蔵する博物館資料を概観し最も関心のある博物館資料について調べておくこと。館案内及び資料の映像を用意しておくこと。授業内で各自の報告を予定している。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	博物館資料とは何か。博物館資料化へのプロセスを探る。
2日目	博物館資料の種類と分野。博物館資料（人文系）の収集。
3日目	博物館資料（人文系）の調査・研究と保存対応。
4日目	博物館資料（自然系）の収集。博物館資料（自然系）の調査・研究。
5日目	質疑応答。課題について各自の報告を行なう。
6日目	画像形成と保存科学的調査の確保。
7日目	展示公開における博物館資料の存在と意義。
8日目	博物館資料の現状把握と今後の課題。世界遺産と博物館資料を考える。

◆**教科書** 〔当日資料配付〕 授業時に関連資料を配布する。

◆**参考書** 授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 出席 20%, 授業内報告 30%, 試験 50%を基準として総合的に評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月1期 東京
5月2期 東京
6月期 東京
7月期 東京
6仙月期 台
6大月期 阪
7札月期 品川
7名月期 名古屋
7福月期 岡山
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座の許可と不許可の受講料の納入の受講準備の試験及び学生生活の愛護問題の受講オーブン各種用紙付録

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 火曜日

時間	18:30 ~ 21:25								
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4

※以下の火曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単位開 数講	充当科目		制限・注意			受オープン 講		
				科目コード	科目名	併用	配当年学年	受講条件			
B1B1	英語 H	ダレル ハーディ	1	C10100	英語 I	1年		・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英語 II						
				C10300	英語 III	2年					
				C10400	英語 IV						
B1B2	民法 III	根本 晋一	2	K30200	民法 III	2年					
B1B3	国文法	鈴木 浩	2	M30300	国文法	2年			×		
B1B4	英作文 I	パトリックマッコイ	2	N30400	英作文 I	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
B1B5	宗教学基礎講読	興津 香織	2	P30100	宗教学基礎講読	2年					
B1B6	経済史総論	飯島 正義	2	R20200	経済史総論	条件参照		・経済学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆ News and Views in English

〔英語 H〕

火曜日

担当者：ダレル ハーディ

◆学修到達目標 Students will improve listening, speaking, and reading skills by studying and discussing current news topics in English.

◆授業方法 Both news articles and videos will be used as learning materials in class. Students will learn a wide range of vocabulary and expressions to discuss current news topics and to give their opinions.

◆準備学修 There are no prerequisites for this course; however, students below TOEIC 500 may find this course very challenging.

◆履修条件 Students are required to attend all classes, complete all three vocabulary quizzes, and give a news and views presentation.

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	Orientation, news article 1; news report 1
2日目	News article 2; news report 2
3日目	Vocabulary quiz 1; news article 3; news report 3
4日目	news article 4; news report 4
5日目	Vocabulary quiz 2; news article 5; news report 5
6日目	News article 6; news report 6; News and views presentation orientation
7日目	Vocabulary quiz 3; news article 7 (presentation practice)
8日目	News and views presentations

◆教科書 当日資料配付 Handouts will be provided.

◆参考書 A dictionary (student's choice)

◆成績評価基準 Vocabulary Quizzes 40%; News Presentation 40%; Participation 20%

◆債権総論

〔民法III〕

火曜日

担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 民法学における債権法と債権総論の位置づけ、債権総論の意義と体系、主要な論点を理解することを目指とする。

◆授業方法 1 受講者数が多いので、担当教員がイニシアチブをとる講義形式を採用する。
2 法改正や新判例の追加等により、シラバス（授業計画）どおりに進まないことがあり得る。

◆準備学修 前回講義時における板書事項を、しっかりと読み直してくること。なお、本講義は板書事項が多いことを、ご承知おきいただきたい。

◆履修条件 根本担当「民法III」との積み重ねは、内容が重複するため不可。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	※民法典の編別、および標準的な基本書の編別に準拠して説明をする。 GD、民法の概念・沿革・体系等
2日目	債権法の体系、総論と各論の関係、債権の意義、物権との関係など
3日目	債権の発生、債権の目的
4日目	債権の効力
5日目	債権の効力
6日目	債権譲渡
7日目	多数当事者の債権債務関係①
8日目	債権の消滅

◆教科書 指定しない。

◆参考書 なし

◆成績評価基準 全回出席を原則として、筆記試験または本講義終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度 20%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月東京1期
5月東京2期
6月東京期
7月東京期
6月仙台期
6月大阪期
7月札幌期
7月名古屋期
7月福岡期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座の許可と不許可の受講料の納入の受講準備の試験及びの学生生活の愛講聞中のオーブン各種用紙付録

◆批判的解説・学校文法

(国文法)

火曜日

オープン受講: 不可 担当者: 鈴木 浩

◆学修到達目標 現在国語教育や一般的な国語辞典で採用されている日本語文法は数ある文法論のなかのひとつで、「学校文法」と呼ばれる。この授業では、学校文法について、成立の背景もふまえながらその特徴を把握してゆく。異説と比較することで、日本語の文法をよりよく説明する考え方を探求し、文法論および日本語についての理解を深化することが目標である。国語教師をめざす受講生には、学校文法の弱点をもわきまえた文法の教えができるようになることも目標に加わる。

◆授業方法 講義に「話し合い学習」を組み合わせる。話し合い学習とは、その回の授業内容に関してその理解を受講生同士が整理・確認しあって合意を形成し、さらにその理解を自分たちなりに運用する、一種の討議である。話し合い学習の結果は「学習記録用紙」にまとめ、フィードバックできるようになる。

◆準備学修 【事前】各回の授業内容を予習する。具体的には、次回分の話題に関する準備的な課題（予習課題）を出すので、それをおこなってくる。なお、1日目の予習課題は開講1週間前をめどに配布する。

【事後】授業内容を補完するプリントを毎回配布するので、それを通読し、理解を確認・修正する。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	授業案内 「学校文法」の背景と位置 話し合い試行
2日目	品詞分類とその問題点——形容詞か、形容動詞か——
3日目	活用論とその問題点——六活用形の論理——
4日目	助動詞とその問題点（1）助動詞か、接尾辞か
5日目	助動詞とその問題点（2）「断定の助動詞」考
6日目	助詞とその問題点——「助詞の省略」（文語文法）——
7日目	構文論とその問題点——「連用修飾語」のうちわけ——
8日目	総括・確認と試験

◆教科書 事前資料送付 当日資料配付 事前または当日、プリントを配布する。

◆参考書 隨時紹介する。

◆成績評価基準 (1) 試験 20%, (2) 予習課題 35%, (3) 話し合いの成果（学習記録用紙の記載内容） 30%, (4) 参加行動 15%。「予習課題」と「学習記録用紙」は上記参照。参加行動とは授業内の自発的な発言・質問等である。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ English Composition I

〔英作文Ⅰ〕

火曜日

担当者：パトリック マッコイ

◆学修到達目標 'Process Writing' involves a lot of group and pair work and your first essay will be a group effort. An important part of 'Process Writing' is group feedback, editing, and revising of your draft copies. Unfortunately some students dislike group work and prefer to work alone. In this course you will have opportunities to do both.

◆授業方法 1. To review paragraph and essay structure and to learn ways of writing effective essays.
2. To learn and use the concept of 'Process Writing' to generate and organize ideas as well as revise writing.
3. to improve writing fluency, accuracy, and expressing thoughts and opinions in English.

◆準備学修 なし

◆授業計画 [各 170 分]

1日目	Orientation; introduction essay on your partner (<i>Getting To Know you</i>); review of paragraph and essay structure; introduction to the writing process.
2日目	<i>Ready To Write More!</i> Chapter 1: Introduction
3日目	Chapter 2: Writing Paragraphs
4日目	Chapter 4: Writing An Essay
5日目	Grading WS, Analysis: Read 2 SAMPLE Essays Peer Edit: Revising WS and Edit WS
6日目	First Essay Due / Chapter 8: Comparison and Contrast Essay
7日目	C & C Essay 1 st draft due, Peer Edit, Student-Teacher Writing Conferences
8日目	Comparison and Contrast Essay Due/ Chapter 11: Expressing Your Opinion

◆教科書 丸沼『Ready to Write 3: From Paragraph to Essay』 Karen Blanchard Christine Root Pearson
ISBN-10: 0131363344 2,905円（税込）（送料 300円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 Class participation: 30% Essays: 70%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆インド人とギリシア人の仏教対話を読み解く [宗教学基礎講読]

火曜日

担当者：興津 香織

◆学修到達目標 『ミリンダ王の問い合わせ』は大乗仏教誕生以前になされたという、インド人の学僧とギリシア人の王との仏教対話であり、仏陀の教えを記録した「經典」ではないものの、内容の面白さ故に仏教の各部派が取り上げたといわれる異色のテキストである。この書の講読を通して仏教の根底にある基本的な考え方や専門用語を学び仏教理解に役立たせる。

◆授業方法 基本的には講義形式で専門用語や背景、要点などを解説しながら教科書を読み進める。理解のために資料を配布することもある。受講生にも分担して読んでもらう（発表）。担当者以外にもコメントを求める。

◆準備学修 二回目以降実際に講読していくので、指示した部分を読み、不明な箇所や用語は調べて予習しておくこと。担当者以外にも発表に対するコメントや質問などを求めるので、毎回予習をして臨むこと。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	講義概要：講義の進め方、使用テキストと参考文献の紹介、インド思想史の流れとテキストをめぐる基本情報や位置づけなどを解説。
2日目	序話と第一章：無我説とギリシア的な靈魂観の対比（無我とは何か、ギリシア人の理解の仕方などについて検討する） テキストを読み進めるのに必要な基礎知識、専門用語も解説
3日目	第二章：輪廻、解脱、時間についての対話（輪廻とは何か、無我説は輪廻の觀念と矛盾するのか、輪廻の主体の探求などについて検討する）
4日目	第三章：時間の根本とその始まり、靈魂、形成力、識別作用についての対話（十二因縁について、輪廻と時間、靈魂の捉え方、精神の識別作用などについて検討する）
5日目	第四章：認識の主体と個体における精神作用および涅槃についての対話（認識主体の探求、人間個人にある感覚作用との関係、涅槃などについて検討する）
6日目	第五章：仏陀觀、業、主体の転移についての対話（仏陀の実在の証明、業とは何か、輪廻における主体の転移の探求などについて検討する）
7日目	第六章・第七章：仏教の身体觀、記憶、神通力についての対話（仏陀の身体的特徴、人間の記憶、靈魂と精神作用との区别、死後の再生などについて検討する）
8日目	総括と試験：試験は論述形式。講義や発表内容を踏まえて、各自最も関心の高かったトピックについて掘り下げて自由に論じてもらう。テキストやノートの参照を認める。

◆教科書 **丸沼**『ミリンダ王の問い合わせ インドとギリシアの対決』 中村元・早島鏡正訳 平凡社
2,916 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 講義内において指示

◆成績評価基準 平常点（50%） 試験（50%） 発表やコメント状況などの授業参加の姿勢と最終回に実施する試験による総合評価。一定以上の出席回数（回数は公表しない）がなければ評価はつけない。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆工業化以前の経済社会

〔経済史総論〕

火曜日

担当者：飯島 正義

◆学修到達目標 前近代社会（貢納制社会、奴隸制社会・封建制社会）と近代資本主義社会との違い、前近代社会（封建社会）から近代社会への移行過程について理解を深めることができます。

◆授業方法 講義形式。授業は、当日配布するプリントを中心に進めていくが、授業時における理解を確認するために確認プリント等を授業中に行う予定です。

◆準備学修 通信教材で関係する部分を事前に読んでおいて下さい。また、授業内容が世界史と関連するので高校の世界史の教科書や考書等を事前に読んでおくと授業の理解がさらに深まると思われます。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	経済史分析の視角と方法 ・経済史の課題・対象・方法について学びます
2日目	古代社会 古代オリエント、古代ギリシャ・ローマ社会について学びます。
3日目	中世封建社会の成立 ・西欧の中世封建社会の形成について学びます。
4日目	封建社会の経済構造（1） ・西欧の荘園制、村落共同体の形成と特徴について学びます。
5日目	封建社会の経済構造（2） 西欧の中世都市の形成とギルドについて学びます。
6日目	中世ヨーロッパにおける商業の発展 ・商業の発展、地中海貿易・バルト海貿易について学びます。
7日目	封建社会の動搖・崩壊 ・大航海時代とヨーロッパ経済の変化、プロト工業化について学びます。
8日目	まとめと筆記試験 ・これまでの総まとめを行います。

◆教科書 [当日資料配付] 教科書は使用しません。当日授業資料を配布します。

◆参考書 丸沼『経済史をやさしく学ぶ』 石川治夫 中央経済社 2013年 2,808円（税込）（送料 300円）

丸沼『エレメンタル欧米経済史』 馬場哲他 晃洋書房 2012年 3,024円（税込）（送料 350円）

◆成績評価基準 平常点（取組み・確認プリント等）：40%，筆記試験：60%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月1期 東京
5月2期 東京
6月期 東京
7月期 東京
6仙月期 台
6大月期 阪
7札月期 品川
7名月期 名古屋
7福月期 福岡
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座の許可と不許可
申込講座の受講料の納入
受講準備の試験及び学生生活の愛護問題の受講
オーブン各種用紙付録

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 水曜日

時間	18:30 ~ 21:25								
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5

※以下の水曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数講	充当科目		制限・注意			受オープン講		
				科目コード	科目名	併用	配当学年	受講条件			
B1C1	法 学	高澤 弘明	2	B11500	法 学 (日本国憲法2単位を含む)		1年				
B1C2	英 語 J	石川 勝	1	C10100	英 語 I	1年		・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英 語 II						
				C10300	英 語 III	2年					
				C10400	英 語 IV						
B1C3	英 語 V	小田井 勝彦	1	C10500	英 語 V	2年					
B1C4	商 法 I	高岸 直樹	2	K30500	商 法 I	2年					
B1C5	地方自治論 B	山田 光矢	2	L30800	地方 自 治 論	2年					
B1C6	国文学講義 III (中世)	鹿野 しのぶ	2	M30700	国文学講義 III (中世)	2年					
B1C7	証券市場論	高嶋 勝平	2	S30800	証券 市 場 論	2年					

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆法学の基礎を学ぶ

水曜日

〔法学〕

担当者：高澤 弘明

◆学修到達目標 この授業では、法学的な基礎知識の修得を目的とする。具体的には日本国憲法をはじめに、民法・刑法など、われわれの日常生活に密接に関連する法的事例をあげながら、法学の基礎を講義形式で説明していく。最終的には、法学上問題に関して、自身の見解を述べられるような能力の習得をも目指す。

◆授業方法 講義形式で行う。また理解度を把握するために、レポートを2回提出してもらう。

◆準備学修 新聞を読み、社会の動向を注視すること。特に、紙面で取り上げられた裁判については、事件内容を問わず、熟読しておくこと。初回の授業以降は、前回の復習をすること。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	法学の基礎1（法の意義と価値） 法と道徳、法の妥当性、成文法と不文法、法の体系。 ※なぜ法を守らないといけないのか、そしてその法にはどのような種類があるのかといった法学の基礎を学びます。
2日目	法学の基礎2（法の解釈方法） 文理解釈と論理解釈、拡大解釈と類推解釈 ※条文の読み方には、細かい約束事があります。ここでは法解釈の方法や、特に刑事法に関する法解釈の方法を学びます。
3日目	民法（総則） 権利能力、自然人と法人、行為能力、意思表示 ※民法はわれわれの日常生活に密接に関わる基本法規です。ここでは民法に関する基本原則について学びます。
4日目	民法（債権・物権） 契約の種類、契約自由の法則、財産権の種類 ※民法は物権や債権といった財産権を規定しており、授業ではこれら財産権の概要を学びます。
5日目	刑法（総論） 構成要件該当性、違法性、有責性 ※裁判員制度が導入された今日、一般市民であっても刑法の知識が必要となる場合がでてきました。ここでは刑法に関する基礎理論について学びます。
6日目	刑法（各論） 生命・身体に対する罪、財産に対する罪 ※ここでは殺人罪や窃盗罪といった、刑法が定める個別の犯罪について学びます。
7日目	憲法（人権） 日本国憲法の基本理念、包括的権利、個別的権利 ※ここでは国家の最高法規である日本国憲法のうち、人権論について勉強します。
8日目	憲法（統治） 第9条、統治機関 ※ここでは国会、内閣、裁判所といった統治組織の概要と、昨今、注目を集めている平和主義についても勉強します。

◆教科書 なし。

◆参考書 **丸沼**『プラクティス法学実践教室 I』 高乗正臣他編 成文堂 2,592円（税込）（送料 350円）
丸沼『公法基礎入門』 名雪健二他 八千代出版 2,592円（税込）（送料 350円）

◆成績評価基準 2回のレポートで評価します（100%）。内容的に不充分の場合は再提出を求めます。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆基本的な英語力の底上げ

〔英語 J〕

水曜日

担当者：石川 勝

◆学修到達目標 基本的な英語力を身に着けることを目標とする。文法の説明を行った後で、平易な英文を訳していく。テキストは日本の大学生がイギリスで経験したことが書かれているもので身近に感じられると思う。

◆授業方法 文法の説明を行った後で、テキストを訳していく。一人一人指名して訳してもらうので指定された個所を全訳しておくこと。予習していないと単位は認めない。

◆準備学修 1回目の授業では事前に p.1 ~ 2を全訳しておくこと。2回目以降は前の週に指示された個所を全訳する。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	Unit 1
2日目	Unit 2
3日目	Unit 3
4日目	Unit 4 小テスト
5日目	Unit 5
6日目	Unit 6
7日目	Unit 7
8日目	続き 小テスト

◆教科書 丸沼『二郎のイギリス旅行』 金星堂 1,674 円（税込）（送料 215 円）

◆参考書 英和辞典

◆成績評価基準 皆出席を前提として2回の小テストで成績をつける。

◆英語で短編小説の読解に挑戦

〔英語 V〕

水曜日

担当者：小田井 勝彦

◆学修到達目標 「英語V」は、英文学専攻の学生を対象にし、今後の学科での学習に必要な英語力養成を完成させる授業です。この授業では、まずは文章を正確に読むことを主眼に置きつつ、英語圏の短編小説を2作品鑑賞し、「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」段階へと進むことを目指します。

◆授業方法 受講者に1文ずつ英文を日本語に訳してもらったのち、文構造の解説、内容の解説を教員が行なっていきます。英語をしっかり読んで考えていただくため、作品名は最終日まで伏せますが、最終日に作家と作品の解説をいたします。

◆準備学修 物語の文脈をよく考えながら、辞書をよく引き、プリントの英文を日本語に訳してきて下さい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	ガイダンス（授業の進め方、成績評価についてなど） 1作品目の読解と鑑賞（作品の前半4分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
2日目	1作品目の読解と鑑賞（作品の中盤4分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
3日目	1作品目の読解と鑑賞（作品の中盤4分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
4日目	1作品目の読解と鑑賞（作品の後半4分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
5日目	2作品目の読解と鑑賞（作品の前半3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
6日目	2作品目の読解と鑑賞（作品の中盤3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
7日目	2作品目の読解と鑑賞（作品の後半3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
8日目	まとめ、テスト

◆教科書 事前資料送付 事前にプリントを配布します

◆参考書 なし

◆成績評価基準 試験 70%, 平常点（発表、出席状況など）30% ※毎回出席することを前提としています。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ビジネス法入門～企業活動のルールを学ぶ

〔商法Ⅰ〕

水曜日

担当者：高岸 直樹

◆**学修到達目標** 企業活動に関する法を学ぶことにより、ビジネスの具体的なシーンで、法的な問題を指摘し、その解決の糸口を述べることができるようにすることを目的とします。商法総則・商行為法を中心に、登記、企業会計、契約など企業実務の基礎を修得できます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。また、毎回、授業の最後に論述式の小テストを行います。単なる知識の習得だけではなく、問題点に対し、法律がどのように解決策を提示しているのか考え、説明することが求められます。

◆**準備学修** 授業範囲につき、テキストを一読し、参照する条文を六法で確認してください。具体的な事例につき、図書館等で文献を調べ、検討しておきましょう。なお、小テストは翌週に返却しますので、必ず復習しましょう。

◆**履修条件** 平成26年度以降の春期（夜間）スクーリング「商法Ⅰ」との積み重ね不可

◆授業計画〔各170分〕

1日目	法体系のなかでの企業法制 企業とはなにか、商法の意義、必要性、適用範囲を考えます。
2日目	商人と商行為 商行為とはなにか、商人概念、商人資格の得喪、営業の意義を学びます。
3日目	営業の物的設備1 公示制度としての商業登記、商号の保護の必要性、名板貸を考えます。
4日目	営業の物的設備2 商業帳簿の意義と法的効果、営業譲渡の意義と第三者保護を考えます。
5日目	営業の人的設備 企業取引の補助者を考えます。
6日目	企業と売買取引 企業の売買取引に関する特則について民法の規律と比較し学びます。
7日目	企業取引における注意義務と責任 運送・倉庫・場屋取引に関する規律から、企業取引での注意義務と責任を考えます。
8日目	講義のまとめと試験

◆**教科書** 丸沼『現代商取引法』 藤田勝利=工藤聰一編 3,024円（税込）（送料300円）
レジュメ配布

◆**参考書** 隨時指示します。

◆**成績評価基準** 平常点20%、1回目から7回目までに実施する小テスト20%、最終試験60%。授業に毎回出席することを前提に評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地方自治制度の現状と改革の方向性を探る

(地方自治論 B)

水曜日

担当者：山田 光矢

◆**学修到達目標** 人類の歴史から、家族や集落や地域組織や国家の誕生と発展、地方自治制度の歴史と現状などを、ヨーロッパ諸国と日本の比較や、主権と自治権と人権の関係と地方自治制度の本質の分析を通じて、で明治維新から現在までの日本の地方自治制度の確立と変遷を理解してもらい、日本の地方自治制度改革の歴史、目的、政策の特徴などの分析を通じて、日本の地方分権改革の現状と今後のあり方に対する自分の考えを確立する。

◆**授業方法** 講義形式を中心に行いますが、一方的な講義にならないように、受講生に質問をしたり、受講生の考えを述べてもらったりして、皆さんの知識や理解度を高めていくことを前提にして行います。必要に応じて資料を配布し、受講生の考え方や判断を聞いてそれに答えてもらうような形で講義を進めます。また必要に応じて小テストやリアクションペーパーの提出を求め、皆さんの理解度や興味なども勘案した講義を行います。

◆**準備学修** 日本の地方自治制度改革の必要性とそのあるべき方向性に関する受講生の考えを確立してもらうことを目的にしています。そのためには基礎知識の積み重ねが必要となりますので、少なくとも教科書の関連ある部分に目を通してきてください。また今後のこととも考えてもらいますので、マスコミの地方行政に関する記事に目を通して、今行われている地方自治制度改革の実態や現状に関する知識も身に着けてきてください。

◆**履修条件** やる気さえあればその他の条件は特にありません。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	「take off の原理」を通してみる国家と地方公共団体の関係 国民国家の誕生と地方自治制度、地方公共団体と自治権等
2日目	ヨーロッパの主要国と日本の地方自治制度の比較 発展の歴史および法制度等による相違や選挙等を通してみた地方行政政策の相違等
3日目	ヨーロッパの主要国と日本の地方自治制度の比較 発展の歴史および法制度等による相違や選挙等を通してみた地方行政政策の相違等
4日目	日本国憲法と自治制度 日本国憲法第八章と地方自治制度、地方自治法
5日目	地方自治法と地方自治制度 国と地方公共団体の関係、地方公共団体の種類等
6日目	広域合併と地方自治制度 I 昭和の大合併と全国総合開発計画、広域市町村圏と大都市周辺地域広域行政圏
7日目	広域行政と地方自治制度 II 平成の大合併と定住自立圏・地域自治組織等
8日目	地方自治制度改革の二つの流れ：広域行政の推進とコミュニティ再興 試験

◆**教科書** 丸沼『地方自治論』 山田光矢・代田剛彦編 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）
【当日資料配付】必要に応じて配布します

◆**参考書** 丸沼『政治学』 山田光矢 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）
必要に応じて紹介します

◆**成績評価基準** 試験を 60% 程度、小テストやリアクションペーパー等を 20% 程度、出席や受講態度等を 20% 程度として、総合的に判断して評価します。自主的にレポートを提出した場合には内容に応じて加点します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆徒然草を読む

〔国文学講義Ⅲ（中世）〕

水曜日

担当者：鹿野 しのぶ

◆**学修到達目標** 徒然草とその周辺の作品を読み解き、中世知識人の思想を学びます。特に、作品と執筆された時代背景を関連づけて説明できるようにします。また、作品に登場する人物の生き方について学び、それを記す作者の考えに触れ、現代を生きる私たちに通じる部分について、自らの言葉で説明できるようにします。

◆**授業方法** テキストを用いた講義形式で授業を行うことが中心となります。ほぼ毎回レビューsheetを記入してもらいます。テーマによっては質疑や感想・意見を述べる、また、本文の朗読など受講生が発言する時間を設けます。

◆**準備学修** テキストの解説（423頁～449頁、作者について・作品の成立・伝本について）をよく読んでおきましょう。

◆**履修条件** 意欲的に学ぶ学生の受講を希望します。

◆授業計画〔各170分〕

1日目	『徒然草』の概説 成立時期、諸本について。作者兼好について。
2日目	『徒然草』の説話的章段① 顯基中納言を中心に
3日目	『徒然草』の説話的章段② 仁和寺の法師を中心に
4日目	『徒然草』の説話的章段③ 日野資朝、『太平記』を中心に
5日目	『徒然草』の説話的章段④ 芸能を中心に
6日目	『徒然草』に記される有職故実について①
7日目	『徒然草』に記される有職故実について②
8日目	まとめ 中世の説話伝承と徒然草の世界

◆**教科書** 丸沼『新版 徒然草 現代語訳付』 小川剛生訳注 角川ソフィア文庫 1,166円（税込）（送料215円）

◆**参考書** 講義の中でなるべく多く紹介します。

◆**成績評価基準** 試験（50%）、レビューsheet（20%）、平常点〈積極的な発言など〉（30%）。
毎回出席することを前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆真の証券市場の理解と親近裁の涵養

(証券市場論)

水曜日

担当者：高嶋 勝平

◆学修到達目標 証券市場の全体像を把握し理解する。同時に証券会社で取扱われている金融商品に対する知識を得て、取引の実態も理解する。

◆授業方法 基本は授業計画に沿った講義方式を採用。講義日までの一週間で新聞（特に日経紙）、雑誌等に掲載された証券市場関連記事についての質疑応答。ディスカッション方式。

◆準備学修 証券市場に関する新聞記事、雑誌記事をスクラップしておくこと。

◆授業計画 (各 170 分)

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の方向性について ・証券市場論について ・証券会社について（証券会社の定義）
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・証券会社について（証券会社の業務と機能、実態）
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・証券会社について（証券会社の業務実態） ・〃（取扱う商品：エクイティ、債券）
4日目	<ul style="list-style-type: none"> ・証券会社について（取扱う商品：証券投資信託、デリバティブ、その他） ・中間試験
5日目	<ul style="list-style-type: none"> ・証券会社について（取引の実態：派遣市場、発行市場） ・〃（リスクマネジメント、コンプライアンス等）
6日目	<ul style="list-style-type: none"> ・証券市場における利害関係者（自主規制団体、監督官庁他）
7日目	<ul style="list-style-type: none"> ・証券市場における利害関係者（証券取引所）
8日目	<ul style="list-style-type: none"> ・証券市場を取りまく環境の変遷 ・試験

◆教科書 当日資料配付 通材は内容が旧いため使用しません。

◆参考書 特になし

◆成績評価基準 試験（中間と最終日）の実施：80%

講義時における質問とその内容、ディスカッションへの参加状況を考慮：20%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 木曜日	時間 18:30 ~ 21:25								
		授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
			5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29

※以下の木曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数講	充当科目		制限・注意			受オーブ講ン		
				科目コード	科目名	併用	配当学年	受講条件			
B1D1	政治学	関根 二三夫	2	B11700	政治学		1年				
B1D2	英語 K	北原 安治	1	C10100	英語 I	1年		· I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英語 II						
				C10300	英語 III	2年					
				C10400	英語 IV						
B1D3	英語 L	谷村 航	1	C10100	英語 I	1年		· I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英語 II						
				C10300	英語 III	2年					
				C10400	英語 IV						
B1D4	知的財産権法	三村 淳一	2	K31400	知的財産権法		2年				
B1D5	イギリス文学史 I	常名 朗央	2	N20100	イギリス文学史 I	条件参照		· 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 · 上記以外は2学年以上申込可。	×		
B1D6	現代教職論	古賀 徹	2	T10100	現代教職論	×	2年	· スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
B1D7	博物館展示論	岡部 幹彦	2	Y20800	博物館展示論	×	2年	· スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 月期
7月 東京 月期
6月 仙台 月期
6月 阪大 月期
7月 岐阜 月期
7月 名古屋 月期
7月 岡山 月期
月夜間曜日
火夜間曜日
水夜間曜日
木夜間曜日
金夜間曜日
申込方法
許可と不許可
受講料納入
受講準備
受講及び試験
学生生活
オーブン
各種用紙
付録

講座内容（シラバス）

◆政治を基礎から学びましょう

(政治学)

木曜日

担当者：関根 二三夫

- ◆**学修到達目標** 基礎教育としての講義を行います。議会及び内閣若しくは大統領の動きを見ますと、政治が難しい事のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するものです。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、政治が我々にとって身近な現象であるとの理解を深めます。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。
- ◆**準備学修** 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学修の準備として、メディアの情報に关心を持ち、テキストを参考に各単元2時間程度の予習と、2時間程度の復習が必要になります。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	政治学の変遷、政治の概念 ※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治とは何かを学びます。
2日目	政治の本質、政治権力（概念・構造） ※あるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、政治権力の仕組みを学びます。
3日目	政治権力（支配の手段）、国家（成立の要素・分類） ※支配の典型的な手段、国家を成立させる要素、一定の基準に基づく国家の分類を行います。
4日目	議会政治（沿革・原理）、議会の構成、立法院と行政部 ※議会政治の歴史や議会政治の基本的な考え方、一院制や二院制、議院内閣制や大統領制について学びます。
5日目	選挙制度の原則、選挙区の画定、選挙区制、代表選出の形態 ※選挙の仕組みを支える基本的な原則、選挙区を作成し決定するための基本的な考え方、代表を選出する方法などを学びます。
6日目	政党（概念・特徴・発展過程・機能・問題点） ※政党とは如何なるものか、特徴や沿革、機能や問題点を学びます。
7日目	圧力団体（概念・特徴・活動・問題点） ※圧力団体とは如何なるものか、特徴や活動、問題点を学びます。
8日目	コミュニケーションとリーダーシップ ※コミュニケーションの機能、類型、方向、リーダーの役割について学びます。

◆教科書 通材『政治学 B11700』 通信教育教材（教材コード 0000279）1,850円（送料込）

※議会、内閣、裁判所の統治機構に関する解説、選挙、政党、圧力団体などの政治過程に関する解説に重点が置かれています。

◆参考書 因沼『教養政治学』 岩井奉信・黒川貢三郎・関根二三夫他 南窓社 3,132円（税込）（送料 350円）

※政治学の変遷、政治の概念、統治機構、政治過程などの解説に重点が置かれています。

◆成績評価基準 試験 70%、平常点 30%

※試験同様、質問や理解度テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないよう注意して下さい。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英文の基本構造を理解する

〔英語 K〕

木曜日

担当者：北原 安治

◆学修到達目標 五文型に基づき、英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになることを目標とする。

◆授業方法 予習段階で英文を8行ほどの間隔でノートに写す。その英文の下にS(主語)、V(動詞)などを書いてもらい、訳を付ける。細かく板書するので訳が書き取れないということはない。予習の段階で必ず本文をノートに写していくこと。各色のマーカーなど持ってくると良い。受講者の速度に合わせるので、かならずしも授業計画どおりにはならない。本文のみやり練習問題はやらない。ノート検査は抜き打ちで行うのでかならずノートは書いておく。ノートはルーズリーフでもよいが、必ず書いた分は全てのページを毎回持つて来ておくこと。ノート無きものは単位を与えない。および板書事項を正確にすべて写していないノートは不可とし単位を与えない。第8章から始める。

◆準備学修 予習段階で英文を8行ほどの間隔でノートに写す。板書のときは英文の下に訳を書くが、ノートの見開きの左のページに英文を写し、右のページに訳をつけてても良い。単語を調べてくること。毎回和訳小テストをするので辞書を持ってくること。教科書を毎回持つてくること。教科書を持って来ているか調べる。

◆授業計画〔各170分〕

1日目	第8章（中国）の英文構造と和訳
2日目	第8章（中国）の英文構造と和訳
3日目	第8章（中国）の英文構造と和訳
4日目	第8章（中国）の英文構造と和訳
5日目	第8章（中国）の英文構造と和訳
6日目	第8章（中国）の英文構造と和訳
7日目	第8章（中国）の英文構造と和訳
8日目	第8章（中国）の英文構造と和訳と試験

◆教科書 丸沼『Major Countries in the World～世界の主要国～』 小泉和弘編
鳳書房 (Tel/Fax (03) 3483-3723) 1,944円(税込)(送料300円)

◆参考書 丸沼『ロイヤル英文法』 旺文社 1,944円(税込)(送料350円)
この本は講義では使わない。辞書は毎回持つてくること。辞書を持って来ているか検査をする。

◆成績評価基準 試験、実力テストなどの総合評価。皆出席を望むが突然仕事が入った場合などはメールを送ること。欠席1回で何点か引く。出席点とノート点は加点しない。出席してノートを取るのは当然のことだからである。抜き打ちの実力テストも行う場合がある。板書事項を全部書いているかを調べる。ノート検査をして不備の者は不合格。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英文法の基礎を学び、運用力を養う

〔英語 L〕

木曜日

担当者：谷村 航

◆**学修到達目標** 本講座の目標は、英文法の基礎を学習し、「英作文」の演習を通して、学習した文法事項を運用できるようにすることです。また、日本語と英語を比較することによって、主語の立て方・語順・冠詞・無生物主語構文などにおいて両者の違いを見て、英語の特徴がより理解しやすくなるように授業を進めていきます。

◆**授業方法** 演習形式で授業を進めています。毎回の授業では学生のみなさんに英作文を書いてもらいます。その後、担当教員が解説、補足を行います。英語表現の正解は一つではありませんので、模範解答のあとで、学生のみなさんと他の表現の可能性もないか考え、より理解を深めていきたいと思います。

◆**準備学修** 教科書の練習問題を解き、事前に英文を作成してきてください。学生のみなさんに作成していただいた英文を基に授業を進めています。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	I. 主語の選び方（主語を意識する、一般の人々の表し方、主語と主題）
2日目	II. 英語特有の主語構文
3日目	III. 名詞と冠詞の生かし方
4日目	IV. 表現を豊かにする形容詞
5日目	VII. 使役動詞の使い方
6日目	X. 助動詞による英語の発想
7日目	XI. 和文英訳と英語の時制
8日目	総まとめ、最終（期末）試験

◆**教科書** 丸沼『Good Japanese into Good English <日・英の比較による英作文>』 長谷川潔 成美堂
1,620 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 使用しない（授業中におすすめの本があれば紹介します）

◆**成績評価基準** 最終試験（70%）、小テスト（30%）で評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆特許・意匠・商標・著作権の基礎知識

〔知的財産権法〕

木曜日

担当者：三村 淳一

◆学修到達目標 知的財産権は、企業の運命を左右する重要な財産である。本講義は、知的財産権の中でも中核をなす特許法・実用新案法を中心に、概要及び制度を理解することを目的とし、また意匠法・商標法・著作権法・関連条約についても基礎的な知識の習得を行うことを目的とする。さらに、知的財産権を巡り、どのような争いがなされているのかを理解する。

◆授業方法 講義形式による授業を行う。講義では、各法毎に、法目的などの基本的な解説から始め、さらに、PPT を用いることにより視覚を通じて法律の理解を深めるような工夫をしている。従い、各法の予備知識が無くても講義内容が理解できるような形態としている。尚、授業では、受講者に逐次質問する予定である。また、授業では条文を参照することが多いので、工業所有権法令集を持参すること（アプリも可）。

◆準備学修 スクーリング開始前に、教科書は一読しておき、知的財産権法の概略を掴んでおく。また、参考書を利用し、各講義前に、講義内容に関する該当箇所を読んでおく。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	知的財産権法の概要 特許法（1）：特許法の目的及び特許権成立までの概略
2日目	特許法（2）：特許要件（発明性、産業上の利用可能性） 特許法（3）：特許要件（新規性、進歩性）
3日目	特許法（4）：新規性喪失の例外及び不特許事由 特許法（5）：先願主義と拡大された先願の地位
4日目	特許法（6）：出願公開制度と補償金請求権 特許法（7）：特許権の効力と効力が及ばない範囲
5日目	特許法（8）：職務発明 実用新案法：権利取得までの概略、技術評価書、特許法との相違
6日目	条約：パリ条約と特許協力条約 意匠法：概要、登録要件、特殊な意匠
7日目	商標法：概要、登録制度、マドリッドプロトコル 著作権法：概要、著作権、著作権の制限、著作隣接権、二次的著作物
8日目	知的財産権の活用：ライセンス、訴訟 試験

◆教科書 丸沼『産業財産権標準テキスト（総合編）第4版』 工業所有権情報・研修館
720円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼『知的財産法入門（第15版）』 土肥一史著 中央経済社 3,672円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提に、試験（60%）、授業への参加や貢献による平常点（40%）により行う。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆イギリス文学の重要作品を学びましょう [イギリス文学史 I]

木曜日

オープン受講：不可 担当者：常名 朗央

◆学修到達目標 18世紀後半までのイギリス文学史を時系列で学びます。各時代の主要作品の原文と日本語訳数点を対訳、考察することによって、各文学作品を時代背景や小説技法の観点から理解することができるようになります。主に、シェークスピア、ミルトン、ペトラルカ（イタリア語）、オースティンの作品などを抜粋して読んでいきます。

◆授業方法 授業前半は各時代の特徴を政治的・文化的アプローチから解説します。イギリス文学を理解するためには、ヨーロッパ史の観点から簡単な政治史と外交史を理解することが不可欠なので併せて説明いたします。授業後半は、各時代の作品を抜粋して読んでいきます。それぞれの時代の特徴には違いがありますのでそれを理解してください。

◆準備学修 各講義の終わりに次回取り扱うテキストの説明をします。指定したテキスト（作品）を図書館などで見つけて熟読しておくことが望ましいのですが（購入の必要はありません）、内容把握や評価等を調べておくだけでも十分です。事後学習は講義で学んだ内容を復習して、扱ったテキストを是非翻訳本で読むようにしてください。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	イギリス文学の揺籃期—古英語の時代 ローマ人の侵入によるラテン語の導入、キリスト教の布教、アングロ・サクソン族の建国など、イギリス文学の根底を成すこの時代のイギリス文化史を時系列で学んでいきます。
2日目	中英語の時代 イギリス文学の誕生ともいえるこの時代には、騎士道や宮廷風恋愛を取り入れた文学作品が多く登場します。今回はチョーサーの作品とマロニーの『アーサー王の死』を取り上げます。
3日目	イタリアソネットの誕生 14世紀のルネサンス運動の中でペトラルカのソネット集『カンツォニエーレ』が後の欧州文学史に与えた影響は計り知れません。彼のソネットから、内容・スタイルを考察してその特徴を学びます。
4日目	イギリスルネサンス 16世紀の宫廷はモアやワイアット、サリー伯など王の庇護を受けた多くの文人が集う場所であり、彼らは英文学発展の功労者でした。その後継者といえるシドニーとスペンサーの作品を学習します。
5日目	イギリス演劇の始まりとシェークスピア 16世紀中旬に生まれたイギリス悲喜劇は、全ての階層の人々を熱中させましたが、その代表的な作家がシェークスピアでした。彼の生涯の解説に加え、その代表作を抜粋して学習します。
6日目	革命詩人ジョン・ミルトン イギリス革命により、英国は一時的にではあるものの共和制へと移行します。『失楽園』の作者ミルトンはその革命期を生きた詩人であり、彼のソネットを読み政治と文学の関係について学習します。
7日目	ロマン主義時代 19世紀初頭に登場した代表的な6人（ブレイク、ワーズワース、コールリッジ、バイロン、シェリー、キーツ）のロマン派詩人の作品を一作品ずつ読み考察を行います。
8日目	小説の誕生 19世紀には小説は新たな市民文学としての地位を得ますが、その一つの完成形としてジェイン・オースティンを取り上げます。全6作品のうち3作品を挙げ、洗練された小説技法を学習します。

◆教科書 当日資料配付 当日プリント配布

◆参考書 丸沼『イギリス文学史』 川崎寿彦著 成美堂 2,592円（税込）（送料 350円）

丸沼『読んで愉しむイギリス文学史入門』 白井義昭著 横浜市立大学学術研究会 1,620円（税込）（送料 300円）

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表等）、テストにより総合的に判断します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆教師としての考え方

木曜日

〔現代教職論〕

担当者：古賀 徹

◆学修到達目標 教職の意義、教員の資質、及び教員の役割、教員の職務内容（服務）、等に関する理解を深めることをねらいとする。自らの教職者としての適性を問い合わせ、教員に必要なものとは何かを考え深めることとする。現代の教育の現実的問題に焦点をあてて考察していく。

◆授業方法 講義形式を中心とするが、アクティブラーニング型の授業方式もとりいれる。活動・学習ごとにワークシート（ミニレポート）を書くこととそのフィードバックにより、さらに学習効果があがるよう試みる。

◆準備学修 この授業では、教員養成の段階で学んでおくべき事項や学校現場で直面する課題を「題材」としてとりあげ、諸々の課題に対して「教員としてどのように考えるのか」という意識・心得をつくりあげられるようにするのがねらいです。授業以外にも、様々な教育問題、教育に関する話題・情報について関心をもち、のぞんでください。2回目までに、各々過去に受けた教育から判断できる「教師に必要とされる能力」について考え、ノート等に記し、発言の準備をしておくこと。10回目（5日目）までの内容では「教師としてどのように動くべきか」という判断力について考えていくので、事前に教育問題の様々なケースを想定してシミュレーションしておくこと。

◆授業計画 [各 170 分]

1日目	① 教職を履修する意味（学習指導・生活指導） ② 教師の他者理解能力
2日目	① 教師の一 日・教師の成長 ② 理想の教師とは？（グループワーク）
3日目	① 仮想・教職員会議（ロールプレイ） ② 学級運営・学習指導
4日目	① 最近の子ども事情（非行） ② 最近の子ども事情（いじめ）
5日目	① 最近の子ども事情（不登校） ② 最近の子ども事情に関する総括的ロールプレイ
6日目	① 教師観・教員養成の歴史的変遷（近代以降） ② 諸外国の教師養成のしくみ
7日目	① 法律上の教師（教員） ② 教員の研修（向上するための現職教育）
8日目	① 現場で求められる力とは？

◆教科書 資料・レジュメを配布する。

◆参考書 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。

◆成績評価基準 この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行なわない。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆モノが伝える感動のストーリー

〔博物館展示論〕

木曜日

担当者：岡部 幹彦

◆**学修到達目標** ICOM の博物館定義にある「有形、無形の人類の遺産とその環境」をキーワードに、モノを観ること、モノを展示することの意味を探り、展示するモノとそこに内在するコト・ヒトや環境が織りなすストーリーを構成することについて理解を深める。また、内外の展示事例を通じて展示および展示のプロセスの実際を学び、展示に係る基礎的な能力を身につける。

◆**授業方法** 毎回の授業時に資料プリントを配布し、スライドを用いて講義形式で進行することを基本とする。積極的な学修姿勢と理解を促すため、適宜テーマを設けて意見を求める。また、映像資料や実物資料を用いて多様な視点を提供するとともに、展示計画の作成体験をする。

◆**準備学修** 多くの博物館・美術館のウェブサイトを閲覧し、また身近な博物館・美術館を訪れて館案内リーフレットや展示リスト等を入手し、少なくとも利用者として博物館・美術館を理解しておくこと。また、特別展（企画展）や常設展を観覧して、展示テーマや展示構成、展示方法、展示設備等と、観覧者の反応などを観察、理解しておくこと。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	《ガイダンス》授業の進め方と留意点 《展示とは何か》をテーマに以下の項目を学修する。 ICOM の博物館定義と展示、館種と展示の種類・方法
2日目	《展示を観るということ》をテーマに以下の項目を学修する。 観る行為と情報提供の関係、モノを観るとはどういうことか（実物資料を使用）、受動的観覧と能動的観覧、観覧のサイクルを完成させること
3日目	《展示とテーマ》をテーマに以下の項目を学修する。 モノ・コト・ヒト・環境、個々の資料と資料群、空間軸・時間軸とテーマの設定、テーマを構成するセクションとその要素
4日目	《展示環境とリスクマネジメント》をテーマに以下の項目を学修する。 資料と展示環境、展示施設と展示設備、ファシリティーレポート、展示のリスクマネジメント、保険と国家補償、展示と関連法規
5日目	《展覧会》をテーマに以下の項目を学修する。 常設展・特別展・企画展、展覧会の型式、展覧会の経費と収入、常設展の位置づけと新たな可能性
6日目	《展示の実務一構想・計画から展示作業》をテーマに以下の項目を学修する。 展示構想の要点、準備プロセスと各種の交渉・連携、展示と演出、展示計画とセクション・順路の設定、企画展実施計画書の作成と評価
7日目	《展示と教育》をテーマに以下の項目を学修する。 展示による教育活動、展示における情報提供と学芸員の役割、展示と情報機器、展覧会関連事業
8日目	《まとめ》今日の博物館の課題と展示の可能性、学芸員の果たす役割 《試験》

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 資料プリントを当日配布

◆**参考書** **〔通材〕**『博物館概論 Y20300』 通信教育教材（教材コード 000492）2,500 円（送料込）
(この教材は市販の『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会編（芙蓉書房出版）と同一です)

◆**成績評価基準** 授業への取り組みと試験により総合的に評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 金曜日

授業日	時間	18:30 ~ 21:25							
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 ^{<試験を含む>}
		5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7

※以下の金曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数講	充当科目		制限・注意			受オーブ講ン		
				科目コード	科目名	併用	配当学年	受講条件			
B1E1	英語 M	賀美 真之介	1	C10100	英語 I		1年	· I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				C10200	英語 II						
				C10300	英語 III		2年				
				C10400	英語 IV						
B1E2	英文法 B	小澤 賢司	2	N20200	英文法		2年				
B1E3	西洋史概論／西洋史概説	荒木 洋育	2	K32400	西洋史概論		2年	· 法学部のみ申込可。 · 文理・経済・商学部のみ申込可。			
				Q30400	西洋史概説						
B1E4	社会政策／社会政策論	齋藤 有里	2	L31600	社会政策		2年	· 法学部のみ申込可。 · 文理・経済・商学部のみ申込可。			
				R32100	社会政策論						
B1E5	交通論	針谷 莊司	2	S30700	交通論		2年				
B1E6	教育制度論	安藤 忠	2	T20200	教育制度論	×	2年	· スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
B1E7	博物館概論	中野 照男	2	Y20300	博物館概論	×	2年	· スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆英文法の基礎を復習し、表現力を身に着ける

[英語 M]

金曜日

担当者：賀美 真之介

◆学修到達目標 文法的規則を反映する、基本的な例文を基礎として、「英借文」ができるようになること。英語で学術論文を書くための基礎を習得すること。

◆授業方法 各項目について解説、演習（練習問題）を行う。

◆準備学修 各項目（Part II）の「ひとこと解説」と、Part I の文法事項を簡単に読んでおくこと。

◆授業計画 [各 170 分]

1日目	基本文型
2日目	時制
3日目	進行形
4日目	完了形
5日目	助動詞
6日目	不定詞
7日目	分詞
8日目	総復習と期末試験

◆教科書 内沼『英文法の総復習とワンクラス上の英作文』 野村忠夫・菅野悟・野村美由紀・外池滋生
DTP 出版（2017 年 4 月 1 日に新版発売予定） 1,728 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 期末試験 6 割 授業への参画度 4 割

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆学修者と指導者のための英文法

〔英文法 B〕

金曜日

担当者：小澤 賢司

◆学修到達目標 本授業では、日本人英語学修者にとって理解しづらいとされる①未来表現、②単数形・複数形・冠詞、③関係代名詞に焦点をあて、それらの使用環境（条件）や違いを知り、人に説明できるぐらいまでの理解、及び定着を目指します。例えば、I play tennis.（私はテニスをします）は問題のない表現ですが、I play tennis tomorrow.（私は明日テニスをします）は、通常、認められない表現となります。さらに、This is the Yamanote Line. とは言いますが、This is the Yamanote Line train. とは言いません。これらのことときちんと説明するには、「なんとなく」の知識ではなく、「確固たる」知識が必要となります。しかし、知識というのは与えられるだけではなかなか身につくものではありません。そこで本授業では、英文法について考えること、さらには、人に教えることを念頭に置くことでその定着を図ります。

◆授業方法 講義形式で進めていきます。ただ、受講者の方には定期的にこちらから質問を投げかけ、当該話題となっている問題について考えていただきます。なお、受講者の様子（理解度）を見ながら授業を進めていきますので、以下の授業計画はあくまでの‘目安’とお考えください。

◆準備学修 下記に記した授業計画の項目に関して、事前に英文法書等で知識の確認を行っておいてください。

◆履修条件 平成28年度夜間スクーリング（秋期）「英文法」と積み重ね不可

◆授業計画【各170分】

1日目	ガイダンス 未来表現その1 (will vs. be going to)
2日目	未来表現その2 (be going to vs. be -ing) 未来表現その3 (be -ing vs. 単純形)
3日目	未来表現まとめ (will vs. be going to vs. be -ing vs. 単純形)
4日目	単複・冠詞その1 (I ate cake. vs. I ate a cake. vs. I ate cakes.) 単複・冠詞その2 (I like a dog. vs. I like dogs.)
5日目	単複・冠詞その3 (This is the Yamanote Line. vs. This is a Yamanote Line train.) 単複・冠詞まとめ
6日目	関係詞その1 (使い方、用法の確認) 関係詞その2 (発展的考察その1)
7日目	関係詞その3 (発展的考察その2) 関係詞まとめ
8日目	テスト

◆教科書 【当日資料配付】適宜、プリントを配布します。

◆参考書 適宜、授業中に紹介します。

◆成績評価基準 授業への取り組み（予習状況・発表など）、及びテストにより総合的に評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月東京1期
5月東京2期
6月東京期
7月東京期
6仙台期
6大阪期
7札幌期
7名古屋期
7福岡期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法
許可と不許可
受講料納入の
受講準備
試験及び
学生生活の
オープン
各種用紙付
録

◆万華鏡西洋史

金曜日

〔西洋史概論／西洋史概説〕

担当者：荒木 洋育

◆**学修到達目標** 中世から現代（21世紀前半）に至る西洋（ヨーロッパに加えてアメリカ等の地域を含む）の歴史の全体像をとらえることにより、自身が関心対象とする個別の地域、時代についてより大きな視野からの理解を深めることができる。また学問として「西洋史」を研究する際に出発点として最低限必要となる程度の基本的知識を、授業を通じて一通り身につけることができる。

◆**授業方法** 下記のような時代区分を設定し、各回の中で更に細かく時期を区分して西洋諸地域の歴史を全体論、各地域の動向の二つの面から概観する。毎回配布するプリントに基づいて授業を行うが、双方向的な授業を求める立場から、受講者の方々とコミュニケーションをとる時間を毎回設定するので、受講者の方々には能動的な受講姿勢を求めたい。

◆**準備学修** 初回以降、その次の回の授業で重要な意味を持つ用語等（例えば「百年戦争」など）を授業末尾にいくつか提示するので、ネットを含む各種媒体で調べておくこと。また、特に強制するものではないが、山川出版社『各国史』シリーズの中から選んで読むなどの準備作業を行っておくと、授業内容の理解および更に進んだ知識の習得の上で役立つであろう。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	西洋中世世界の成立 *授業の進め方、フランク王国の成立と分裂、ビザンツ帝国とスラヴ世界
2日目	西洋中世世界の隆盛 *皇帝、教皇と封建社会、西洋中世国家の成立と競合
3日目	中世から近世へ（～1534年） *中世末の動乱と社会変化、イタリア・ルネサンス、新航路の探索
4日目	西洋近世国家の成立（～1689年） *宗教改革と宗教戦争、西洋主権国家の成立と拡大
5日目	近世国家の動搖と革命（～1815年） *絶対主義国家の興亡、大西洋二重革命
6日目	近代国民国家の成立（～1890年） *工業化の進展と資本主義、自由主義の時代
7日目	西洋世界の膨張と内部抗争（～1945年） *帝国主義の広がりと二つの世界大戦、超大国アメリカの出現
8日目	西洋世界の現在形：統合と分裂（後半に試験を行います） *「冷戦」秩序の成立と終焉、歐州世界の統合と試練、今後の展望

◆**教科書** 当日資料配付 当日プリント配布

◆**参考書** 丸沼『西洋世界の歴史』 近藤和彦編 山川出版社 3,456円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 平常点（50%）、試験（50%）。平常点については2/3以上の出席を前提とし、口頭発表、小レポート（1回）を対象として評価を行う。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆社会政策の中の防貧の制度を学びましょう

〔社会政策／社会政策論〕

金曜日

担当者：齋藤 有里

◆**学修到達目標** 少子高齢化などの社会状況の変化により、社会政策はわれわれの生活に密接に関わるものとなっていきます。本講義では社会保障制度に焦点をあて、制度の役割を概説します。各制度の創設背景などの歴史的な過程をたどりながら、それぞれの制度に関する基本的理念と役割について要点を説明できるようになることを目的としています。

◆**授業方法** 授業時に配布するプリントを使用し、講義形式でおこないます。また、毎回講義終了前にリアクションペーパー作成の時間を設けます。リアクションペーパーには、受講内容について、受講生自らが重要と感じたポイントなどについてまとめてもらいます。

◆**準備学修** 次回講義で使用するキーワードを授業時に出しますので、用語の意味などを調べておいてください。また、日頃から新聞などに目を通しておくことが望ましいです。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	ガイダンス・社会政策とは何か 社会政策のとらえ方や歴史について学びます。
2日目	社会保障制度の概要 社会保障の体系、機能、財源などについて学びます。
3日目	少子高齢化・雇用と社会保障 人口問題や労働環境の変化などについて学びます。
4日目	社会保障制度の歴史 社会保障制度の発展過程について学びます。
5日目	雇用保険と労災保険 失業した時や業務災害時の補償について学びます。
6日目	年金保険制度の概要 厚生年金や国民年金について学びます。
7日目	医療保険制度の概要 健康保険や後期高齢者医療制度などについて学びます。
8日目	公的介護保険制度・試験の実施 公的介護保険制度の体系やサービスについて学びます。

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 講義の当日にプリントを配布します。

◆**参考書** **〔丸沼〕『はじめての社会保障』** 棕野美智子・田中耕太郎著 有斐閣 1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 授業への参加度・リアクションペーパー・小テスト（20%）、最終試験（80%）で評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 期
7月 東京 期
6月 仙台 期
6月 大阪 期
7月 札幌 期
7月 名古屋 期
7月 福岡 期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座の許可と不許可の受講料の受講準備の受講及び受講時間のオーブン各種用紙付録

◆交通の役割と経済構造の変化について考えよう

(交通論)

金曜日

担当者：針谷 莊司

◆学修到達目標 交通の役割を考え、経済構造の変化に対応した考え方ができる能力をつけることを目標とする。日常生活の中での諸現象を交通の立場から考察できる知識を養成する。

◆授業方法 この講義は、単に聴講するだけでなく、自分自身の考え方を積極的に表現できる能力を習得することを目標とする。

日常の起こっている現象を常に経済的考え方とともに分析し、授業では積極的に遺憾を発表する講義をめざす。

◆準備学修 交通に関する出来事に注目し、開講時までに受講者の考え方をまとめておいてください。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	交通論の勉強の進め方 参考資料・図書の紹介
2日目	経済現象と交通の関わり
3日目	立地論の考え方と交通のもつ位置づけ
4日目	地域における交通との関わり
5日目	産業構造の変化と交通
6日目	規制緩和が交通に与えた影響について
7日目	商業の変化と交通
8日目	交通トピックス

◆教科書 通材『交通論 S30700』 通信教育教材（教材コード 000184）1,950 円（送料込）

◆参考書 講義時、指示致します

◆成績評価基準 毎日、授業時課題を課します。意見発表、試験を総合的に評価します。

◆近代学校教育制度の成立・発展と教育行政

(教育制度論)

金曜日

担当者：安藤 忠

◆学修到達目標 わが国、公教育・学校教育制度の成立と発展の理解を進める。今日の国民教育の基本を示す法律である教育基本法を軸に、法規定による学校教育の性格を理解することを目標とする。教職に熱意を持つ受講生を望む。

◆授業方法 教科書を基本とする講義形式で、隨時、必要な事項について参考書・配布資料を用いて考察をする。

◆準備学修 日本国憲法の特徴と憲法に規定される教育に関係あると思われる条項を学習しておいてください。

◆履修条件 教員採用試験を目指す受講生が望ましい。

◆授業計画【各 170 分】

1日目	講義内容についてのガイダンス。公教育の成立・発展。
2日目	わが国の教育政策と教育行政の変遷Ⅰ（明治期から昭和初期）
3日目	わが国の教育政策と教育行政の変遷Ⅱ（昭和初期から敗戦まで）
4日目	戦後教育改革の進展と教育行政・制度Ⅰ
5日目	戦後教育改革後の教育政策と行政（教育基本法の性格）
6日目	現代の教育政策と行政Ⅰ（教育基本法の改正）
7日目	現代の教育政策と行政Ⅱ（学校教育法の規定する学校教育の性格）
8日目	今日の教育政策・行政の課題

◆教科書 丸沼『教育政策・行政』 安藤・壽福編 弘文堂 2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 丸沼『解説 教育六法』 三省堂 2,808 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準 授業中に実施する2~3回ほど確認のための小テストと最終試験を総合して評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆学芸員の基礎的な能力を身につける

〔博物館概論〕

金曜日

担当者：中野 照男

◆学修到達目標 履修者は、学芸員となるための基礎的な知識を習得し、また現代日本の博物館が抱える問題点を理解することによって、学芸員として仕事をしていく上で必要な基礎的な能力と技術を身につけることができる。

◆授業方法 講義を中心とする。適宜、画像資料や映像を使用する。講義資料は、データの形で渡す。授業中に、受講生に対し、発表や討論を求めることがある。

◆準備学修 渡されたデータをもとに、予習、復習をすること。博物館や美術館に積極的に出かけ、普段から美術品等に触れる機会をもち、博物館活動を観察すること。

◆授業計画〔各 170 分〕

1日目	ガイダンスー博物館学とはどういう学問か、博物館関連法令による博物館の定義
2日目	日本における文化財保護制度の歴史、ユネスコが取り組む世界的な文化遺産保護
3日目	博物館の職員、学芸員が担当する専門的な仕事、学芸員の調査研究、モノそのものの研究とモノを活用するための研究
4日目	博物館における学術的な調査研究の実例、博物館資料の収集と保管
5日目	日頃の研究成果を博物館学芸員の仕事に反映させる手法、博物館資料の保存と修理
6日目	平常展や特別展の企画と運営、展示空間のデザインと環境整備
7日目	博物館における教育活動、広報と普及活動
8日目	今日の博物館・美術館がかかえる問題点、試験

◆教科書 使用しない。講義資料をデータの形で渡す。

◆参考書 丸沼『現代に生きる博物館』君塚仁彦・名児耶明編 有斐閣 2012年12月
2,268円(税込)(送料300円)

丸沼『美術館で働くということ 東京都現代美術館 学芸員ひみつ日記』オノユウリ KADOKAWA
2015年7月 1,080円(税込)(送料300円)

◆成績評価基準 試験の成績をもとに、予習、復習を含む授業への参加度を加味して、総合的に評価する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定

5月 東京
1期

5月 東京
2期

6月 東京
期

7月 東京
期

6月 仙台
期

6月 大阪
期

7月 札幌
期

7月 名古屋
期

7月 福岡
期

月夜
曜日間

火夜
曜日間

水夜
曜日間

木夜
曜日間

金曜日間

申込方法
講座の

許可と不許可
申込講座の

受講料の
納入

受講準備

試験及び
受講

学生生活の
愛講聞串の

オープン
受講

各種用紙

付録

MEMO

V 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学修要覧』を参照してください。

項目	手 続 内 容
『手引』入手 受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。
受講講座 科目的単位修得方式決定	・受講講座・科目的単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学修要覧』の「単位修得方式」のページを参照。



履修登録	・単位修得を希望する科目的履修登録をする。 以下の2通りのいずれかで登録。 ①ポータルサイト ②「履修届」用紙（本誌巻末付録）
------	--



スクーリング 併用試験方式 希望者のみ	・リポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でリポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。 ※期限を超過した場合、いかなる理由があっても併用の申請を受け付けることはできません。
---------------------------	--



受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座・科目を「ポータルサイト」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。
--------------	--



スクーリング受講許可講座の確認	・ポータルサイト上の『スクーリング・メディア授業情報一覧』にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認する。 ※「受講届」提出者は、郵送する「スクーリング受講資格審査結果通知」にて確認してください。
振込用紙の受け取り	・受講許可者に、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 ※発送予定日から、5日経過しても振込用紙が届かない場合は、会計課に連絡してください。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】	・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入	・表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。 ※受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。



授業開始	・各スクーリング会場やポータルサイトで、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
------	--



スクーリング結果確認	・教務課から送付される通知又は「ポータルサイト」で、受講した講座の結果を確認する（ポータルサイトから申込された場合は、通知は届きません）。 ・発送日程は表紙記載。
------------	--

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 期
7月 東京 期
6月 仙台 期
6月 大阪 期
7月 札幌 期
7月 名古屋 期
7月 福岡 期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座の許可と不許可の受講入料の受講準備の受講及び試験の学生生活のオープン受講各種用紙付録

2 履修登録をする

履修登録上の注意事項

「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●履修登録の前に

1	履修登録には、IDとパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、メールアドレス及びメール送り先区分を事前に登録してください。

●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、[登録確認]ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	

4	履修登録する科目を確認し、[登録実行] ボタンをクリックしてください。	<p>履修登録確認</p> <p>* 選択登録確認</p> <table border="1"> <tr><td>学生番号</td><td>2015</td><td>学生氏名</td><td>登録学期</td><td>秋期</td></tr> <tr><td>登録年度</td><td>2015</td><td>登録年度の登録合計単位数</td><td>31</td><td></td></tr> </table> <p>* 追加科目</p> <table border="1"> <tr><td>授業コード</td><td>010100</td><td>科目名</td><td>単位</td><td>2(2)</td></tr> <tr><td colspan="5">総合科目 I</td></tr> </table> <p>まだ登録が完了していません。完了するには登録実行ボタンを押下してください。</p> <p>[登録実行] [戻る]</p>	学生番号	2015	学生氏名	登録学期	秋期	登録年度	2015	登録年度の登録合計単位数	31		授業コード	010100	科目名	単位	2(2)	総合科目 I				
学生番号	2015	学生氏名	登録学期	秋期																		
登録年度	2015	登録年度の登録合計単位数	31																			
授業コード	010100	科目名	単位	2(2)																		
総合科目 I																						
5	履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	<p>履修登録完了</p> <p>登録が正常に完了しました。 登録画面に戻る場合は、[履修登録画面へ戻る]ボタンを押してください。</p> <p>[履修登録画面へ戻る]</p>																				

●履修登録確認

1	履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。	<p>履修登録確認表照会</p> <p>* 選択登録確認表照会</p> <table border="1"> <tr><td>学生番号</td><td>2015</td><td>学生氏名</td></tr> <tr><td>登録年度</td><td>2015</td><td></td></tr> </table> <p>* 総合教育科目</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>履修</th><th>授業コード</th><th>科目名</th><th>担当者</th><th>単位数</th><th>講義</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>総合教育科目</td><td>2014</td><td>日11000</td><td>国史学</td><td>高瀬 哲也</td><td>4</td><td>授業中</td></tr> <tr><td>総合教育科目</td><td>2014</td><td>日17000</td><td>政治学</td><td>開田 二三夫</td><td>4(2)</td><td>授業中</td></tr> <tr><td>総合教育科目</td><td>2015</td><td>日21000</td><td>心理学</td><td>室藤 麻衣子</td><td>4</td><td>授業済</td></tr> </tbody> </table>	学生番号	2015	学生氏名	登録年度	2015		区分	履修	授業コード	科目名	担当者	単位数	講義	総合教育科目	2014	日11000	国史学	高瀬 哲也	4	授業中	総合教育科目	2014	日17000	政治学	開田 二三夫	4(2)	授業中	総合教育科目	2015	日21000	心理学	室藤 麻衣子	4	授業済
学生番号	2015	学生氏名																																		
登録年度	2015																																			
区分	履修	授業コード	科目名	担当者	単位数	講義																														
総合教育科目	2014	日11000	国史学	高瀬 哲也	4	授業中																														
総合教育科目	2014	日17000	政治学	開田 二三夫	4(2)	授業中																														
総合教育科目	2015	日21000	心理学	室藤 麻衣子	4	授業済																														

●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。	<p>履修登録</p> <p>* 選択登録</p> <table border="1"> <tr><td>学生番号</td><td>2015</td><td>学生氏名</td><td>登録学期</td><td>秋期</td></tr> <tr><td>登録年度</td><td>2015</td><td>登録年度の登録合計単位数</td><td>33</td><td></td></tr> </table> <p>[削除+選択登録] [登録確認] [クリア]</p> <p>※既に登録済みで変更不可</p> <p>* 総合教育科目</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>選択</th><th>授業コード</th><th>科目名</th><th>単位</th><th>学年</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>E010100</td><td>総合科目 I</td><td>2(2)</td><td>1, 2, 3, 4</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>E020300</td><td>総合科目 II</td><td>2(2)</td><td>1, 2, 3, 4</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>E030500</td><td>総合科目 III</td><td>2(2)</td><td>1, 2, 3, 4</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>E040600</td><td>総合科目 IV</td><td>2(2)</td><td>1, 2, 3, 4</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>E050500</td><td>総合科目 V</td><td>2(2)</td><td>1, 2, 3, 4</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>E060500</td><td>総合科目 VI</td><td>2(2)</td><td>1, 2, 3, 4</td></tr> </tbody> </table>	学生番号	2015	学生氏名	登録学期	秋期	登録年度	2015	登録年度の登録合計単位数	33		選択	授業コード	科目名	単位	学年	<input checked="" type="checkbox"/>	E010100	総合科目 I	2(2)	1, 2, 3, 4	<input type="checkbox"/>	E020300	総合科目 II	2(2)	1, 2, 3, 4	<input type="checkbox"/>	E030500	総合科目 III	2(2)	1, 2, 3, 4	<input type="checkbox"/>	E040600	総合科目 IV	2(2)	1, 2, 3, 4	<input type="checkbox"/>	E050500	総合科目 V	2(2)	1, 2, 3, 4	<input type="checkbox"/>	E060500	総合科目 VI	2(2)	1, 2, 3, 4
学生番号	2015	学生氏名	登録学期	秋期																																											
登録年度	2015	登録年度の登録合計単位数	33																																												
選択	授業コード	科目名	単位	学年																																											
<input checked="" type="checkbox"/>	E010100	総合科目 I	2(2)	1, 2, 3, 4																																											
<input type="checkbox"/>	E020300	総合科目 II	2(2)	1, 2, 3, 4																																											
<input type="checkbox"/>	E030500	総合科目 III	2(2)	1, 2, 3, 4																																											
<input type="checkbox"/>	E040600	総合科目 IV	2(2)	1, 2, 3, 4																																											
<input type="checkbox"/>	E050500	総合科目 V	2(2)	1, 2, 3, 4																																											
<input type="checkbox"/>	E060500	総合科目 VI	2(2)	1, 2, 3, 4																																											

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

(1)		(2)	
履修登録年度 平成 29 年度		提出年月日 平成 29 年 4 月 1 日	
		履修届	
学生番号	12171000	フリガナ 氏名	ニチダイ ハナコ 日大花子
		電話番号	090-0000-0000 (必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)
科目コード	科目名	単位	
1 B10700	哲学	4	14
2 C10100	英語 I	2	15
3 C10200	英語 II	2	16
4 H10100	保健体育講義 I	1	17
5 L30100	行政学	4	18
6 K20100	憲法	4	19
7 K20200	民法 I	4	20
K20300	刑法 I	4	21
J101S0	体育実技 I	1	22
B11700	政治学	4	23
T10100	現代教職論	2	24
□□□□□			25
□□□□□			
記入例 0123456789		(3)	
合計 28 単位		◀ 年間 48 単位まで登録できます。 教養生および 2 学年以上の教職コース登録者は 年間 60 単位まで登録できます。	
		(4)	
		(5)	

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。
訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

日本大学通信教育部

- (1) 登録年度

本履修届にて履修登録する場合は、「平成 29 年度」と記入してください。

- (2) 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号

電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

- (3) 科目コード・科目名

科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し（ポータルサイトにも掲載）、
目コード（6ヶタ）を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。

- #### (4) 单位

各科目の所定単位を記入してください。

- ### (5) 會計單位

必ず会計単位数を記入してください

【よくある不備】

- ・科目コード及び科目名の記入漏れ
 - ・科目コードと科目名の不一致
 - ・不配当科目的記入（例：3学年から履修登録できる科目を2学年で「履修届」に記入する。）

学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。
特に教職コースの科目は注意が必要です。
 - ・「卒業論文」、「教育実習」及び「教育実践指導」は登録する必要がありません。
「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
 - ・履修登録済みの科目の記入
一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することはできません。
 - ・スクーリング等で所定単位が4単位の科目で、2単位分修得している科目は登録できません。履修登録済みと同様の扱いとなります。
もし記入された場合は、『履修登録エラーアイコン一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
 - ・単位修得済み科目の記入
単位修得済み科目の登録はできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラーアイコン一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
 - ・年間登録単位を超過
年間48単位（教職生及び2学年以上の教職コース履修生は60単位）まで履修できます。
もし超過して記入された場合は、『履修登録エラーアイコン一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

③ 履修登録上の注意

- ・「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。したがって、科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、試験やスクーリングの申し込みができません。
- ・履修登録を行っただけでは、教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
- ・履修済みの科目の変更、取消しは同一履修年度かつ学修を行っていない（リポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は上限に達していない場合、Web 履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。

3 講座を申し込む

申し込み上の注意事項

「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、IDとパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアカウント）の利用方法」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。履修登録を行っていない科目は表示されません。 127ページ参照

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL : http://www.dld.nihon-u.ac.jp ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。	

【各スクーリングのポータルサイト申込期間】

スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間
東京スクーリング(5月期)第1・2期	2017年 3月 1日(水) 10:00 ~ 2017年 3月 15日(水) 24:00
夜間スクーリング(春期)	2017年 3月 23日(木) 10:00 ~ 2017年 4月 5日(水) 24:00
東京スクーリング(6月期)	2017年 4月 20日(木) 10:00 ~ 2017年 5月 2日(火) 24:00
地方スクーリング(6月期)	2017年 4月 20日(木) 10:00 ~ 2017年 5月 2日(火) 24:00
東京スクーリング(7月期)	2017年 5月 18日(木) 10:00 ~ 2017年 5月 31日(水) 24:00
地方スクーリング(7月期)	2017年 5月 18日(木) 10:00 ~ 2017年 5月 31日(水) 24:00

※申込開始日にならないと、各スクーリングの講座は表示されません。

3	<p>「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、申請ボタンをクリックしてください。</p>	
4	併用を希望しない場合、 申請実行 をクリックしてください。併用を希望する場合、「受講希望方式」の「併用」のチェックボックスを選択し、 申請実行 をクリックしてください。	

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

●申込確認

隨時、「ポータルサイト」で確認することができます。

1	申込方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。	
3	申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。	

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。	
2	<p>「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、取消ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。</p>	

※申込期限後に、スクーリング申込はできません。

講定の
5月東京
5月2期
6月東京
7月東京
6仙台
6大阪
7札幌
7名古屋
7福岡
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の
許可と不許可
受講料の納入
受講準備
受講及び試験
学生生活の愛護問題
オーブン
各種用紙
付録

② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

ア 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

イ 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

ウ 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

エ 併用方式希望欄

スクーリング併用試験方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用試験方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座ごとに記入してください。

履修方法	記入方法
スクーリング併用試験方式を希望する	「○」印を記入
スクーリング併用試験方式を希望しない	無記入（空欄のまま）

※「○」印以外の記入があった場合、『併用』として取り扱うことができません。

※申込み締切後に、併用方式の受講希望を追加することはできません。

オ 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

(2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では4桁の講座コードと6桁の充当科目コードの計10桁のコードによって、受講講座（科目）を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

内をすべて記入してください。																														
平成29年度夜間スクーリング（春期）受講届																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">曜日</th> <th style="width: 10%;">講座コード</th> <th style="width: 10%;">講座名</th> <th style="width: 10%;">充当科目コード</th> <th style="width: 10%;">併用方式希望欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>火</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>木</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	曜日	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄	月					火					水	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	木					金				
曜日	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄																										
月																														
火																														
水	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																										
木																														
金																														
スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合はこの欄に明記してください。																														
<input type="checkbox"/> 提出締切日：(平成29年4月5日(水)) 窓口提出：事務取扱時間内 <input type="checkbox"/> 郵送又は窓口にて、提出してください。 <input type="checkbox"/> 郵送提出：郵便回数印 <input type="checkbox"/> これは、夜間スクーリング（春期）の受講届です。それ以外のスクーリングを希望する場合は、別途提出願を提出してください。 <input type="checkbox"/> 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。 <input type="checkbox"/> 履修登録を行っていない科目は、本紙のみでは申込が完了しません。 必ず、履修登録を行ってください。																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">学 生 番 号</td> <td style="width: 50%;">フ リ カ ナ</td> </tr> <tr> <td>田 姓 名</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>自 可 電 話 番 号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊 急 時 電 話 番 号</td> <td></td> </tr> </table>	学 生 番 号	フ リ カ ナ	田 姓 名	<input checked="" type="checkbox"/>	自 可 電 話 番 号		緊 急 時 電 話 番 号																							
学 生 番 号	フ リ カ ナ																													
田 姓 名	<input checked="" type="checkbox"/>																													
自 可 電 話 番 号																														
緊 急 時 電 話 番 号																														
教務課受付印																														

《記入例》(講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合)

講 座 コ ー ド	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コ ー ド	科 目 名
●●●●	英 語 B	○○ ○○	C10100	英 語 I
			C10200	英 語 II
			C10300	英 語 III
			C10400	英 語 IV
▲▲▲▲	英 語 C	○○ ○○	C10100	英 語 I
			C10200	英 語 II
			C10300	英 語 III
			C10400	英 語 IV

イ

ア

エ ウ

- ア 希望する講座として「英語 C」を選択。
 - イ 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。
 - ウ その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
 - エ 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。
 - オ 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
- ※ 「…演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習 I」、「英語学演習 II」及び「英語学演習 III」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習 I ~ III」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。
提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口に直接提出

教務課前に設置のポスト（白色）に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日の必着】

郵送提出においての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講資格審査結果通知」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、リポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

4 受講講座の変更・追加（用紙で変更を行う場合）

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、本紙巻末にある「スクーリング受講講座変更届」を提出してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

また、変更届はスクーリング毎に用紙を分けてください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「併用方式希望」を明記してください。また、自己の学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日必着です。

《記入例》

平成 年 月 日								
日本大学通信教育部 御中								
平成 29 年度スクーリング受講講座変更届								
記								
(当初の受講講座)								
スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目	併用方式 希望				
夜間（秋期） 水曜				—				
夜間（秋期） 木曜								
(変更後の受講講座)								
スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目	併用方式 希望				
夜間（秋期） 火曜								
夜間（秋期） 水曜				○				
夜間（秋期） 木曜								
上記のとおり相違ありません。								
学生番号	2	2	1	5	3	9	9	9
フリガナ	ニチダイタロウ							
氏名	日大太郎							
自宅電話番号	03-5275-8911							
緊急時電話番号	090-●●●●-●●●●							
					教務課受付印			

VI 申込講座の許可と不許可

1 受講資格審査結果通知を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を通知します。ポータルサイトでの申請者には送付されません。ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて同様の通知をPDFファイルで閲覧できますので、確認してください。

《受講資格審査結果通知書例》

スクーリング受講資格審査結果							
受講が許可された場合は、「○」が表示されます。				2016年●●月●●日 スクーリング種別：東京(10月期) 開催地：東京			
講座コード	講座名	担当講師	受講許可	併用	充当科目	充当科目名 不備理由	単位
英語 B	小澤 賢司	○	×		C10400 英語Ⅳ リポート未提出	1	
<p>(①)</p> <p>②・③</p> <p>スクーリング併用試験方式で申込みを行い、許可された場合は「○」が、許可されなかつた場合は「×」が表示されます。 スクーリング併用試験方式で申込みを行っていない場合は、「-」が表示されます。</p> <p>申込みに不備があった場合に表示されます。③の主な不備理由一覧を参照ください。</p>							
<p>〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28</p> <p>日大 太郎 様 22153999 (スクーリング受講資格審査結果通知)</p> <p>日本大学通信教育部 東京都千代田区九段南4-8-28 電話：03-5275-8911</p> <p>なお、異議のある場合は、教務課（試験係）まで問い合わせてください。 ポータルサイトと受講届（はがき）の両方から申込みがあった場合、「希望日程重複」のメッセージが表示されますが、一方で受講許可が「○」になっていれば問題ありません。</p>							

① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「I, II, III…」の区別のあるものや、科目の名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備考
○	許可	スクーリングを併用方式で受講できます
×	不許可	スクーリングの受講は可能です
—	併用申込なし	併用申込をしておりません。

※受講許可後は、一切の変更ができません。

【主な不備理由一覧】

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○リポート数不足

スクーリング併用試験方式で申込みを行ったが、リポートの提出数が規定に達していない場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○併用不可科目

スクーリング1回の合格で単位修得の科目を、スクーリング併用試験方式で申込みした場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できることになります。また、新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代わりの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- | |
|--|
| (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】 |
| (2) 振込用紙 |
| (3) 362 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4 判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記） |

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

スクーリング名		受講申込辞退の手続期限
東京	5月期	第1・2期 4月 19日 (水)
	6月期	5月 24日 (水)
	7月期	6月 21日 (水)
夜間（春期）		4月 28日 (金) 《事務取扱時間内必着》
地方	6月期	6月 5日 (月)
	7月期	7月 3日 (月)

③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

講座の
選定

5月 東京
1期

5月 東京
2期

6月 東京
期

7月 東京
期

6月 仙台
期

6月 大阪
期

7月 札幌
期

7月 名古屋
期

7月 福岡
期

月夜
曜日間

火夜
曜日間

水夜
曜日間

木夜
曜日間

金夜
曜日間

申込方法
講座の

許可と不許可
申込講座の

受講料の
納入

受講準備

試験及び

学生生活の
愛講聞串の

オープン
受講

各種用紙

付
録

MEMO

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

1 受講料

スクーリング名			受 講 料
東 京	5月期	第1・2期	1講座 10,000円×受講講座数
	6月期		
	7月期		
夜 間（春期）		1講座	10,000円×受講講座数
地 方	6月期・7月期		1講座 13,000円×受講講座数

2 振込用紙発送予定日

スクーリング名			在学生	平成29年度新入生（4月生）
東 京	5月期	第1・2期	4月12日（水）	4月19日（水）
	6月期		5月17日（水）	5月24日（水）
	7月期		6月14日（水）	6月21日（水）
夜 間（春期）		4月21日（金）	4月28日（金）	
地 方	6月期		5月29日（月）	6月 5日（月）
	7月期		6月26日（月）	7月 3日（月）

発送予定日から5日を経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。

3 納入期限

スクーリング名			納入期限
東 京	5月期	第1・2期	4月26日（水）
	6月期		5月31日（水）
	7月期		6月28日（水）
夜 間（春期）		5月10日（水）	銀行窓口 <u>※当日取扱時間まで</u>
地 方	6月期		6月12日（月）
	7月期		7月10日（月）

講座の選定
5月東京
5月2期
6月東京
7月東京
6仙台
6大阪
7札幌
7名古屋
7福岡
月夜間
火夜間
水夜間
木夜間
金夜間
申込方法
許可と不許可
受講料の納入
受講準備
試験及び
学生生活の愛講聞申の
受講オープン
各種用紙
付録

4 納入方法

必ず大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から振り込んでください。

注意事項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行（ゆうちょ銀行を除く）窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。
銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 振込用紙に記載された事項を訂正したものは受け付けません。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。
また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注 意 事 項

既に所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材 印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請又は「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続きを行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）にお問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

(書店名) (株) 丸沼書店

(所在地) 〒 101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

(電 話) 03-3261-4540

(F A X) 03-3261-0118

(営業時間) 9:00 ~ 20:00 (日曜日は 10:00 ~ 19:00)

(購入方法) 直接店頭(206 ページを参照)で購入のほか以下(1)~(3)の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払 (手数料 260 円が別途かかります)

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記
あてに郵送又は FAX をしてください。

(2) 為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額
分の定額小為替又は普通為替を同封して上記宛に郵送してください。

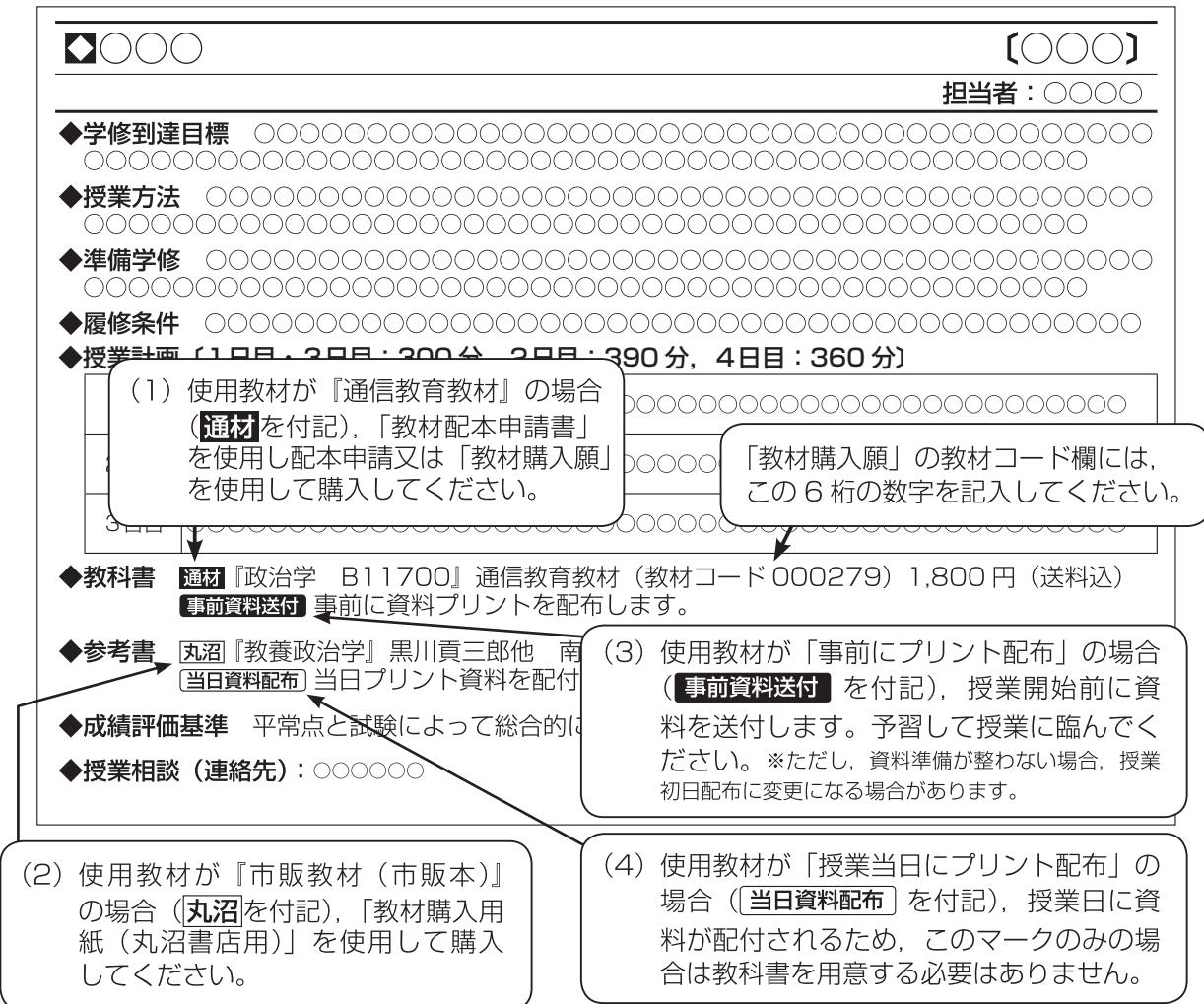
(3) 現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額
を同封して上記宛に郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が
変わることもあります。あらかじめご了承ください。

③ 教材購入方法の見分け方



※事前資料送付・当日資料配布については、教務課（電話 03-5275-8911）にお問い合わせください。

④ スクーリング受講に伴う六法の携行及び指定の六法

法律系の科目を受講する場合、特にシラバスに記載がなくとも『六法』は必携となりますので、各自用意の上、授業に臨んでください。

通信教育部指定の六法について

スクリーニング試験時に参考が許可される『六法』は、次の9種類に限ります。ただし、担当講師から別途指示がある場合は、この限りではありません。

《試験時に参照が許可される六法》

岩波書店『コンパクト六法』、『ヤレクト六法』、『基本六法』

有斐閣『六法全書』、『ポケット六法』

第一法規『司法試驗用六法』、『旧司法試驗用六法』、『新司法試驗用六法』

三省堂『デイリー六法』

注意事項：

- (1) 上記指定の『六法』に、書き込み等がある物は、参照物として認められません。したがって、『六法』は学修時に使用するものと試験時に使用するものとで別に用意してください。

(2) 判例・解説つきのもの（『六法』付録の小冊子等を含む）は参照物としては認められません。

2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勧奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、公益財団法人 私立大学通信教育協会長名で通信教育の主旨等を記載した「勧奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勧奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勧奨状）申込書」により庶務課宛てに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。ポータルサイトの「資料・申請書」からのダウンロード又は本誌巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課宛てに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

3 通学定期券の購入手続

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

① 学生証裏面学籍シールへの記入

- (1) 「学生番号」、「氏名」、「現住所」をボールペン等の消えないペンで記入してください。
- (2) 「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。

② 購入手続き

- (1) 学生証及び振込用紙の領収書（銀行の捺印のあるもの）を持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、所定の用紙に記入して「在籍確認」印の押印を受けてください。
- (2) 通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

③ 学生課窓口で記入する所定用紙について

- (1) 通学定期乗車券発行控（全員必要）
- (2) 滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
- (3) 通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合及び水道橋キャンパスに通学する場合に必要）

④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

鉄道会社	最寄駅（市ヶ谷キャンパス）	最寄駅（水道橋キャンパス）
JR東日本	市ヶ谷駅	水道橋駅
都営地下鉄	市ヶ谷駅（新宿線）	水道橋駅・神保町（三田線）
東京メトロ	市ヶ谷駅（有楽町線・南北線）	後楽園駅（丸の内・南北線） 神保町駅（半蔵門線）

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

① 現住所及び通学区間を偽ること。	② 他人に譲渡・貸与すること。
③ 記名人以外が使用すること。	④ その他、不正に使用すること。

⑥ その他注意事項

- (1) 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出でください。
- (2) 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出でください。
- (3) 「在籍確認」印は、年度内に限り有効です。

4 「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は、科目修得試験やスクーリングをはじめとする大学所定の行事に出席するため、片道100kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り使用することができ、運賃が2割引となります。

① 申込方法

巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し、学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。

郵送の場合は、82円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

② 発行条件（以下の全項目に該当すること）

- (1) 正科生であること。
- (2) 科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。
- (3) JR各社の鉄道又はバスを使用すること。
JR以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。
- (4) 乗車距離が片道100km以上であること。

③ 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券・指定席は割引き対象外）

④ 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間に限り選択できます。

学割証には、交付願に記載された乗車日が「有効期間」として記載されますが、この「有効期間」とは乗車券を購入できる期間のことです。その期間でなければ、乗車券は購入できません。

⑤ 発行枚数

原則として1枚です。（1枚で往復が購入できます）

ただし、毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

⑥ 往復乗車券有効期間

片道の距離(km)	200kmまで	400kmまで	600kmまで	800kmまで	1000kmまで
有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間

※有効期間外になる場合には片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。

⑦ 発行所要期間

科目修得試験やスクーリングごとに定められた発行開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けしてから2日後に発行します。（即日発行はできません）

郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。

※急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も362円分の切手を貼ってください。

ただし、優先的な発行はいたしません。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。

⑧ 発行開始日

スクーリング名	日 程	発行開始日
東京スクーリング（5月期）第1期	4月29日（土）～5月1日（月）	4月14日（金）
東京スクーリング（5月期）第2期	5月2日（火）～4日（木）	
東京スクーリング（6月期）	6月3日（土）・4日（日）・10日（土）・11日（日）	5月19日（金）
東京スクーリング（7月期）	7月1日（土）・2日（日）・8日（土）・9日（日）	6月16日（金）
夜間スクーリング（春期）	5月15日（月）～7月7日（金）	① 4月28日（金） ② 6月7日（水）
地方スクーリング（6月期） 【仙台・大阪】	6月17日（土）～19日（月）	6月2日（金）
地方スクーリング（7月期） 【札幌・名古屋・福岡】	7月15日（土）～17日（月）	6月30日（金）

※学割発行の有効期間は、1か月ですので、夜間スクーリングでの「学割証」発行を2回に分けています。

夜間スクーリング全期間を通して毎週通学する必要があり、「学割証」の発行を希望する場合は、事前に学生課にご相談ください。

⑨ 使用方法

JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、「学生割引乗車券」が購入できます。

⑩ 禁止事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されただけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。

また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用の例】

① 記載事項を改変すること。	④ 購入した乗車券を他人に譲渡すること。
② 記名人以外が使用すること。	⑤ 鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③ 有効期間外に使用すること。	⑥ その他、不正に使用すること。

⑪ よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？

A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（6月3日・4日・10日・11日の4日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？

A 2. 乗車日欄に行6月3日、帰6月11日と記入し、必要枚数欄に4枚、理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

1 講座の受講

- ① スクーリングは全日程への出席が成績評価の前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「振込用紙（銀行領収印の押印されているもの）」を携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目的試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。

なお、スクーリング試験を受験できなかつたり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参考物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、平成29年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込を「受講届」にて行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3ヶ月以内に教務課まで問い合わせてください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

スクーリング名		結果発送時期
東京	5月期	第1・2期
	6月期	7月中旬
	7月期	8月中旬
夜間(春期)		8月中旬
地方	6月期	7月中旬
	7月期	8月中旬

① 結果の表示

結果は、「合格」「不合格」又は「未受講」で発表します。

「未受講」の場合は、成績評価に一切算入しません。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位(1単位又は2単位)のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容(シラバス)」に記載されている単位数が、それぞれの科目(講座)のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたリポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容(シラバス)」に記載された単位数での修得となります。そのため併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が表示(記載)されます。

X 受講期間中の学生生活

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要になります。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないように注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出してください。

⑤ 紛失及び落し物の拾得

校舎内で所持品を紛失、あるいは他人の落し物を拾得した場合には、速やかに学生課まで届け出してください。届けられたものは学生課で保管します。

⑥ 自動車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ インフルエンザ等感染症予防について

大学では、様々な地域・年齢層の学生が出入りしており、スクーリング等でのインフルエンザ等の集団感染が危惧されます。

学生の皆さんには、日常生活での手洗いの励行、うがい等の予防策を徹底し、互いに感染を予防する気構え、行動が必要です。万が一感染してしまった場合、感染症の種類によっては出校停止となる場合もありますので、速やかに学生課へ連絡し、状況に応じて病院での受診や自宅療養をとる等の対策を講じてください。

⑧ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。
なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 期
7月 東京 期
6月 仙台 期
6月 大阪 期
7月 札幌 期
7月 名古屋 期
7月 福岡 期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座
許可と申込講座の
受講料納入の
受講準備
受講試験及び
学生生活の講習会
オープン受講
各種用紙付録

2 スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は、本紙「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」に記入し、受講初日までに学生課に提出してください。

※不測の事故発生時の対応に必要なため、必ず提出してください。

※郵送では受付しません。

※通学定期券購入の際にも必要です。

3 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR市ヶ谷、JR水道橋及びスクーリング実施校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

4 緊急時の避難行動の指示について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きた不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおりの対応について行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装を心がける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携帯など。また日頃から自分で準備しておくと良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携帯していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機械等の下からは退避する。

(2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救援を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて行動してください。」
—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。—

(3) 避難場所

避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。

(4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関の運行情報等によって判断し、帰宅が困難な場合には避難場所で待機する。状況によつては一晩待つこともあり得る。

また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

通信教育部の在学生で既に修得した科目の受講を希望する場合もしくは社会人等（卒業生を含む）で受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。

項目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	<ul style="list-style-type: none"> ・『手引』を読み、受講講座を決定する。 ※シラバスにて、「オープン受講：不可」と記載がある場合は、受講することはできません。
受講希望の講座を申し込む	<ul style="list-style-type: none"> ・受講を希望する講座を本誌巻末の「オープン受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届（本誌巻末） ②身分証明書コピー（学生証、運転免許証等）
受講資格審査	<ul style="list-style-type: none"> ・各講座の申込者数等確認し、受講に支障がないか教務課にて資格審査を行う。
許可通知書兼納金票の受け取り	<ul style="list-style-type: none"> ・受講許可者に、「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 ※発送予定日から、5日経過しても「受講許可通知書兼納金票」が届かない場合は、教務課に連絡してください。
受講料の納入	<ul style="list-style-type: none"> ①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 (1)定額小為替または普通為替で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 (2)現金で納入する場合 納金票と共に現金書留便にて会計課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
授業開始	<ul style="list-style-type: none"> ・各スクーリング会場で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず、単位は付与しません。

講座の選定
5月東京1期
5月東京2期
6月東京期
7月東京期
6仙台期
6大阪期
7札幌期
7名古屋期
7福岡期
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の講座申込
許可と不許可の講座の受講料の納入
受講準備の受講及び試験
学生生活の愛蔵開催の受講
オーブン各種用紙付録

MEMO

・履修届

・<受講届>

- ・東京スクーリング（5月期） 第1・2期
- ・東京スクーリング（6月期）
- ・東京スクーリング（7月期）
- ・地方スクーリング（6月期）
- ・地方スクーリング（7月期）
- ・夜間スクーリング（春期）

・オープン受講届（在学生用）

・オープン受講届（社会人等（卒業生含む））

・スクーリング受講講座変更届

・<受講申込辞退願>

- ・東京スクーリング（5月期） 第1・2期
- ・東京スクーリング（6月期）
- ・東京スクーリング（7月期）
- ・地方スクーリング（6月期）
- ・地方スクーリング（7月期）
- ・夜間スクーリング（春期）

・教材配本申請書

・教材購入用紙（丸沼書店用）

・教材購入願（通信教育教材用）

・通学定期乗車券発行控

・学割証交付願

・証明書交付願

・滞在先届

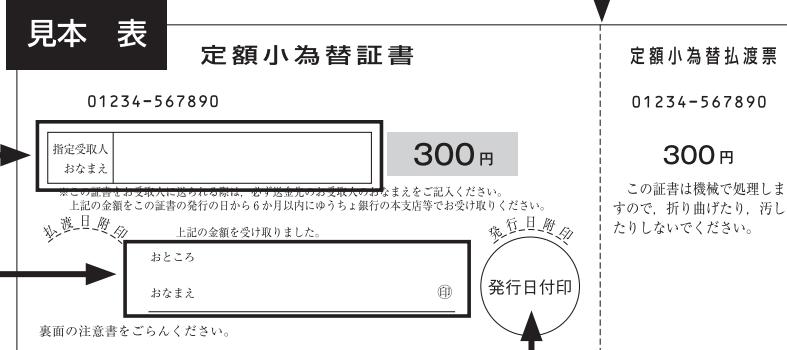
・休暇依頼状（勧奨状）申込書

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

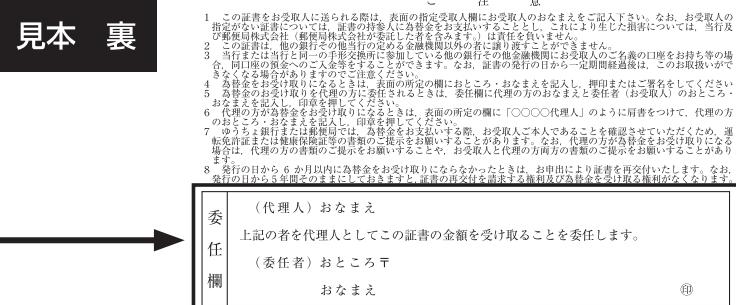
注意事項①
「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。



注意事項②
これらの欄には
何も記入しない
でください。

「普通為替証書」
も同様に、何も
記入しないでく
ださい。

注意事項④
この欄には何も
記入しないでく
ださい。



注意事項⑤
右「受領書」は送付せず、各自で保管して
ください。郵便事故等で「為替」が行方不
明になった場合、この「受領書」が必要に
なりますので、各種手続が完了するまで大
切に保管してください。

定額小為替金受領証書



(お客さま控)

履修登録年度

平成 年度

履修届

提出年月日

平成 年 月 日

学生番号

フリガナ
氏名

電話番号

(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)

	科目コード	科目名	単位
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	科目コード	科目名	単位
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

合計

単位 ←

年間 48 単位まで登録できます。
教職生および2学年以上の教職コース登録者は
年間 60 単位まで登録できます。

日本大学通信教育部

東京 S (5月期)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日作成

平成 29 年度東京スクーリング（5月期）第 1・2 期受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄
第1期				
第2期				

スクーリング併用試験方式での
単位修得を希望する場合はこの
欄に○を明記してください。

- 提出締切日 〔平成 29 年 3 月 15 日 (水)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- これは、東京スクーリング（5月期）第 1・2 期の受講届です。それ以外の
スクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。

学 生 番 号							
フ リ ガ ナ							
氏 名							
自 宅 電 話 番 号							
緊 急 時 電 話 番 号							

教務課受付印

東京S(6月期)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日作成

平成29年度東京スクーリング（6月期）受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄
6月期				



スクーリング併用試験方式での
単位修得を希望する場合はこの
欄に○を明記してください。

- 提出締切日 〔平成29年5月2日（火）〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- これは、東京スクーリング（6月期）の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。

学生番号	
フリガナ	
氏名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

東京S(7月期)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日作成

平成29年度東京スクーリング（7月期）受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄
7月期				

スクーリング併用試験方式での
単位修得を希望する場合はこの
欄に○を明記してください。

- 提出締切日 〔平成29年5月31日(水)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング（7月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。

学生番号	
フリガナ	
氏名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

地方 S (6月期)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日作成

平成 29 年度地方スクーリング（6月期）受講届

開催地	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄
仙台 大阪				



開催地を○で囲んでください。



スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合はこの欄に○を明記してください。

- 提出締切日 〔平成 29 年 5 月 2 日 (火)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- これは、**地方スクーリング（6月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。

学 生 番 号	
フ リ ガ ナ	
氏 名	
自 宅 電 話 番 号	
緊 急 時 電 話 番 号	

教務課受付印

地方 S (7月期)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日作成

平成 29 年度地方スクーリング（7月期）受講届

開催地	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄
札幌				
名古屋				
福岡				



開催地を○で囲んでください。



スクーリング併用試験方式での
単位修得を希望する場合はこの
欄に○を明記してください。

- 提出締切日 〔平成 29 年 5 月 31 日 (水)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- これは、**地方スクーリング（7月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。

学 生 番 号							
フ リ ガ ナ							
氏 名							
自 宅 電 話 番 号							
緊 急 時 電 話 番 号							

教務課受付印

夜間 S (春期)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日 作成

平成 29 年度夜間スクーリング（春期）受講届

曜日	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄
月				
火				
水				
木				
金				



スクーリング併用試験方式での
単位修得を希望する場合はこの
欄に○を明記してください。

- 提出締切日 〔平成 29 年 4 月 5 日 (水)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- これは、夜間スクーリング（春期）の受講届です。それ以外のスクーリング
をこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。

学生番号						
フリガナ						
氏名						
自宅電話番号						
緊急時電話番号						

教務課受付印

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部	学科 専攻 ()
学 年	年	学生番号
フリガナ		
氏 名		

【希望スクーリング】

講座名	スクーリング種別		開催地
	講座コード	講座名	
	講座コード	講座名	
	講座コード	講座名	
講座コード	講座名		
受講希望理由			

学生証コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 学生証コピー

教務課受付印

社会人等（卒業生用）

平成 年 月 日

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

卒業時 学部・学科	学部	学科 専攻 ()	学 外
住所等	〒 -	Tel : -	-
フリガナ			
氏 名			

【希望スクーリング】

スクーリング種別	開催地	
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

身分証明書コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 身分証明書コピー

教務課受付印

※ 身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、確認してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 29 年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしましたく、本書面をもってお願ひいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目	併用方式 希望

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目	併用方式 希望

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号						
フ リ ガ ナ						
氏 名						
自 宅 電 話 番 号						
緊 急 時 電 話 番 号						

教務課受付印

併せて提出するもの	
全講座辞退	⇒振込用紙
一部講座辞退	⇒振込用紙 返信用封筒（長形3号、362円切手貼付）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成29年度東京スクーリング（5月期）第1・2期受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名（フリガナ）_____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

- 4 辞退内容
- (□にチェック)
- 全講座辞退
⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
- 一部講座辞退
⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合、辞退講座のみを以下へ記入

期	講座コード	講座名
1期		
2期		

5 辞退理由（詳述）

- ※ 提出期限【教務課必着】4/19（水）※提出期限以降の辞退手続きはできません。
- ※ 振込用紙と一緒に送付すること。
- ※ この「辞退願」は「平成29年度東京スクーリング（5月期）第1・2期」専用です。他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。
- ※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。
- ※ 辞退手続は1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの
振込用紙

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 29 年度東京スクーリング（6月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名 (フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
6月期		

5 辞退理由 (詳述)

※ 提出期限【教務課必着】5／24（水） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「平成 29 年度東京スクーリング（6月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの
振込用紙

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 29 年度東京スクーリング（7月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名 (フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
7月期		

5 辞退理由 (詳述)

- ※ 提出期限【教務課必着】6／21（水） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。
※ 振込用紙と一緒に送付すること。
※ この「辞退願」は「平成 29 年度東京スクーリング（7月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。
※ 辞退手続は 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの
振込用紙

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 29 年度地方スクーリング（6月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名 (フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
6月期		

5 辞退理由 (詳述)

※ 提出期限【教務課必着】6／5（月） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「平成 29 年度地方スクーリング（6月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの
振込用紙

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 29 年度地方スクーリング（7月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名 (フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
7月期		

5 辞退理由 (詳述)

※ 提出期限【教務課必着】7／3（月） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「平成 29 年度地方スクーリング（7月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

全講座辞退 ⇒振込用紙

一部講座辞退 ⇒振込用紙

返信用封筒（長形3号、362円切手貼付）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成29年度夜間スクーリング（春期）受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名（フリガナ）_____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞退内容 全講座辞退

⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合

一部講座辞退

⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合、辞退講座のみを
以下へ記入

曜日	講座コード	講座名
月		
火		
水		
木		
金		

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】4／28（金） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「平成29年度夜間スクーリング（春期）専用です。他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ 辞退手続は1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無料）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先：研究事務課)

教 材 配 本 申 請 書

学 生 番 号						氏 名
連絡先電話番号						- - -

(太線枠内にボールペンで記入してください)

No	教材コード					教 材 名	配 本 単位数
1							単位
2							単位
3							単位
4							単位
5							単位
6							単位
7							単位
8							単位
9							単位
10							単位
合 計							単位

ポータルサイト「教材発送照会」の「配本申請」から申請できます。
ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。
※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。
※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。
※消えないボールペンを使用し、記入してください。
※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。
※「教材コード」は『教材要綱』、『各種スクーリングの手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。
※2冊組教材はセットコードを記入してください。
※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

教材入手の手続き

1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。

一部のスクーリング等で、通信教育教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。

通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。

なお、教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。

所定の「教材配本申請書」で申請してください。

一度提出した書類の追加・変更はできません。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（配本）」からも申請できます。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。

科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。

教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

(1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

(2) 郵送の場合

スクーリングの手引の「教材発送照会」画面の「登録（購入）」から用紙を作成・出力後、必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

2 注意事項

- ① 教材は「通信教育部教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（**丸沼**表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材のお渡しはできません。

丸沼

教材購入用紙(丸沼書店用)

市販教材(市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
詳細は、「使用教材の入手」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成29年度 スクーリング(4月~7月)				
申込日	平成29年 月 日			
科目名	書名	教材費(税込)	送料	
小計			円	円
合計			円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換	②定額小為替・郵便為替	③現金書留	

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 -
	氏 名	
	電話番号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
※不足する場合は複写の上、使用してください。

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ~ (3) の方法での購入も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費）+ 手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

(書 店 名) (株) 丸沼書店
(所 在 地) 〒 101-0061
東京都千代田区三崎町 2-8-12
(電 話) 03-3261-4540
(F A X) 03-3261-0118
(営 業 時 間) 9:00 ~ 20:00 (日曜日は10:00 ~ 19:00)

通材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号					氏 名	フリガナ	
連絡先電話番号					- - -		
教材コード	科 目 名			金 額	スクーリング種別 講 座 名		
	1 0 0 0						
	2 0 0 0						
	3 0 0 0						
	4 0 0 0						
	5 0 0 0						
	6 0 0 0						
合計科目数			合計金額				
_____			_____ 円				

(太線枠内にボールペンで記入してください)

- ※ボールペンで記入してください。
- ※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』で確認し、必ず記入してください。
「教材コード(6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。
- ※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。
- ※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく**指定された教材の科目名**を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」又は「教材購入」で入手できます。

「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。

スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（1号館2階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課宛に送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もいたしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡しません。**

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講資格審査結果通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。

通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学生番号	
大 学 院				
フリガナ				性 別
氏 名				男・女
現 住 所				
電 話	()			
通学区間	駅～ 駅 経由			
	駅～ 駅 経由			

※記入後、学生課に提出すること。

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。

※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には、学則により懲戒を行う。

注意事項

- ※ 通学定期券購入の手続きについては郵送では一切受け付けません。
- ※ 通学区間の「経由」欄には「乗り換えを行う駅名」を記入してください。

例

正しい記入	新橋 駅～ 市ヶ谷 駅 秋葉原 駅 経由
誤った記入	新橋 駅～ 市ヶ谷 駅 <u>総武線</u> 駅 経由

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			平成 年 月 日 申請				
学部	学科（専攻）	学生番号					
氏名				年齢	歳		
現住所	〒	-					
TEL ()							
申請事由（該当箇所に○を記入してください）							
	東京スクーリング（月期）				卒業論文指導（月日）		
	夏期スクーリング（第期）				総合面接試問		
	地方スクーリング（月期）		開講地 ()		科目修得試験（第回）		
	昼間・夜間スクーリング（曜日 時限）				その他（ ）		
乗車区間	自	線 駅		至	線		駅
乗車日	行	平成 年 月 日		帰	平成 年 月 日		
必要枚数	枚	(1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること)					
	※ 理由						
利用交通機関	鉄道・バス・その他（ ）			受取方法	窓口・郵送		

【注意事項】

- ・鉄道会社等の規定により、科目履修生は学割対象外です。
- ・大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ・乗車区間が100kmを超える場合に限り発行します。
- ・郵送で受取希望の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- ・1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ・この交付願では通学定期券の購入はできません。
- ・乗車日欄に記載の日程が、「有効期間」として学割証に記載され、乗車券を購入できる期間となりますので、購入日等を踏まえて記入してください。

証明書交付願

平成 年 月 日 申請

所属	学部	専攻部門	学生番号			フリガナ		
正科生							氏名	
科目履修生	科目履修生番号						大正昭和年月日生	
昭和年月学年 平成	入学編入学 再入学	昭和平成年月日	卒業・修了 退学・在学中			本籍地	都道府県	
現住所	〒 電話番号 ()							
成績証明書 (単位数・成績を表示)		300円	通	※2学年修了証明書		300円	通	
単位照合票 (在学生のみ発行)		300円	通	※資格試験用修了証明書				
※卒業証明書		300円	通	資格試験名		300円	通	
※卒業見込証明書 (平成年月)		300円	通	※スクーリング出席証明書				
※在学証明書		300円	通	年度	種別	開講地	300円	通
※退学証明書		300円	通	人物考查書		300円	通	
注)教員免許状申請用学力に関する証明書				別表第1		※大学院受験用調査書		
証明方法 新法・旧法				別表第4		300円 通		
教科		種類		300円	通	◎用途(具体的に)必ず記入する		
教科		種類		300円	通			
注)教員免許状取得見込証明書				別表第1				
証明方法 新法・旧法				別表第4		厳封 要・不要(希望に○をしてください)		
教科		種類		300円	通	合計 通 円		
受領方法				登校(月日)・郵送〔返信用封筒を添付(切手貼付)すること〕				

※裏面「注意事項」を確認してください。

(○裏面の注意事項を参照)

注 意 事 項

- ① 郵送での申し込みによる証明書発行までの日数は、返送するまでに約1週間を要します。又、手数料は、現金書留又は為替にて納入してください。
- ② 郵送での請求の場合、学生証のコピーを同封してください（学生証のコピーが同封されていない場合は、本人確認をしてから受理することとなりますので、証明書発行に時間がかかる場合があります）
また、窓口での手続の場合は、申請時及び受取時に学生証を提示してください。
- ③ 窓口で申し込む場合は、申込時に発行日を確認してください（原則は申込から3日後の発行）。
- ④ 「英文証明書」・「学生証再発行」の場合には、この交付願ではなく、所定の「交付願」が必要となりますので、教務課あてに郵送にて用紙の請求をしてください。
- ⑤ 「単位照合票」は在学生にのみ発行します。
- ⑥ ※印の証明書は科目履修生には発行しておりません。
- ⑦ 「卒業見込証明書」を申請する場合、修得単位数等の申請条件がありますので、『学修要覧』で確認してください。また、卒業見込年月を忘れずに記入するようにしてください。卒業見込年月は、卒業手続をし、卒業を希望する年月となります。

注：文理学部の文学専攻（英文学）及び史学専攻の申請者は、この他にも卒業論文指導に対する条件があります。文学専攻（英文学）及び史学専攻の学生で、この証明書を申請する場合には、下表の記入が必要となります。

卒業論文指導の初回の専門指導を受けた記録		
専門指導教員名	指導方法（○を付ける）	指導年月日
	郵送 面接	平成 年 月 日

ただし、次の申請期間は、上記取扱いによらなくても交付が可能です。

[3月卒業の場合] 4月1日から 6月9日までの申請期間

[9月卒業の場合] 10月1日から 12月9日までの申請期間

- ⑧ 「人物考査書」は、教員採用試験受験の際、教育委員会から請求があった場合のみ発行します。申請の際、教務課担当者に確認してください。
- ⑨ 大学院受験用「調査書」を申請する場合、各大学の所定の用紙を添付してください。
- ⑩ 「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合は、以下の点に注意して申請してください。
 - ・未修得科目についての履修計画を記載した用紙（様式任意）を添付してください（第○回科目修得試験○限受験予定・結果待ち、○○スクーリング受講予定・受講中、リポート○冊分提出予定・結果待ち等を記載）。
 - ・出身大学等での修得単位を基にする場合には、出身大学発行の当該教科に関する「学力に関する証明書」のコピーを添付してください。（中学校・高等学校で当該証明書を申請する場合には、各学校種の学力に関する証明書が必要となります）。
 - ・別表第4による他教科申請の場合には、既に所持している各学校種の免許状のコピーを添付してください。
 - ・取得見込年月日は、前期生の場合は3月31日、後期生の場合は9月30日となります、後期生で3月31日付までの取得見込年月日記載を希望する学生は、その旨を明記してください。ただし、その場合は、年度授業料納付後の10月1日以降に発行可能となります。
 - ・履修計画が不十分の場合には、確認の連絡をすることがありますので、提出した履修計画は必ずコピーを取るなどして、自身でも計画に間違いがないか、無理がないか等を確認してください。
- ⑪ 「教員免許状申請用学力に関する証明書」を申請する場合、教科（国語・社会など）、種類（中1・高1など）を明記してください（1教科であっても2種類の場合は2通扱いとなります）。
- ⑫ 証明書を厳封する必要がある場合には、厳封「要」に○印を付してください。
- ⑬ 郵送で証明書を受領する場合は、「返信用切手」を貼付した「返信用封筒」（自己の郵便番号、住所、氏名を明記）を添付してください。返送料（普通郵便）は下表を目安にしてください。
なお、封筒（切手貼付）の添付がない場合は、教務課で保管することになりますので、注意してください。

◇ 普通郵便

・厳封する場合

	2通まで	3～5通	6～10通	11～20通
厳封あり	82円〔定形〕	92円〔定形〕	140円〔定形外〕	205円〔定形外〕

・厳封しない場合

	4通まで	5～10通	11～20通
厳封なし	82円〔定形〕	92円〔定形〕	140円〔定形外〕

注：「教員免許状申請用学力に関する証明書」又は「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合、証明方法欄の新法又は旧法のいずれかに必ず○印を付し、別表第1（初めての申請）又は別表第4（他教科申請）の区別も必ず○印を付してください。証明内容を誤って記入した場合、証明書の交付が受けられなかったり、異なる内容の証明により免許状が交付されない場合がありますので、留意してください。

提出対象者

スクーリング期間中に、大学登録住所以外から通学する学生のみ。

滞在先届（平成29年度スクーリング用）

学部	学科(専攻)	学生番号							氏名	
										フリガナ
スクーリング期間中滞在先住所(宿泊施設名、知人宅名等もご記入ください。)										
〒 - _____ 方										
電話 ()										
最寄駅 [駅]										
受講期間 5月期第1期 ・ 5月期第2期 ・ 6月期 ・ 7月期 (いずれかに○)										
通学区間(駅名)										
↔ 市ヶ谷 水道橋・神保町・後楽園 (いずれかに○)										
現住所(大学登録住所)										
〒 - _____										
電話 ()										

注意事項

- ① 本届は、スクーリング開講期間中に、大学登録住所以外から通学する場合に限り、提出が必要です。
- ② 記入後、コピーしたものを添えて、学生課窓口に提出してください。
- ③ 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時に大学が各種対応をするために利用します。

提出先

日本大学通信教育部 学生課

提出期限

受講するスクーリングの授業初日まで（窓口・郵送ともに事務取扱時間内必着）

日本大学通信教育部長 殿

休暇依頼状（勧奨状）申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状（勧奨状）の発行をお願いいたします。

平成 年 月 日 申請

申込者	学 部			学科（専攻）	
	学生番号			学 年	
	氏 名				
	日中連絡先 電話番号				
	勤務先 正式名称				
所属部署					
受講する スクーリング	種 別		開催地		
	受講期間				
提出先	勤務先 正式名称				
	役職名				
	役職者 氏 名				

【注意事項】

- * スクーリング受講許可後に発行します。
- * 勤務先に対してのみ発行します。
- * 休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- * 送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を必ず同封してください。
- * 複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

付 錄

講座の選定
5月 東京 1期
5月 東京 2期
6月 東京 期
7月 東京 期
6月 仙台 期
6月 大阪 期
7月 札幌 期
7月 名古屋 期
7月 福岡 期
月曜日間
火曜日間
水曜日間
木曜日間
金曜日間
申込方法
講座の許可と不許可
申込講座の受講料の納入
受講準備
受講及び試験
学生生活の愛護問題
受講オープン
各種用紙
付録

交通案内・校舎案内

① 交通案内～通信教育部までの交通～

〔東京駅乗継の場合〕

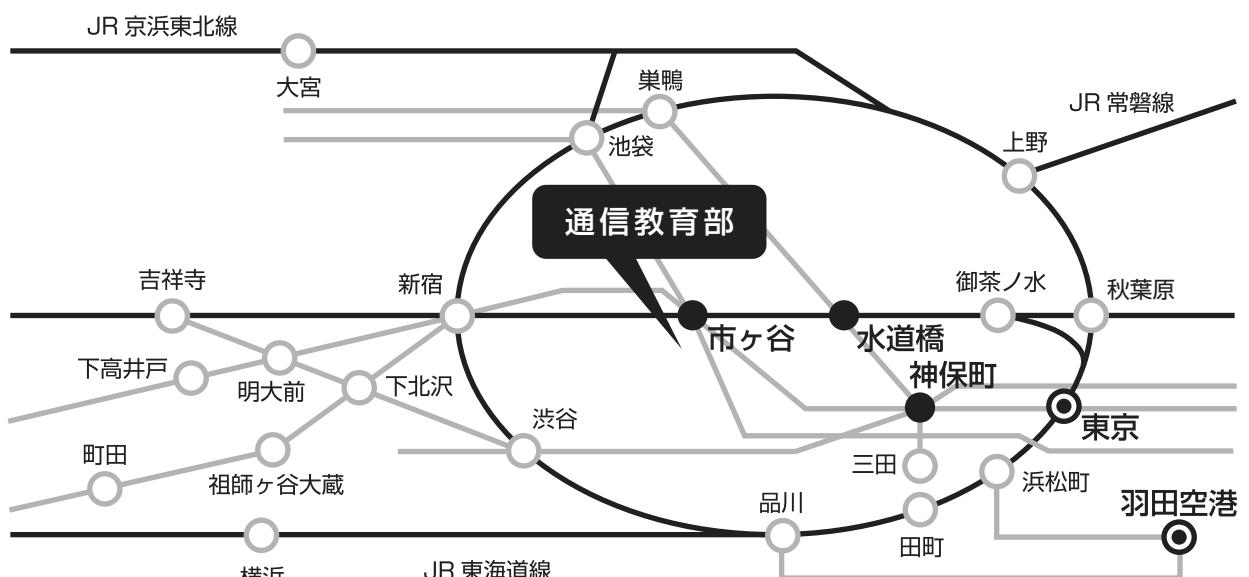
JR 中央線（1・2番線から発車する電車いずれも可）に乗車、御茶ノ水駅でJR 総武・中央線の各駅停車（新宿・中野方面）に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約3分。東京駅から約20分。

〔上野駅乗継の場合〕

JR 山手線・京浜東北線（東京方面）に乗車、秋葉原駅でJR 総武・中央線各駅停車（新宿・中野方面）に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約3分。上野駅から約20分。

〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車、JR 山手線・京浜東北線（東京・上野方面）に乗車、秋葉原駅でJR 総武線・中央線各駅停車（新宿・中野方面）に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約3分。羽田空港駅から約50分。



■市ヶ谷キャンパス

JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A 2出口から 徒歩2分

■水道橋キャンパス

JR 中央・総武線（各駅停車）、都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A 4出口から 徒歩5分

② 校舎案内

市ヶ谷キャンパス

【所在地】〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩2分

水道橋キャンパス

【所在地】〒101-8375 東京都千代田区三崎町 2-3-1



JR 中央・総武線（各駅停車）、都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩5分

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ ェ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 希望する科目的履修登録は済んでいますか	V-2 履修登録をする表紙（履修登録締切日）
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
<input type="checkbox"/> [] 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	V-3 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目的受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	I-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講期、開講地、開講曜日は間違って記入していませんか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認（ポータルサイト）
◆併用 ※希望者のみ	
<input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「併用方式希望」欄に『○』を記入していますか	V-3 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	V-1 受講手続の流れ表紙（リポート提出締切日）
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙（受講届提出締切日） V-3 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉申込内容の控えはありますか（受講届のコピー）	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか（ポータルサイトからの申込の場合のみ）	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉特定記録郵便で発送しましたか	V-3 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	VI-1 受講資格審査結果通知を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料の納入



各種連絡先

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ○スクーリングの手続等に関する事項
教務課 03-5275-8911 | ○各種学修相談に関する事項
学修支援センター 03-5275-8857 |
| ○受講料の振込に関する事項
会計課 03-5275-8925 | ○通学定期・学割・滞在先届に関する事項
学生課 03-5275-8921 |
| ○教材（教科書）に関する事項
研究事務課 03-5275-8890 | ○休暇依頼状（勧奨状）に関する事項
庶務課 03-5275-8901 |